

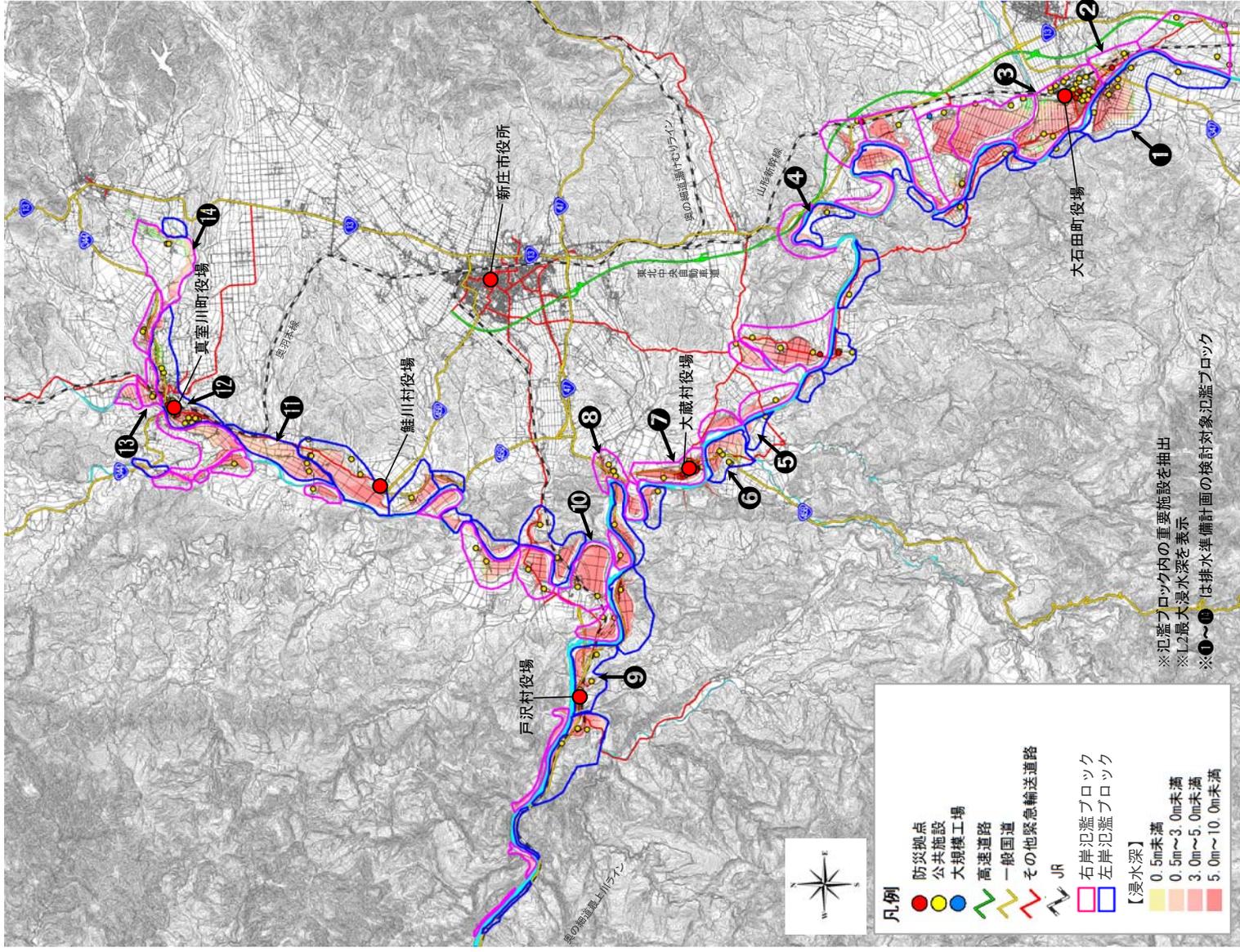
最上川中流 排水作業準備計画書(案)

- ・ブロック① 大石田町 横山地区 (MOL-1)
- ・ブロック② 大石田町 今宿地区 (MOR-2)
- ・ブロック③ 大石田町 大石田、豊田地区 (MOR-3)
- ・ブロック④ 尾花沢市 毒沢地区 (MOL-8)
- ・ブロック⑤ 舟形町 堀内地区 (MOL-10)
- ・ブロック⑥ 大蔵村 白須賀地区 (MOL-13)
- ・ブロック⑦ 大蔵村 清水地区 (MOR-13)
- ・ブロック⑧ 新庄市 鶴の子地区 (MOR-20)
- ・ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区 (MOL-17)
- ・ブロック⑩ 戸沢村 名高地区 (SR-7)
- ・ブロック⑪ 鮭川村 庭月地区 (SL-1)
- ・ブロック⑫ 真室川町 庭月、真室川、新田平岡地区 (KL-MAL-1)
- ・ブロック⑬ 真室川町 安久土地区 (KR-3)
- ・ブロック⑭ 金山町 凝山地区 (KR-1)

国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所

対象ブロック

- ・ブロック① 大石田町 横山地区 (MOL-1)
- ・ブロック② 大石田町 今宿地区 (MOR-2)
- ・ブロック③ 大石田町 大石田、豊田地区 (MOR-3)
- ・ブロック④ 尾花沢市 毒沢地区 (MOL-8)
- ・ブロック⑤ 舟形町 堀内地区 (MOL-10)
- ・ブロック⑥ 大蔵村 白須賀地区 (MOL-13)
- ・ブロック⑦ 大蔵村 清水地区 (MOR-13)
- ・ブロック⑧ 新庄市 鶴の子地区 (MOR-20)
- ・ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区 (MOL-17)
- ・ブロック⑩ 戸沢村 名高地区 (SR-7)
- ・ブロック⑪ 鮭川村 庭月地区 (SL-1)
- ・ブロック⑫ 真室川町 庭月、真室川、新田平岡地区 (KL-MAL-1)
- ・ブロック⑬ 真室川町 安久土地区 (KR-3)
- ・ブロック⑭ 金山町 凝山地区 (KR-1)



位置図

排水箇所概要(1/2)

対象地区	排水施設	【1】現地状況			【2】現地状況			【3】現地状況			排水作業実施時の注意事項
		判定	天端幅	現地状況	天端幅	現地状況	下流側	上流側	現地状況		
ブロック① 大石田町 横山地区 MOL-1	横山第四排水樋管	○	約5m	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	・ 排水施設箇所の堤防天端幅が十分広い ・ 樋管付近には広いスペースがある	○	○	・ 下流側の黒滝橋からアクセス可能 ・ 上流側は大石田大橋から下流側が破堤していない場合に限り大石田大橋からアクセス可能	—		
	横山第二排水樋管	○	約4m	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・ 排水施設付近は特殊堤となっている	○	×	・ 下流側は大石田大橋からアクセス可能 ・ 上流側は虹の大橋の堤防下が低く、アクセス不可 ・ 下流側は浸水するためアクセス不可 ・ 鉄道下は狭く、浸水の恐れがありアクセス不可 ・ 上流側の国道347号からアクセス可能(ただし、破堤地点によっては不可となる)	特殊堤のため、ホース設置に工夫が必要 望月橋等のスペースを活用		
ブロック② 大石田町 今宿地区 MOR-2	今宿第三排水樋管	○	約3m	・ 釜場に適した水路あり	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は5m程度 ・ 樋管付近にスペースあり(望月橋等)	○	○	・ 下流側は浸水するためアクセス不可 ・ 上流側は虹の大橋から堤防先端が不通であり、堤内では浸水するためアクセス不可	最上川沿いのスペースを活用、 県道189号上を通行できるよう工夫		
	今宿第二排水樋管	○	約3m	・ 釜場に適した水路あり	・ 天端が未舗装であり、幅が3mと狭い ・ 最上川沿いに広いスペースあり	×	○	・ 下流側は浸水するためアクセス不可 ・ 上流側は虹の大橋から堤防先端が不通であり、堤内では浸水するためアクセス不可	—		
ブロック③ 大石田町 豊田地区 MOR-3	豊田第二排水樋管	○	約4.5m	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4.5m程度 ・ 亀井田橋へはアクセス可能であり、作業スペースや折り返し場所として活用可能	○	×	・ 下流側は丹生川左岸堤防を通りアクセス可能(ただし、破堤地点によっては不可となる) ・ 上流側は浸水するためアクセス不可	—		
	大石田第五排水樋管	○	約5.5m	・ 排水ピット、釜場に適した水路あり	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は5.5m程度 ・ 小段にも作業スペースあり	○	○	・ 下流側は対岸の堤内の浸水が解消した場合、または大石田大橋より上流が破堤しない場合に黒滝橋からアクセス可能 ・ 上流側は排水施設より上流側にて破堤しない場合にアクセス可能	大石田大橋付近の右岸堤防にて一部幅2.0mの箇所あり 車止めにご注意		
ブロック④ 尾花沢市 壽栄地区 MOR-8	壽栄用排水樋管	○	約3m	・ 釜場あり ・ 柵が設置されている ・ 氾濫流が集まりやすい	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度	×	○	・ 下流側は堤内浸水するためアクセス不可 ・ 上流側は県道187号を通り進入可能	—		
	堀内第三排水樋管	○	約4m (舗装幅3m)	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・ 舗装幅は3m程度	○	×	・ 下流側は進入路入口付近が未舗装(車止めあり)だが県道36号堀内橋からアクセス可能 ・ 上流側は県道30号から堤防天馬への進入路において浸水の恐れあり	進入路入口付近の未舗装箇所・ 車止めにご注意		
ブロック⑤ 舟形町 堀内地区 MOL-10	堀内第二排水樋管	○	約4.4m	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・ 排水施設付近は特殊堤となっている	○	×	・ 下流側は進入路入口付近が未舗装(車止めあり)だが県道36号堀内橋からアクセス可能 ・ 上流側は県道30号から堤防天馬への進入路において浸水の恐れあり	進入路入口付近の未舗装箇所・ 車止めにご注意 特殊堤のため、ホース設置に工夫が必要		
	平ノ下排水樋管	○	約4.5m	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4.5m程度	○	○	・ 下流側の大蔵橋からアクセス可能 ・ 国道458号からもアクセス可能となる見込み(工事中) ・ 上流側からもアクセス可能(鍋山川堤防より) ※ただし、破堤地点によっては不可となる	—		
ブロック⑦ 大蔵村 清水地区 MOR-13	合海排水樋管	○	約4.8m	・ 釜場に適した水路あり	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4.8m程度	○	○	・ 下流側は国道458号からアクセス可能 ・ 上流側は大蔵橋からアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	—		
	清水排水樋管	○	約4m	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度	○	○	・ 下流側は国道458号からアクセス可能 ・ 上流側は大蔵橋からアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	—		
ブロック⑧ 新庄市 鶴の子地区 MOR-20	本合海排水樋管	○	約7m (国道47号)	・ 排水ピットあり ・ ガードレールなどあり	・ 国道47号上または堤防上にて作業可能 ・ 樋管付近には広いスペースがある	○	○	・ 下流側は国道458号からアクセス可能 ・ 上流側は大蔵橋からアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	樋管付近のスペースを活用		
	川前排水樋管	○	約7m (国道47号)	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	・ 国道47号上または堤防上にて作業可能 ・ 樋管付近には広いスペースがある	×	○	・ 本合海大橋より下流側国道47号を通りアクセス可能 ・ 新田川上流より下流側国道47号を通りアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	樋管付近のスペースを活用		
ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区 MOL-17	古口第二排水樋管 (古口排水橋場)	○	約4m	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度	×	○	・ 下流側は国道47号(酒田方面から)は浸水のためアクセス不可 ・ 上流側は破堤箇所が砂子浜より上流の場合には進入可能(ただし、破堤地点によっては不可となる)	特殊堤のため、ホース設置に工夫が必要		
	真柄第三排水樋管	○	約3.5m	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は3.5m程度	○	○	・ 下流側は堤内浸水のためアクセス可能 ・ 上流側は古口大橋からアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	—		
真柄第二排水樋管	真柄第二排水樋管	○	約3.5m	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は3.5m程度	○	○	・ 下流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ・ 上流側は大蔵橋からアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	—		
	真柄第一排水樋管	○	約3.5m	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は3.5m程度	○	○	・ 下流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ・ 上流側は大蔵橋からアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	—		

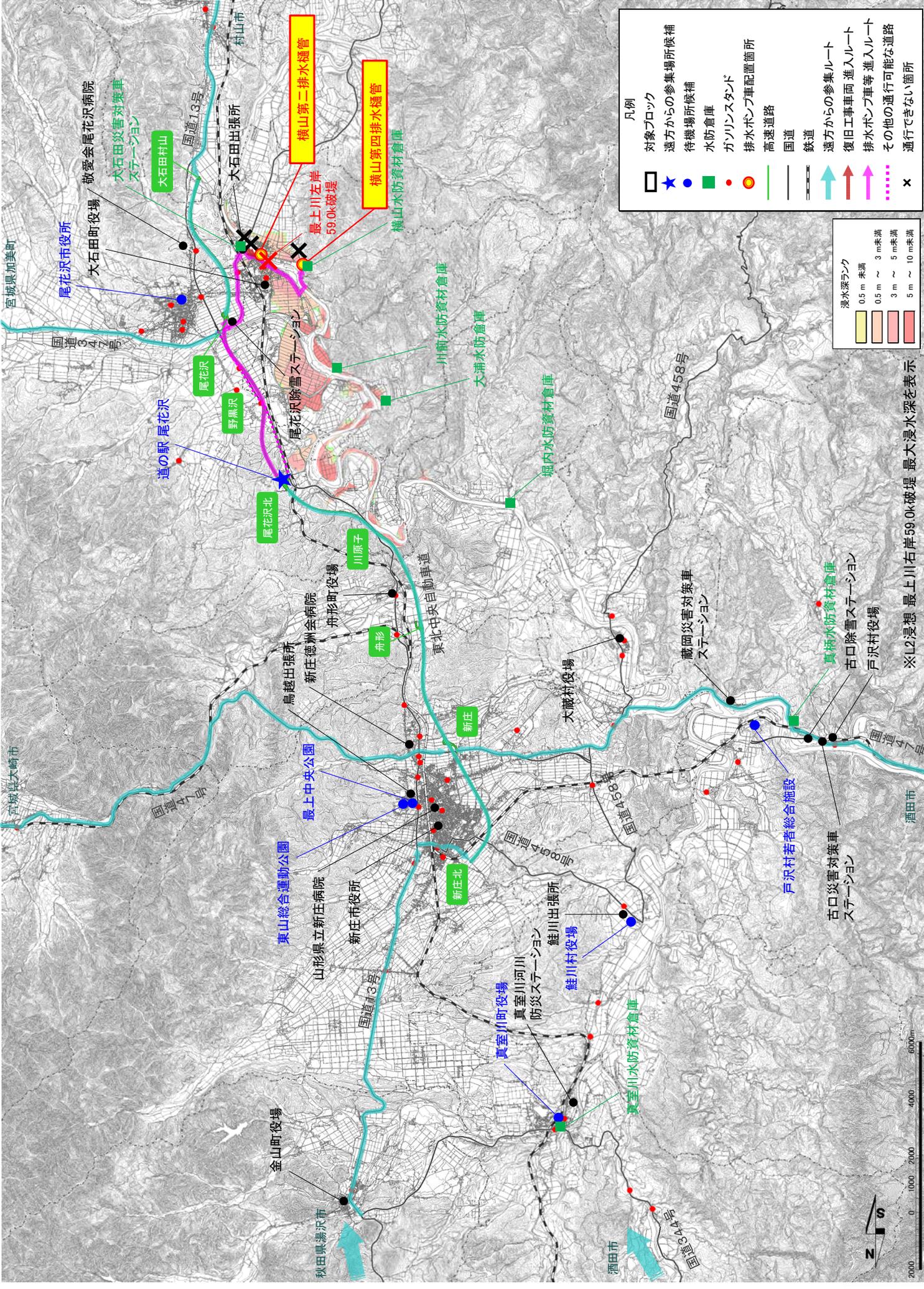
排水箇所概要(2/2)

対象地区	排水施設	【1】現地状況			【2】現地状況			【3】現地状況			排水作業実施時の注意事項
		判定	天端幅	現地状況	天端幅	下流側	上流側	下流側	上流側		
										現地状況	
ブロック⑩ 戸沢村 名高地区 SR-7	名高第二排水樋管	○	約7m (側帯含む) ※樋管付近は約3m	・釜場に適した水路あり ・谷口の一部に柵が設置されている ・児童流が集まりやすい	・上流側に4.2k付近まで広い側帯あり ・図上で確認していた破路は確認できず ・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度	○	○	○	○	下流側は、進入路が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、右高橋から堤防を通り進入可能 上流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能) 下流側は、進入路が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり進入可能 上流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能)	樋管近傍の側帯スペースを活用 燃料車等の移動のため、堤防上にホースブリッジを設置することが望ましい
	庭月第二排水樋管	○	約3m	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 樋管付近にスペースあり(観音寺橋等)	○	○	○	観音寺橋等のスペースを活用		
										最上内川第一排水樋管	○
ブロック⑪ 鯉川村 庭月地区 SL-1	最上内川第二排水樋管	○	約3m	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 樋管付近にスペースあり(樋管より下流側)	○	○	○	下流側は県道35号から羽前豊里駅付近より堤防天端を通りアクセス可能 上流側は県道35号から最上内川右岸堤防を通りアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる		
										最上内川第三排水樋管	○
	最上内川第四排水樋管	○	約3m	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 樋管付近にスペースあり(樋管より下流側)	○	○	○	下流側にあるスペースを活用		
										ブロック⑫ 真室川町 庭月、真室川、新田平、固地区 KL-MAL-1	秋山沢川排水樋門
真室川第三排水樋管	○	約3.5m	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 下流側の水防倉庫付近にスペースあり	○	○	○	下流側にあるスペースを活用			
									真室川町⑬ 安久土地区 KR-3	安久土排水樋管	○
ブロック⑭ 金山町 凝山地区 KR-1	持越排水樋管	○	約3m	・釜場に適した水路あり	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 樋管付近に少スペースあり(進入路)	○	○	○			

ブロック① 大石田町 横山地区(MOL-1)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車等の配置図

最上川左岸59.0k 道の駅 尾花沢 横山第二排水樋管、横山第四排水樋管



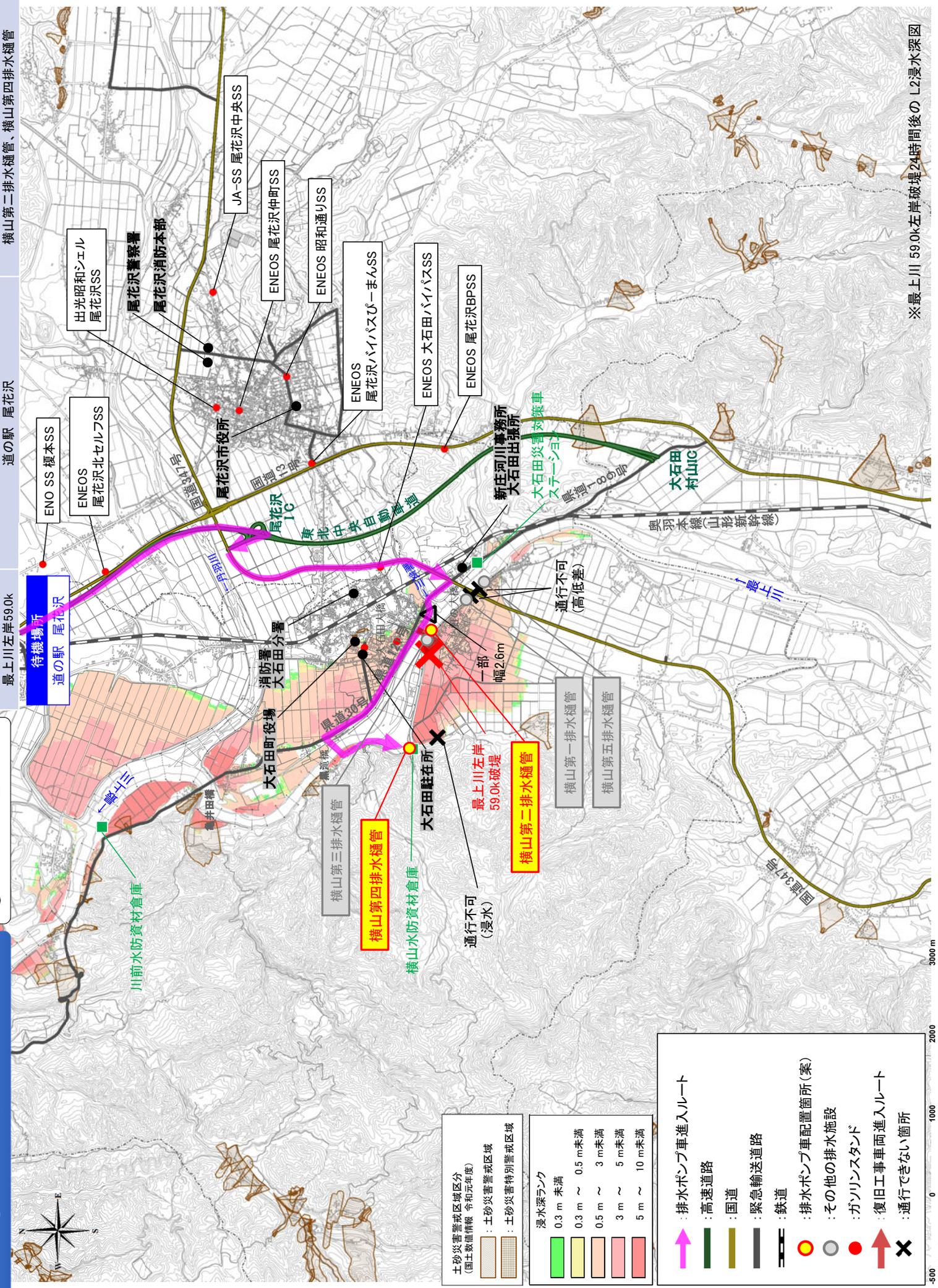
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所

浸水深さランク

- 0.5 m 未満
- 0.5 m ~ 3 m未満
- 3 m ~ 5 m未満
- 5 m ~ 10 m未満

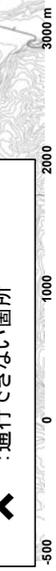
※L2浸想定最上川右岸59.0k破堤最大浸水深を表示



土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

排水ポンプ車進入ルート

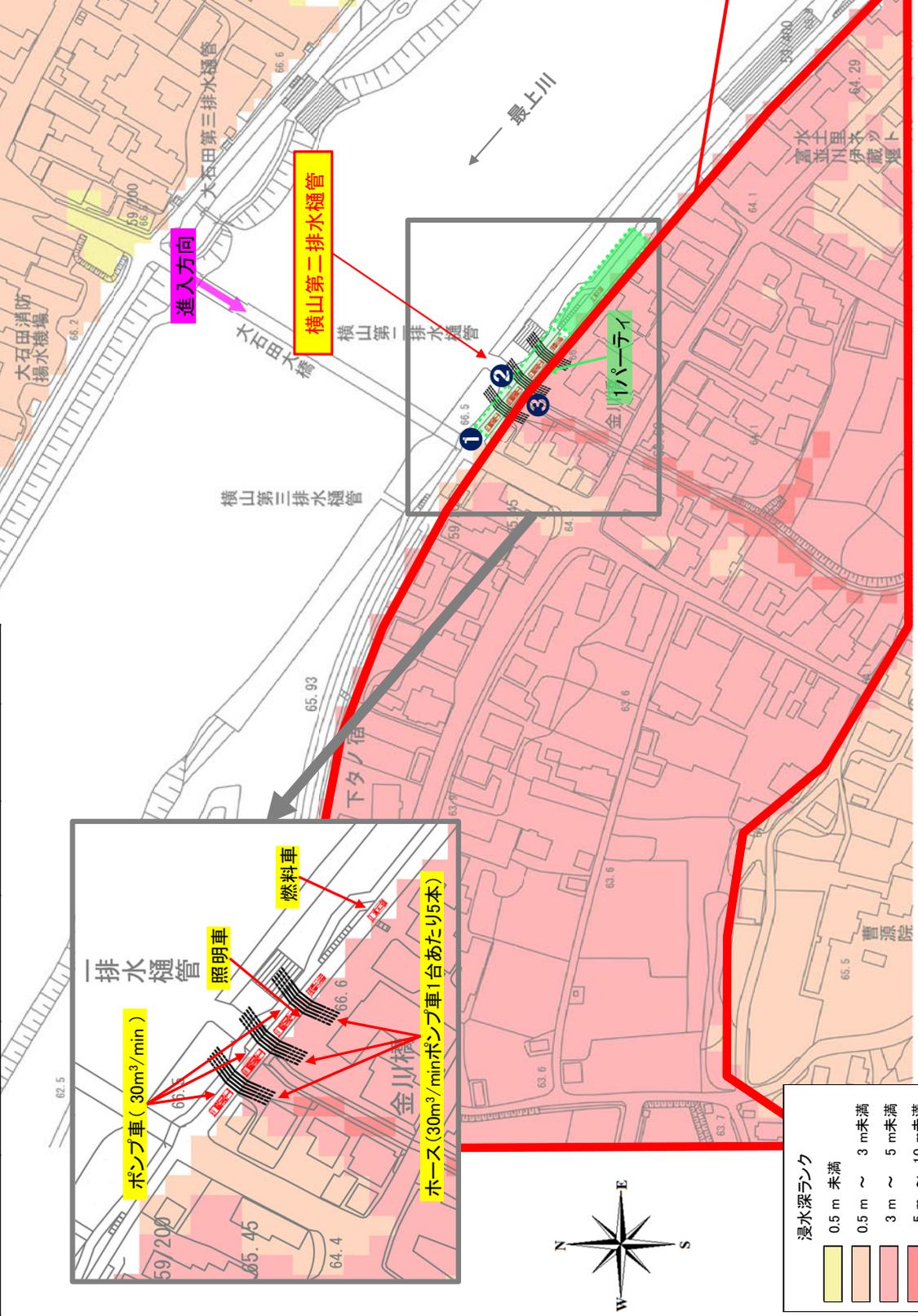
- 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所



※最上川 59.0%左岸破堤24時間後のL2浸水深図

排水ポンプ車配置箇所	排水先	排水元	天端幅	天端幅
横山第二排水樋管	最上川左岸59.0k付近	横山第二排水樋管 水路	約4m	約4m
管理所管	TEL	門扉形式	担当出張所	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	ローラ- ゲ-	大石田 出張所	有

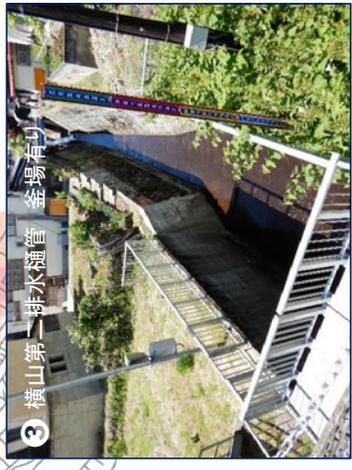
ポンプ車 (30m ³ /min)	燃料車	照明車
ホ-ス (30m ³ /minポンプ車1台あたり5本)		



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満

1.1パーテイ目安

※L2浸想最大浸水深を表示



氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

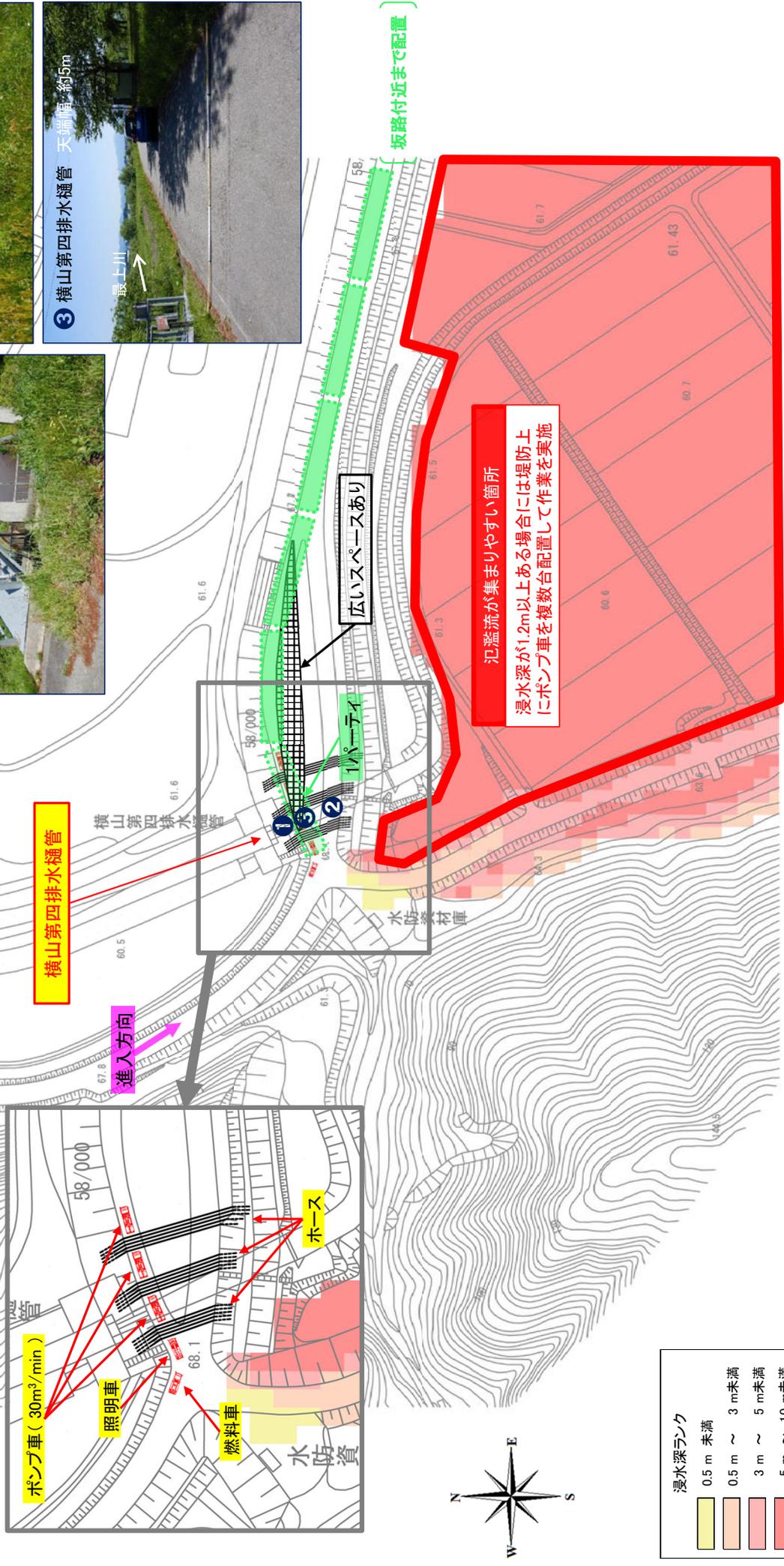
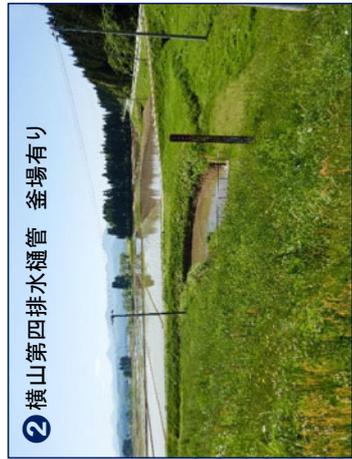
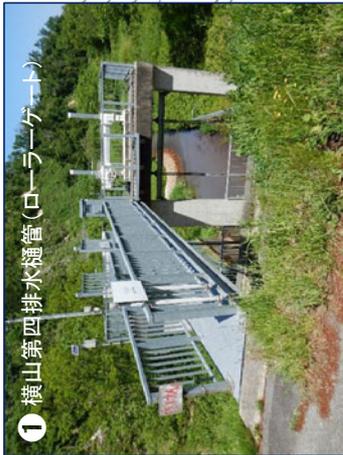
30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 6台
(1パーテイ3台 × 2パーテイ = 6台)

最上川右岸59.0k

道の駅尾花沢

横山第二排水樋管、横山第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所 横山第四排水樋管	天端幅 約5m	排水元 横山第四排水樋管 水路	排水先 最上川左岸58.0k付近
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 大石田 出張所	ポンプ車 30m ³ /minポンプ車 60m ³ /minポンプ車
		門扉形式 ローラー ゲート	○ 配置可能
		動力 電動及び 手動	○ 配置可能
		操作 規則等	有



浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

：1パーティ目安

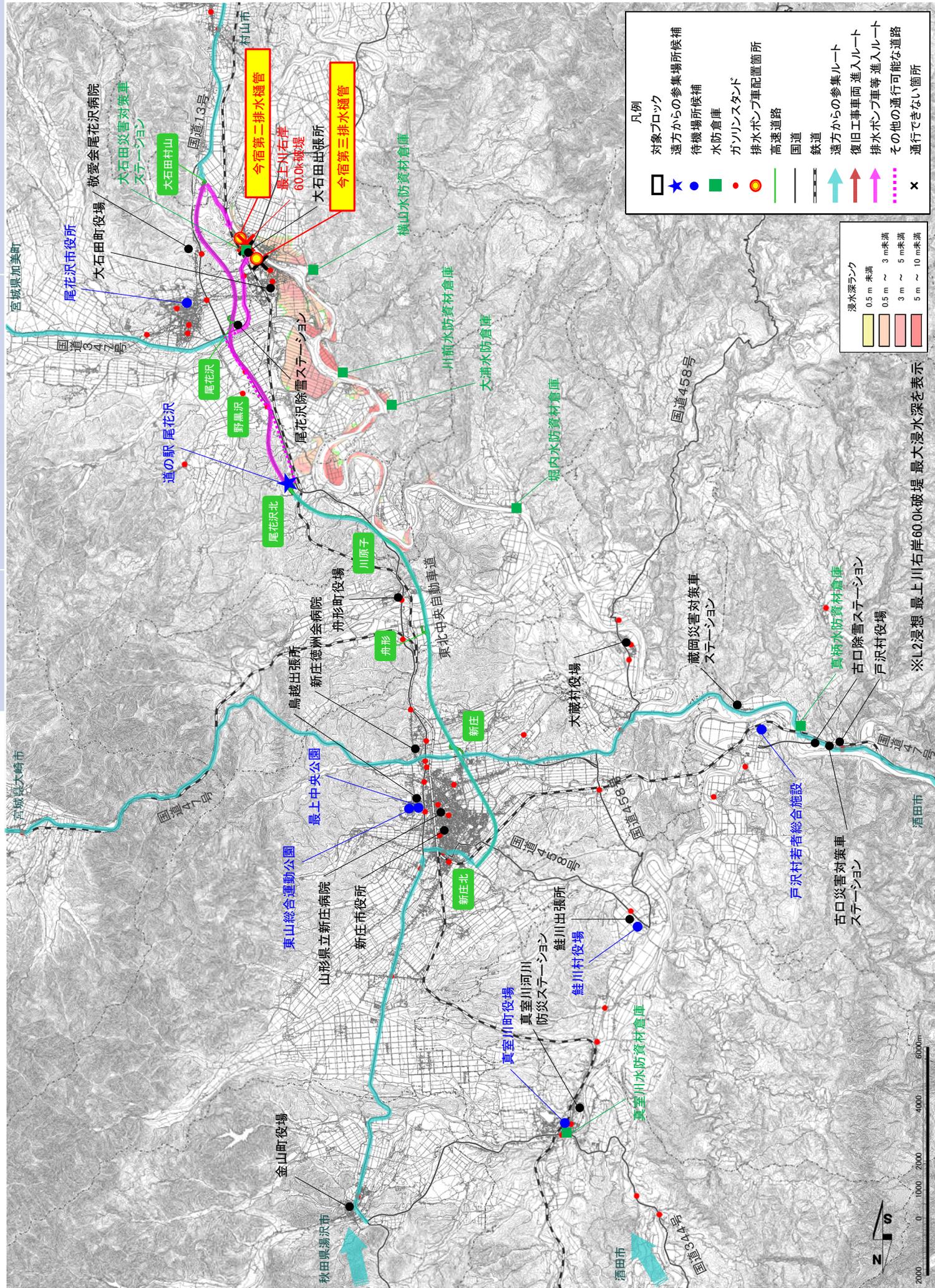
※L2浸想最大浸水深を表示

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 30 台
(1パーティ3台 × 10パーティ = 30台)



ブロック② 大石田町 今宿地区(MOR-2)

- ① 全体図
(待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図
(排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車等の配置図



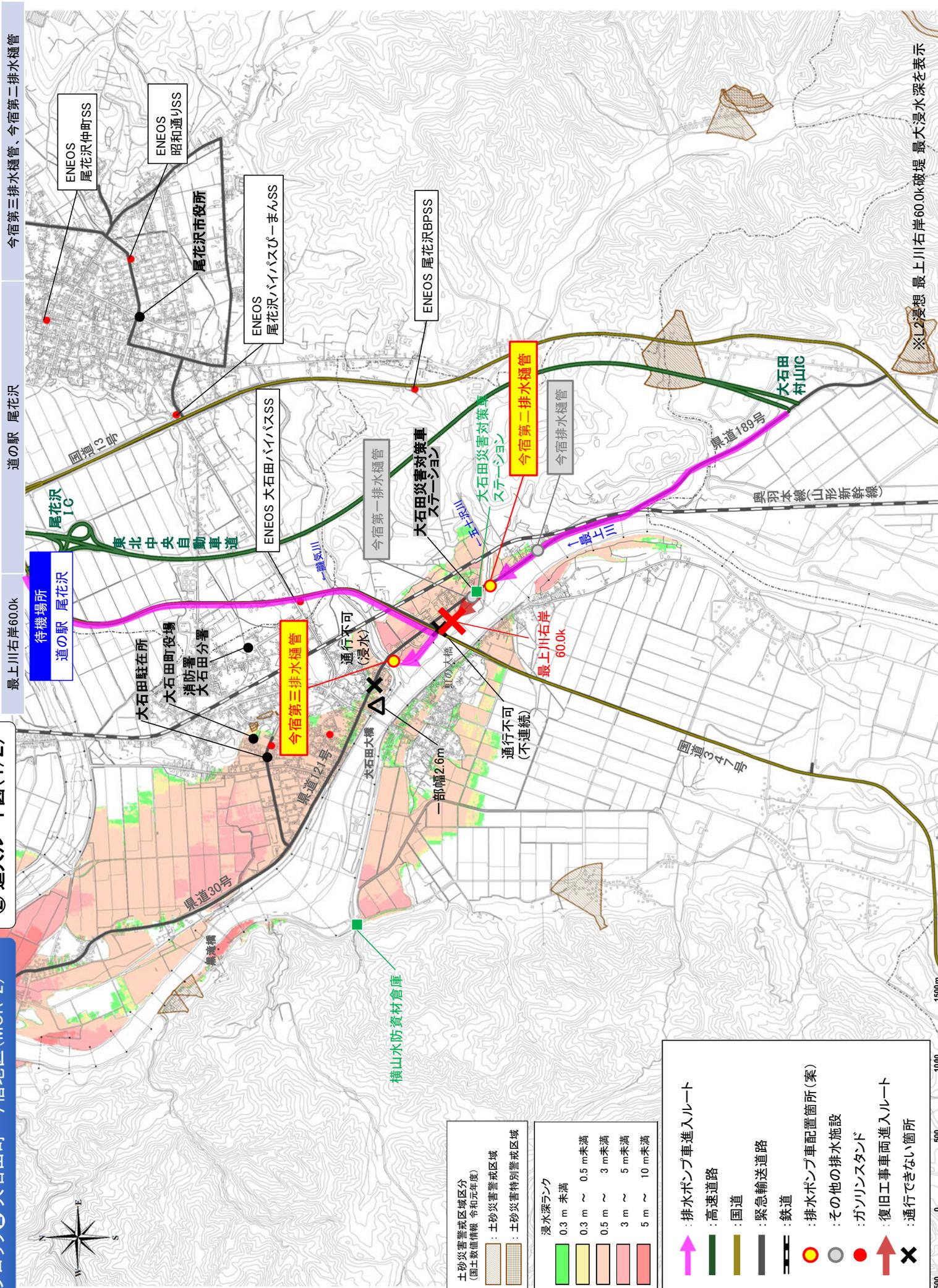
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所

浸水深ランク

- 0.5 m 未満
- 0.5 m ~ 3 m未満
- 3 m ~ 5 m未満
- 5 m ~ 10 m未満

※L2浸想 最上川右岸60.0k破堤 最大浸水深を表示



土砂災害警戒区域区分
(国土数値情報 令和元年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

0.3 m 未満
0.3 m ~ 0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

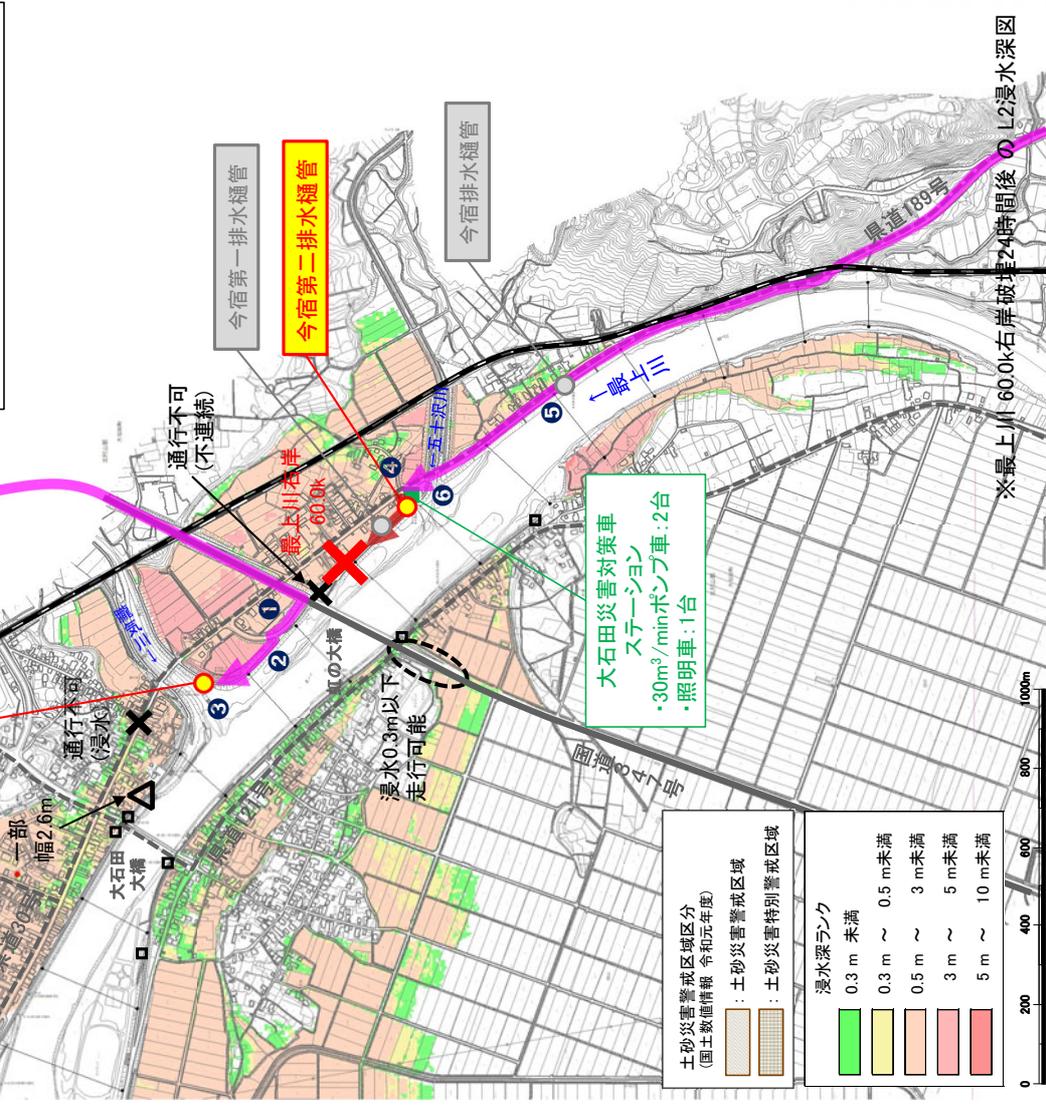
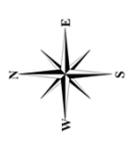
排水ポンプ車進入ルート

- ↑ 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- ↑ 復旧工事車両進入ルート
- × 通行できない箇所

※②浸想 最上川右岸60.0k破堤 最大浸水深を表示



- 排水ポンプ車進入ルート
- 国道
- 県道
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所 (案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所
- 車止め 進入防止柵



土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

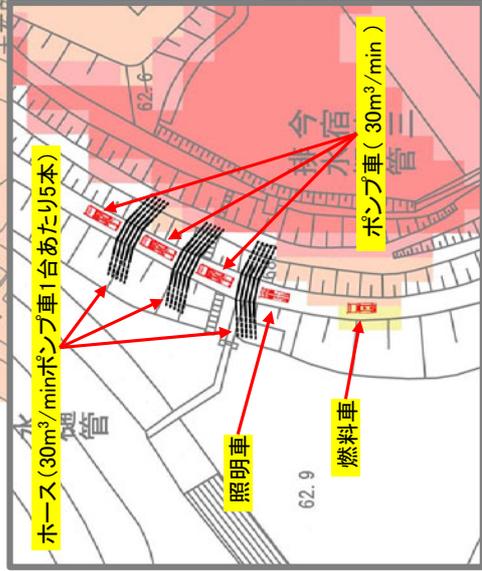
浸水深ランク	浸水深
	0.3 m 未満
	0.3 m ~ 0.5 m 未満
	0.5 m ~ 3 m 未満
	3 m ~ 5 m 未満
	5 m ~ 10 m 未満

最上川右岸60.0k

道の駅尾花沢

今宿第三排水樋管、今宿第二排水樋管

排水ポンプ車配置箇所 今宿第三排水樋管	天端幅 約3m	排水元 今宿第三排水樋管 水路	排水先 隴気川左岸0.0k付近	30m ³ /minポンプ車 60m ³ /minポンプ車
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 —	門扉形式 —	○ 配置可能 × 配置不可
		動力 —	操作 規則等 —	

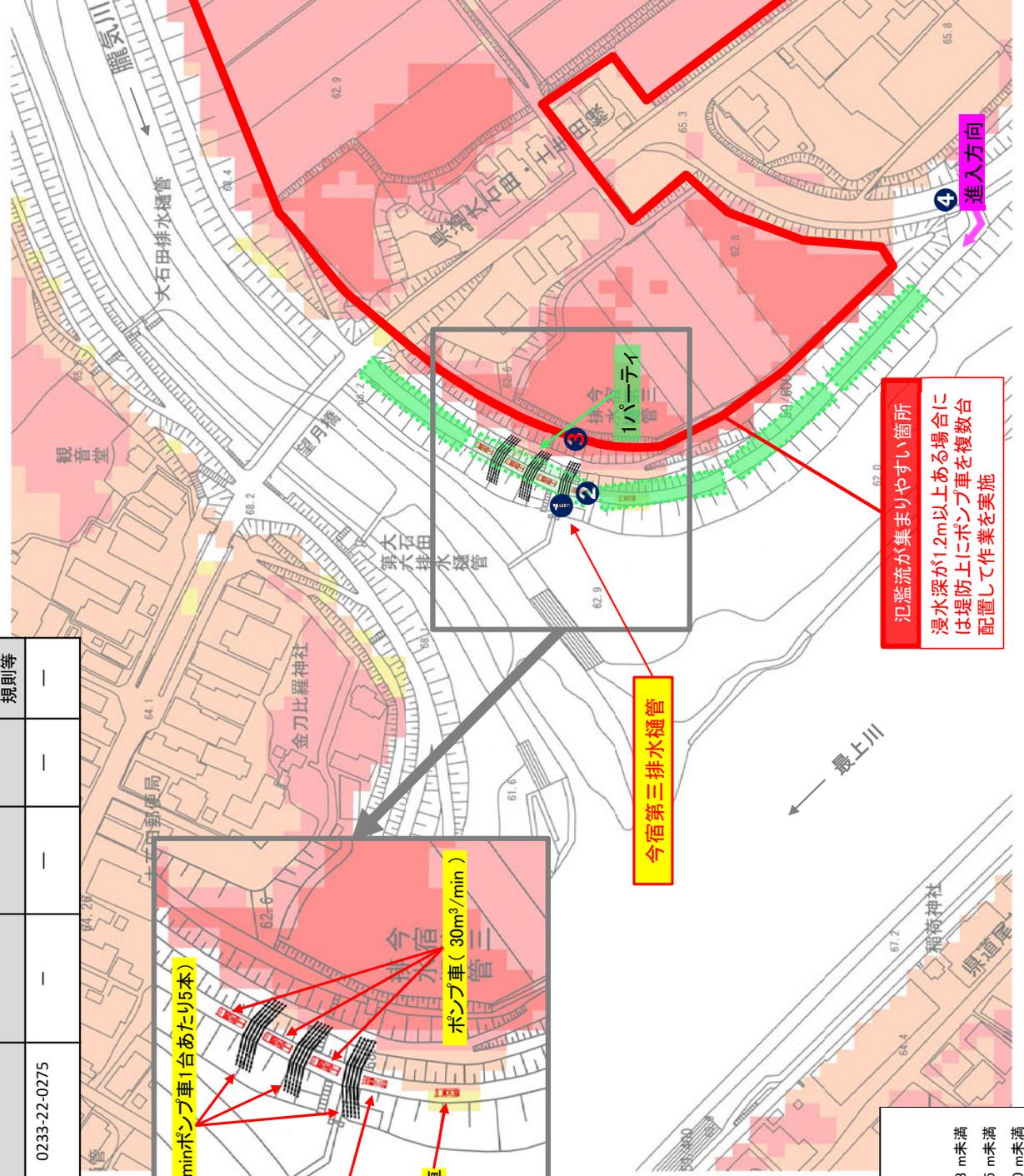
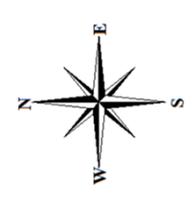


浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示



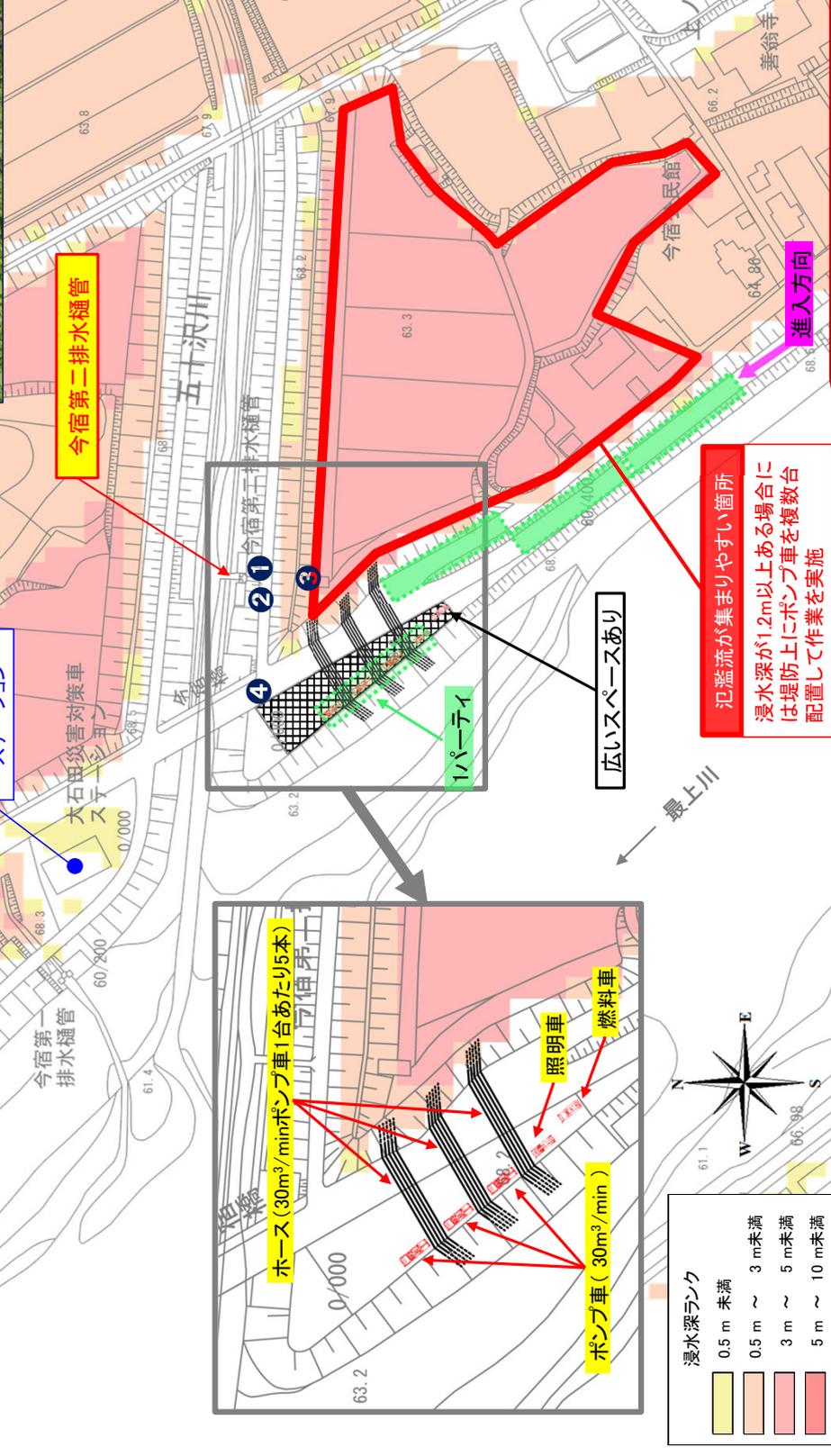
30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 15台
(1パーティ3台 × 5パーティ = 15台)

最上川右岸60.0k

道の駅尾花沢

今宿第三排水樋管、今宿第二排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
今宿第二排水樋管	約2.5m	今宿第二排水樋管 水路	最上川右岸60.3k付近
管理所管	TEL	門扉形式	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	—	—
		担当出張所	操作 規則等
		—	—
		今宿第二排水ポンプ車	60m ³ /minポンプ車
		○ 配置可能	○ 配置可能

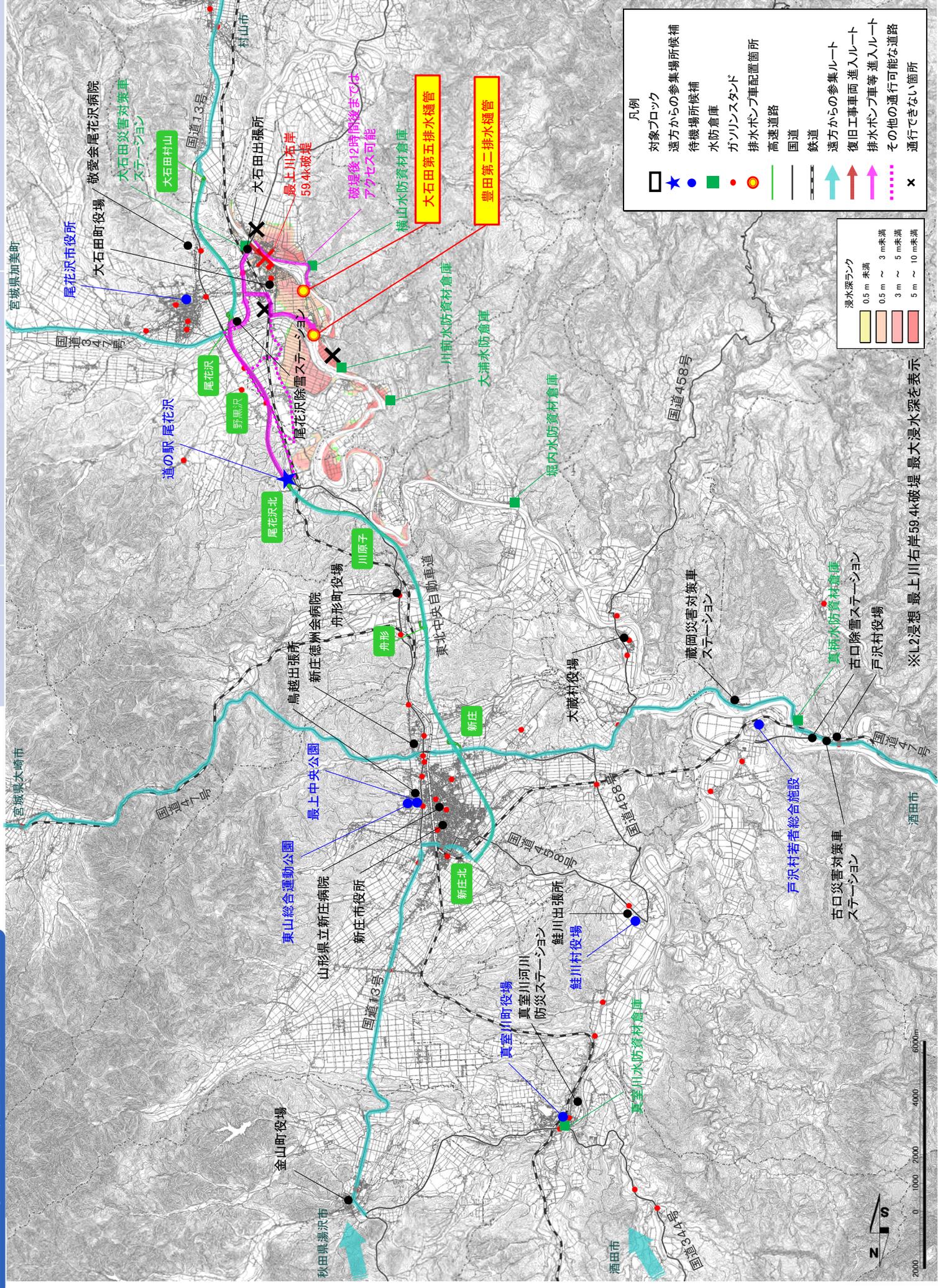


30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 12台
(1パーティ3台 × 4パーティ = 12台)

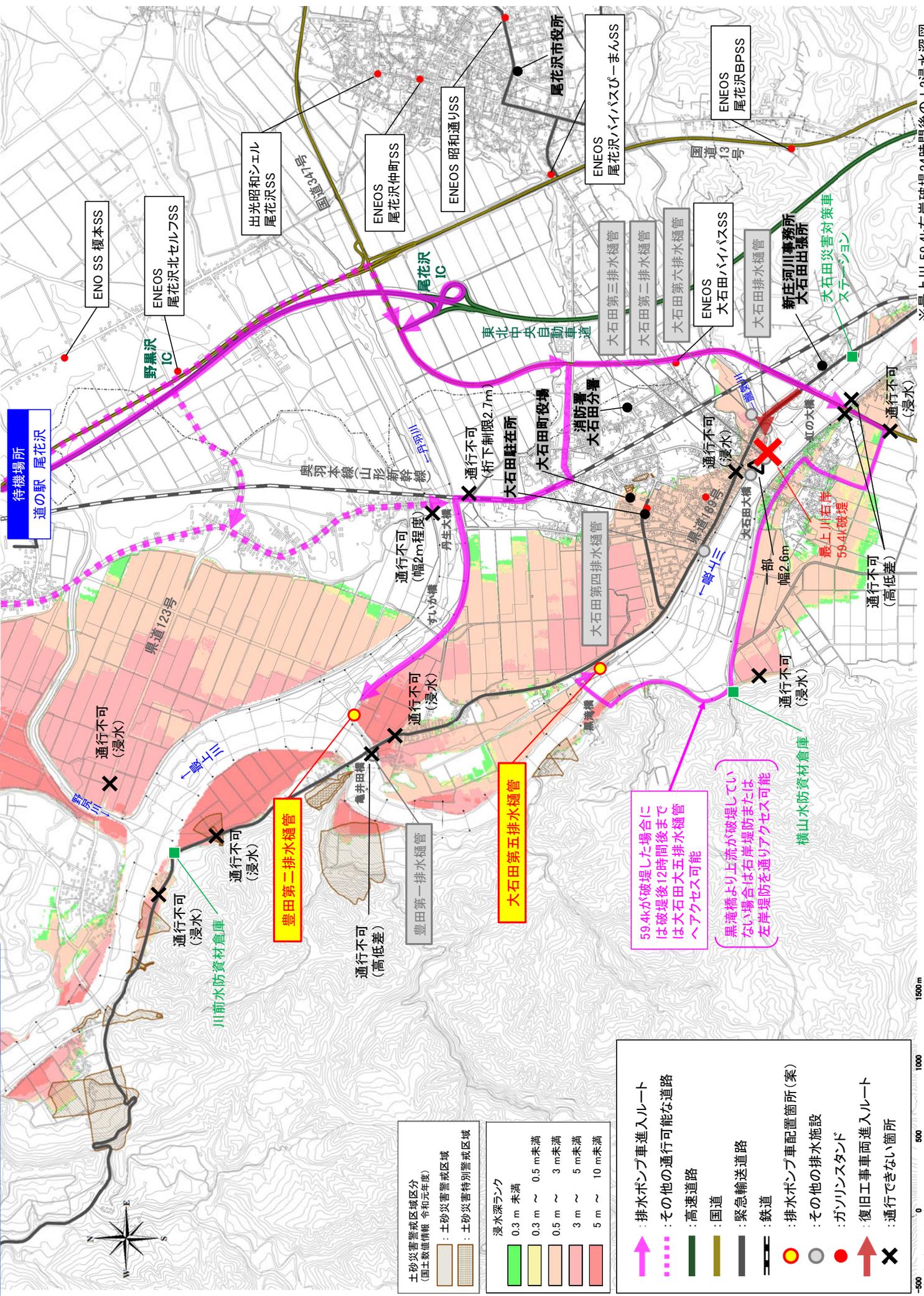
※L2浸想最大浸水深を表示
: 1パーティ目安

ブロック③ 大石田町 大石田、豊田地区(MOR-3)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



※L2浸想定最上川右岸59.4k破堤最大浸水深を表示



土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

59.4kが破堤した場合に
は破堤後12時間後まで
は大石田大五排水樋管
へアクセス可能

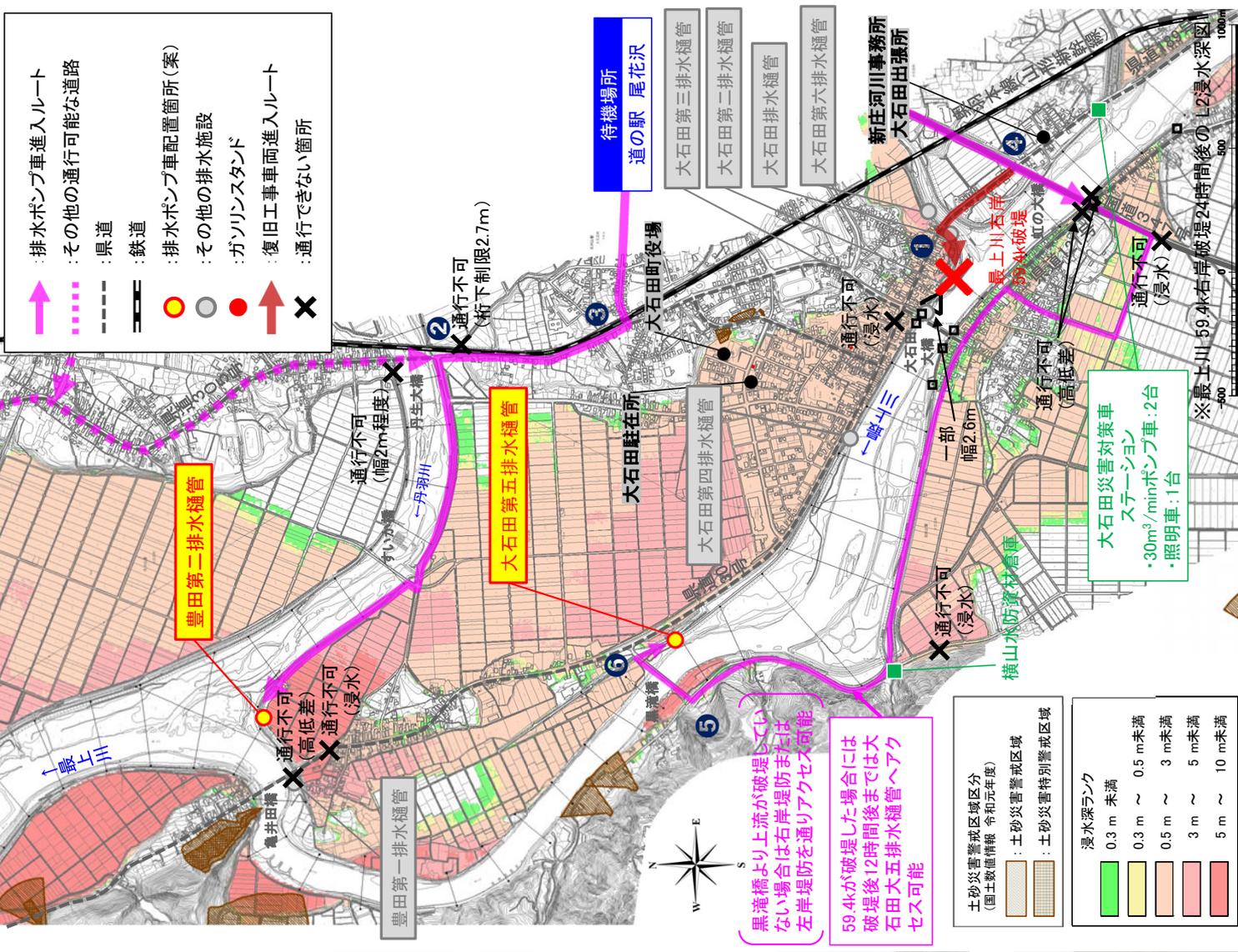
黒滝橋より上流が破堤してい
ない場合は右岸堤防または
左岸堤防を通りアクセス可能

※最上川 59.4k右岸破堤24時間後の L2浸水深図

ブロック③ 大石田町 大石田、豊田地区 (MOR-3)

② 進入ルート図 (2/2)

破堤地点 最上川右岸59.4k
 参集場所 道の駅 尾花沢
 排水ポンプ車配置箇所 豊田第二排水樋管、大石田第五排水樋管



黒滝橋より上流が破堤しては
ない場合は右岸堤防または
左岸堤防を通りアクセス可能
59.4kが破堤した場合には
破堤後12時間後までは大
石田大五排水樋管へアク
セス可能

ブロック③ 排水ポンプ車等の配置図(1/2)

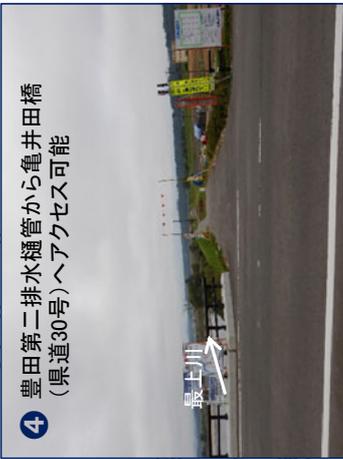
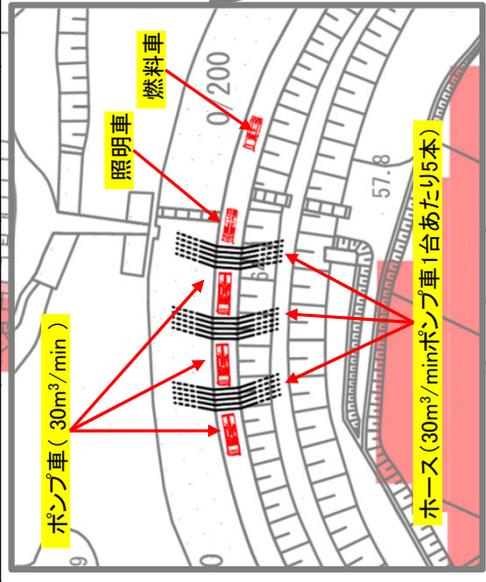
破堤地点
最上川右岸59.4k

排水ポンプ車配置箇所
豊田第二排水樋管、大石田第五排水樋管

参考場所
道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
豊田第二排水樋管	約4.5m	豊田第二排水樋管 水路	最上川右岸55.0k付近
30m ³ /minポンプ車	60m ³ /minポンプ車	○ 配置可能	×
配置不可			

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	大石田 出張所	フロート ゲート	自動 開閉	無



氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

亀井田橋から上流側の堤防天端へはアクセスできない

1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

浸水深ランク	色
0.5 m 未満	黄
0.5 m ~ 3 m 未満	橙
3 m ~ 5 m 未満	赤
5 m ~ 10 m 未満	深赤

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 27 台
(1パーティ3台 × 9パーティ = 27台)



ブロック③ 排水ポンプ車等の配置図(2/2)

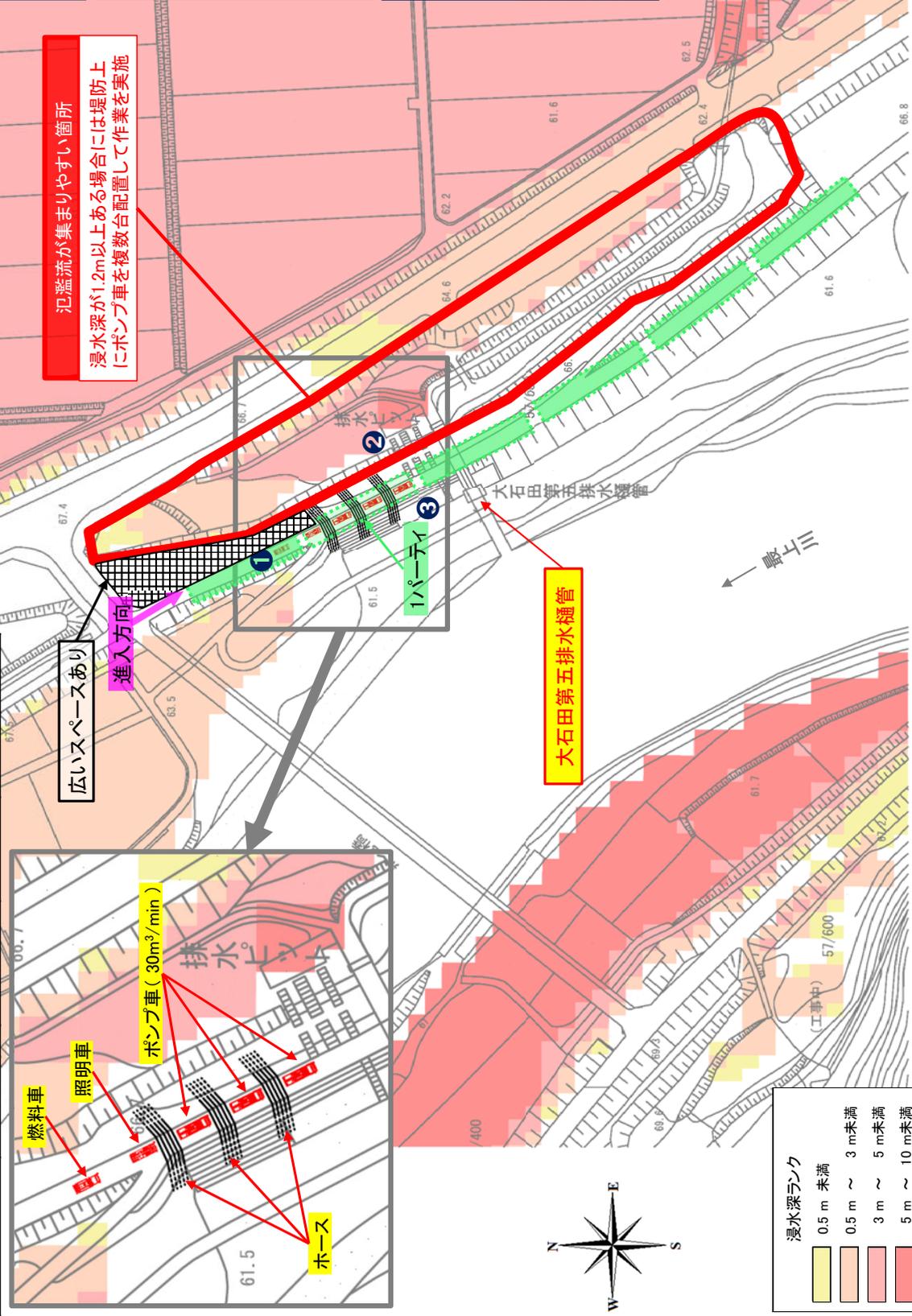
破堤地点
最上川右岸59.4k

参集場所
道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所
豊田第二排水樋管、大石田第五排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水先	排水元
大石田第五排水樋管	約5.5m	最上川右岸57.6k付近	大石田第五排水樋管 水路

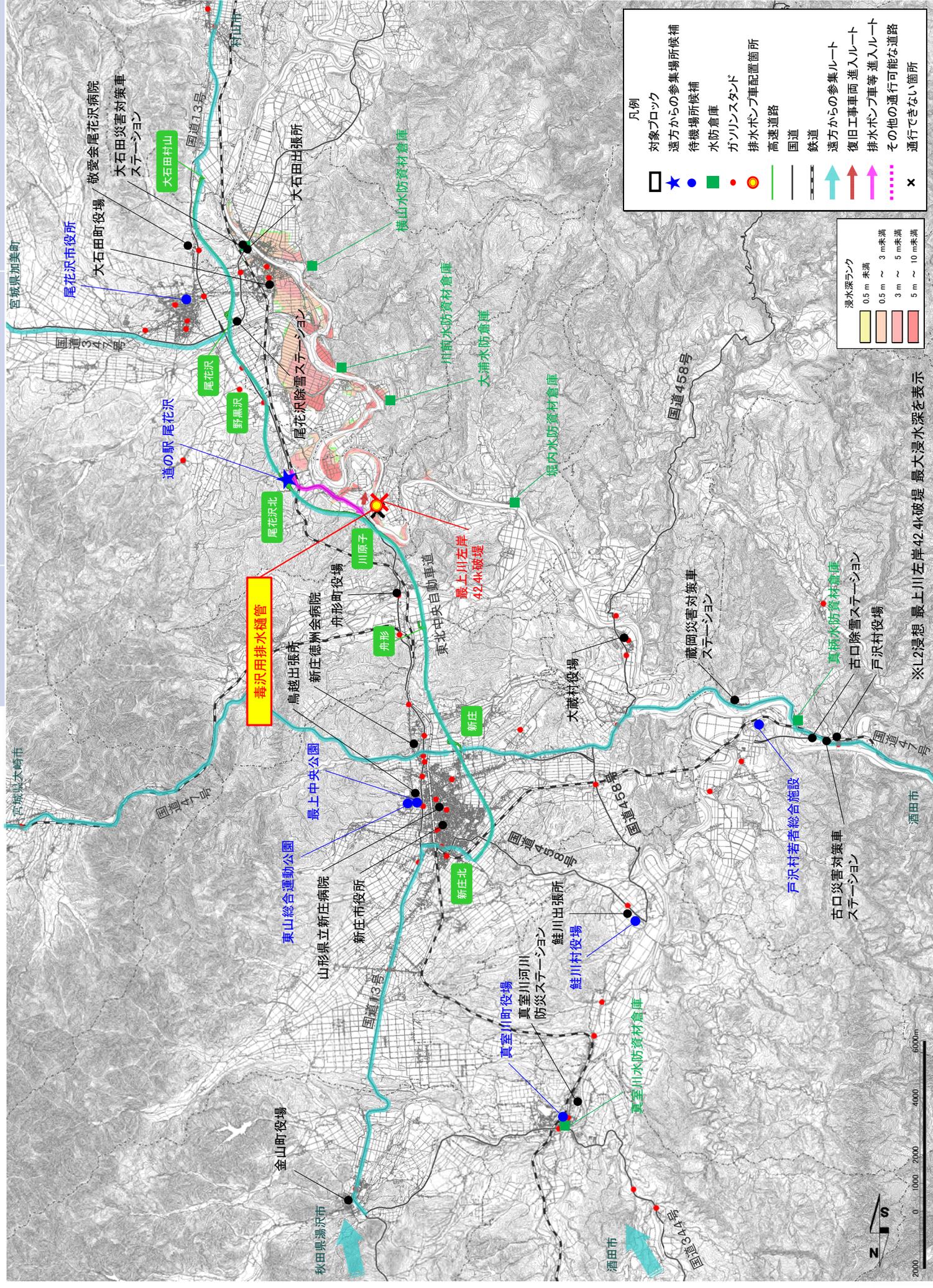
管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	大石田 出張所	ローラー ゲート	電動及 び手動	有



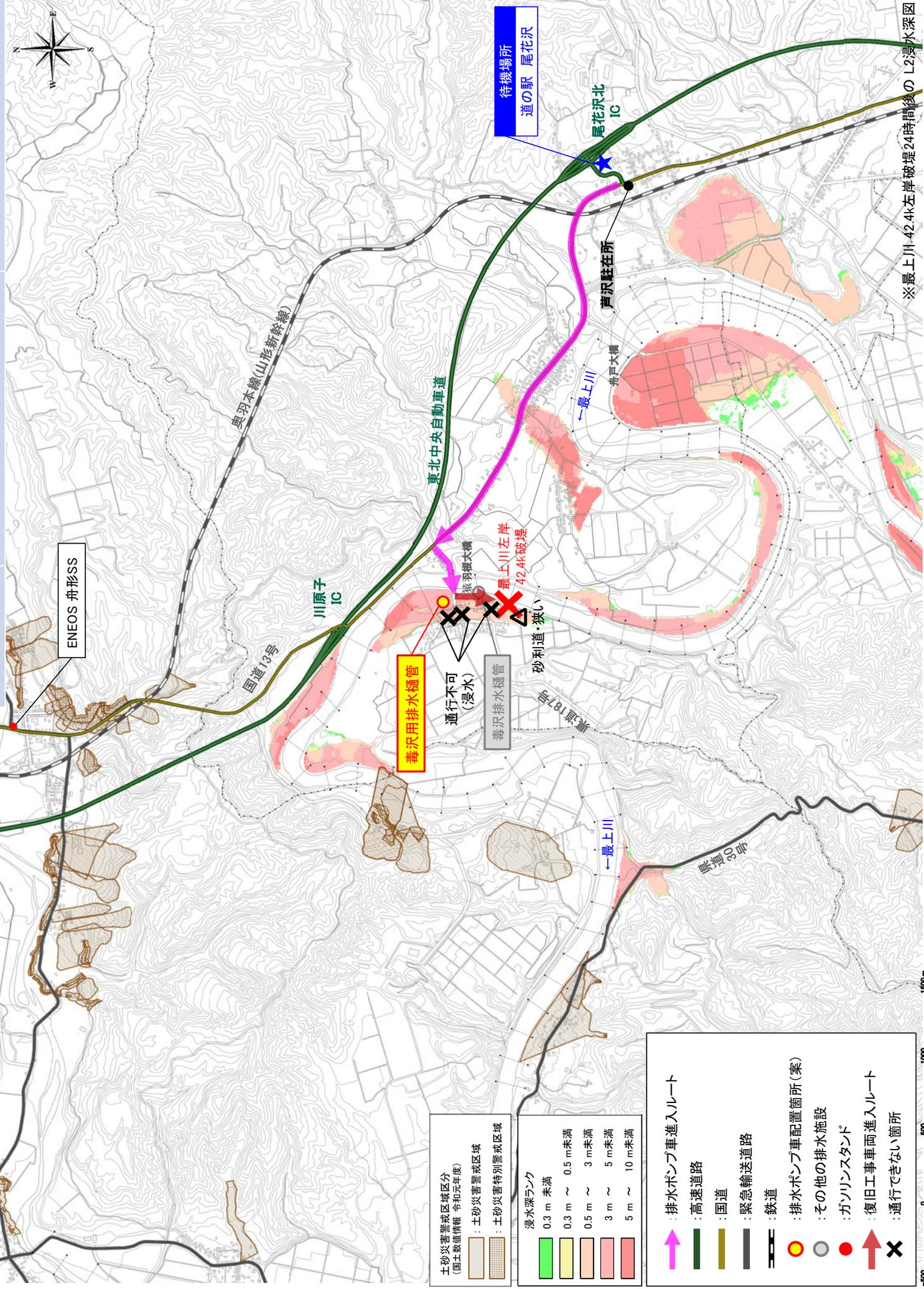
30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 18 台
(1パーティ3台 × 6パーティ = 18台)

ブロック④ 尾花沢市 毒沢地区(MOL-8)

- ① 全体図
(待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図
(排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



※L2浸想 最上川左岸42.4k破堤 最大浸水深を表示



土砂災害警戒区域区分
(国土数値情報 令和元年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

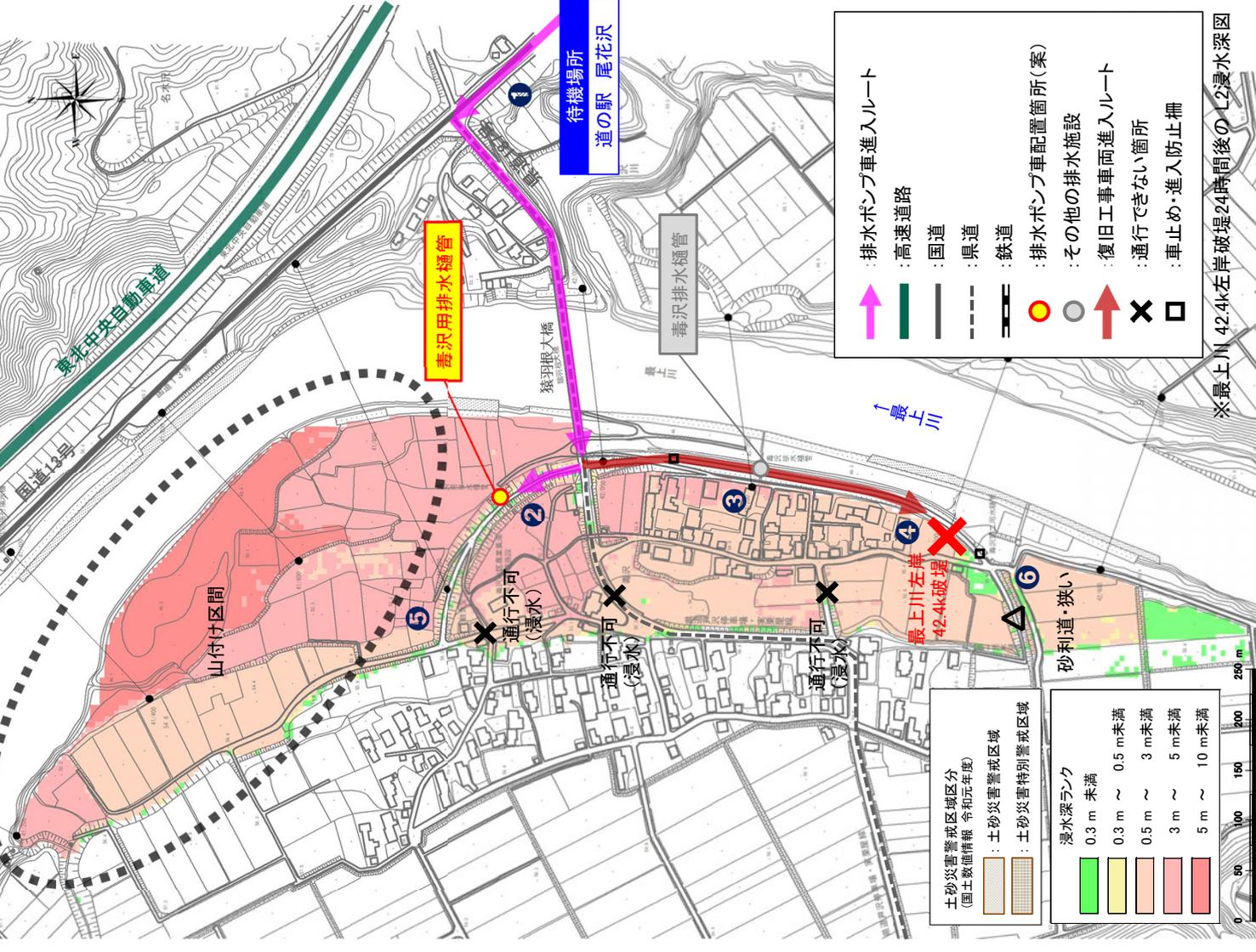
0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
----------	------------------	----------------	--------------	---------------

排水ポンプ車進入ルート

- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所



※最上川-42.4k左岸破堤24時間後のL2:浸水深図



※最上川 42.4k左岸破堤24時間後のL2浸水深図



排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水先
毒沢用排水樋管	約3m	最上川左岸41.93k付近
管理所管	TEL	管理形式
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	スライド ゲート
	担当出張所	動力
	大石田 出張所	電動及 び手動
	操作 規則等	—
	今宿第三排水樋管 水路	配置可能
		× 配置不可
		60m ³ /minポンプ車
		30m ³ /minポンプ車

管理所管	TEL	担当出張所	管理形式	動力	操作 規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	大石田 出張所	スライド ゲート	電動及 び手動	—

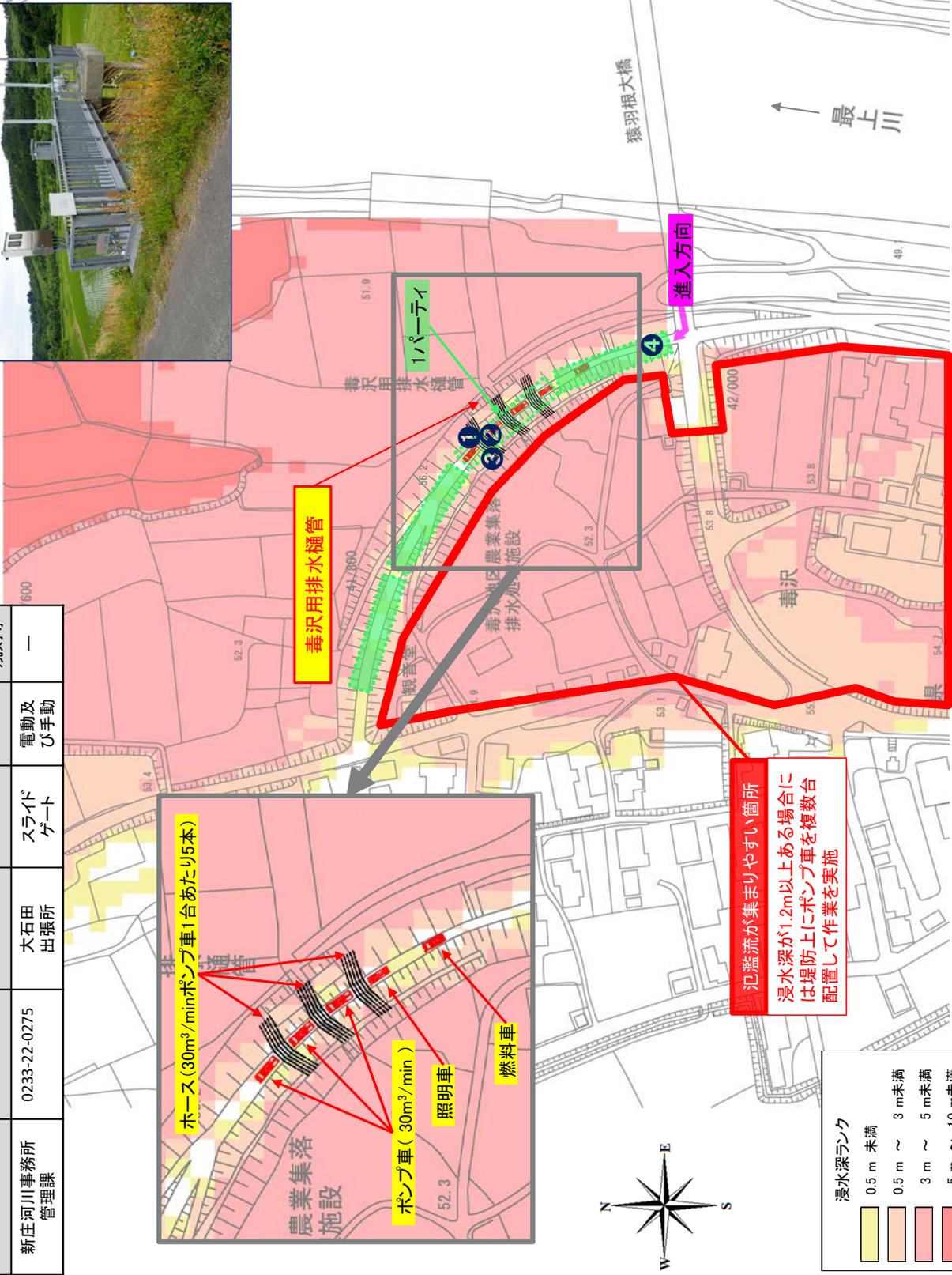


氾濫流が集まりやすい箇所
 浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

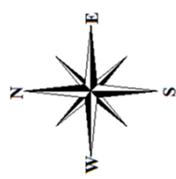
浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満
5 m ~	

：1/パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

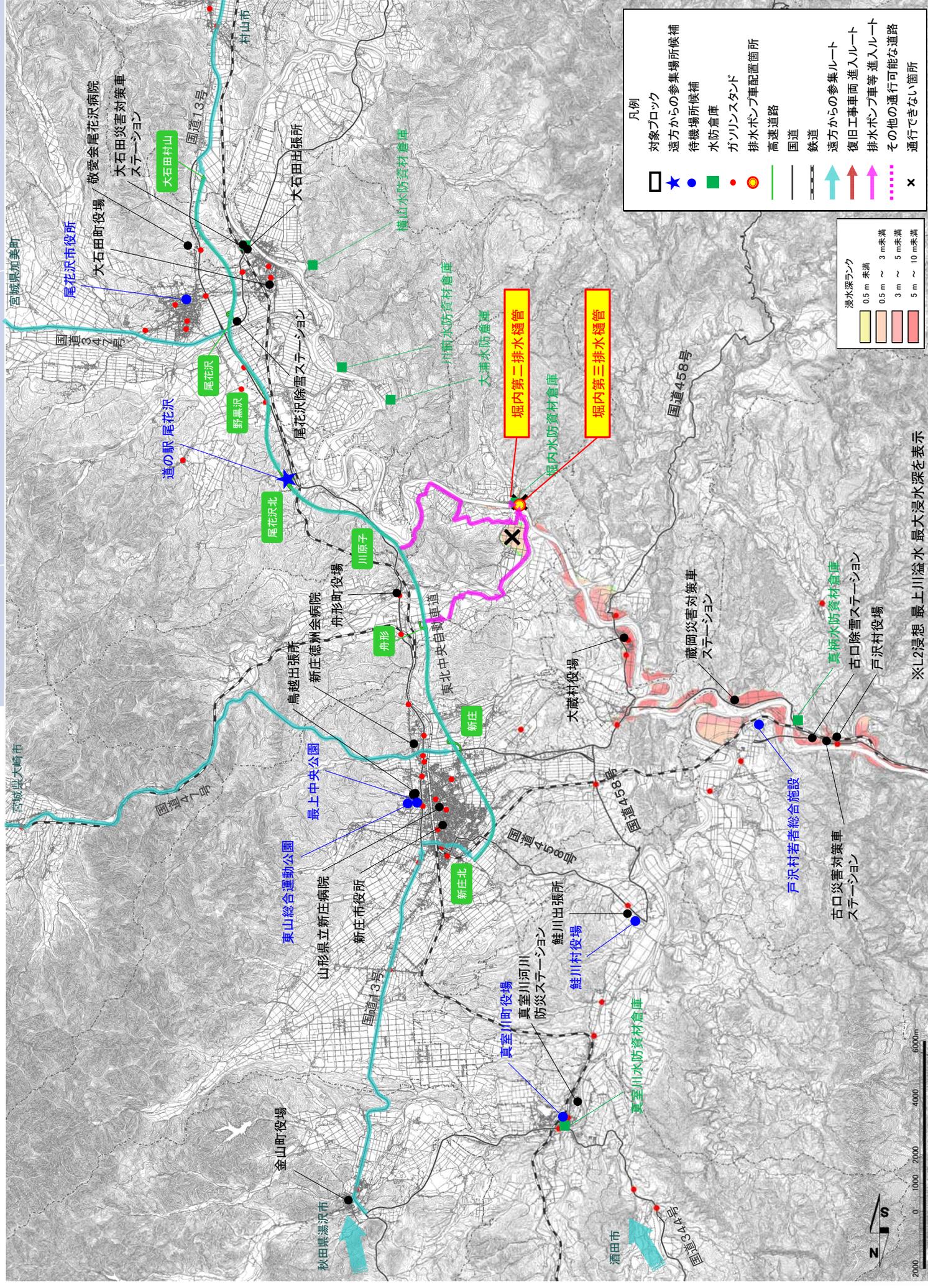


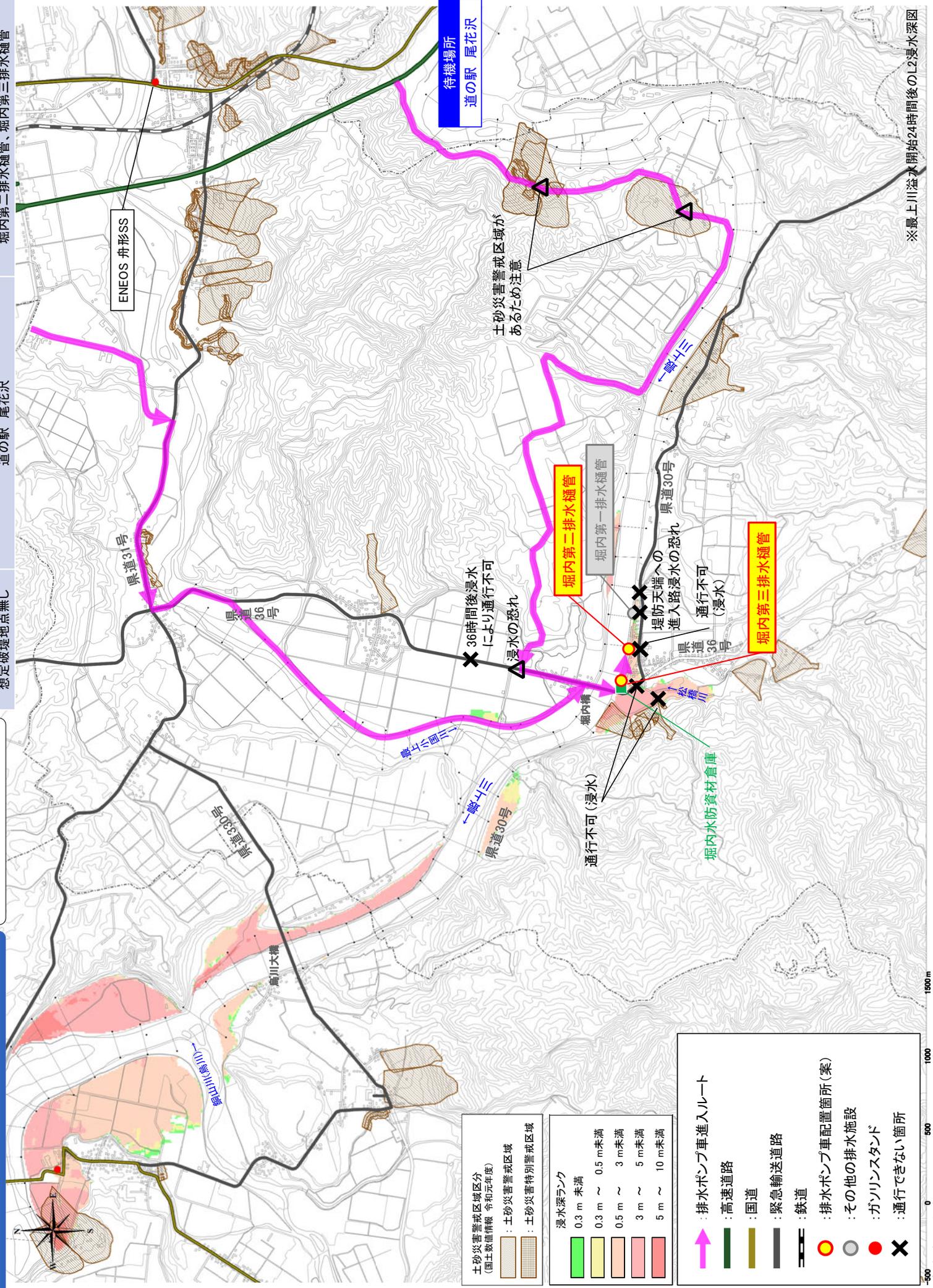
30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 12台
 (1/パーティ3台 × 4/パーティ = 12台)



ブロック⑤ 舟形町 堀内地区(MOL-10)

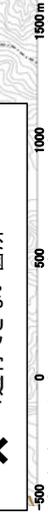
- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図





土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和5年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

排水ポンプ車進入ルート	高速度路	国道	緊急輸送道路	鉄道	排水ポンプ車配置箇所(案)	その他の排水施設	ガソリンスタンド	通行できない箇所
↑	—	—	—	—	●	●	●	×

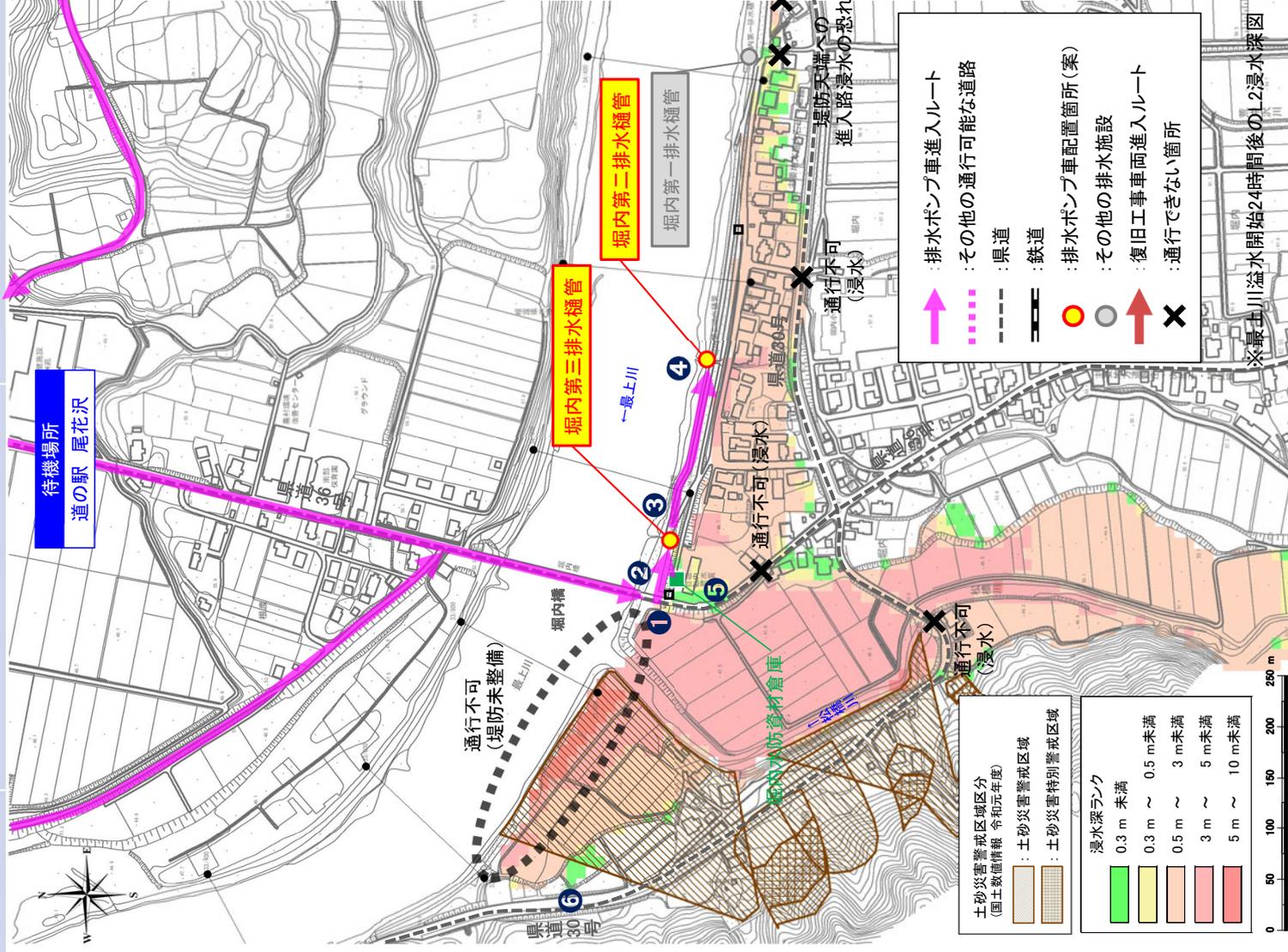
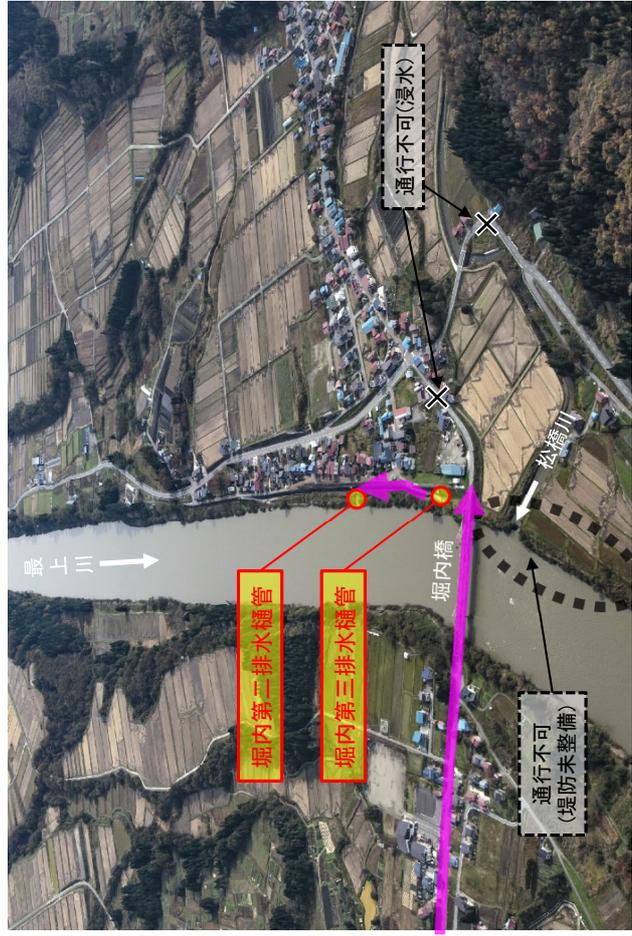


※最上川溢水開始24時間後のL2浸水深図

想定破堤地点無し

道の駅 尾花沢

堀内第二排水樋管、堀内第三排水樋管

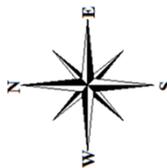
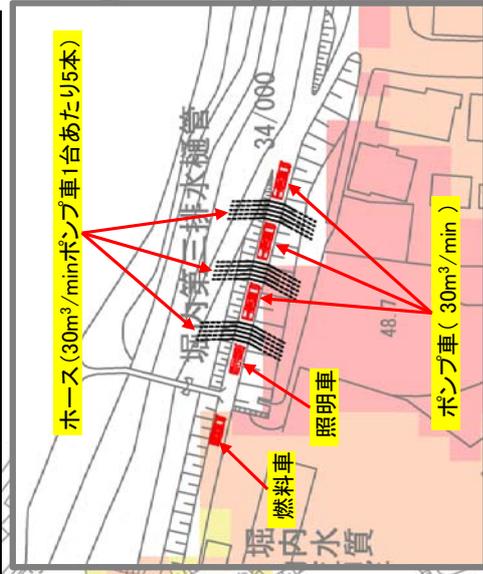


想定破堤地点無し
道の駅 尾花沢

堀内第二排水樋管、堀内第三排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水先
堀内第三排水樋管	約4m	堀内第三排水樋管 水路 最上川左岸33.95k付近

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	スライド ゲート	手動	—



堀内第三排水樋管

進入方向

最上川



浸水深ランク	0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
	[Yellow]	[Orange]	[Red]	[Dark Red]

：1パータイ目安

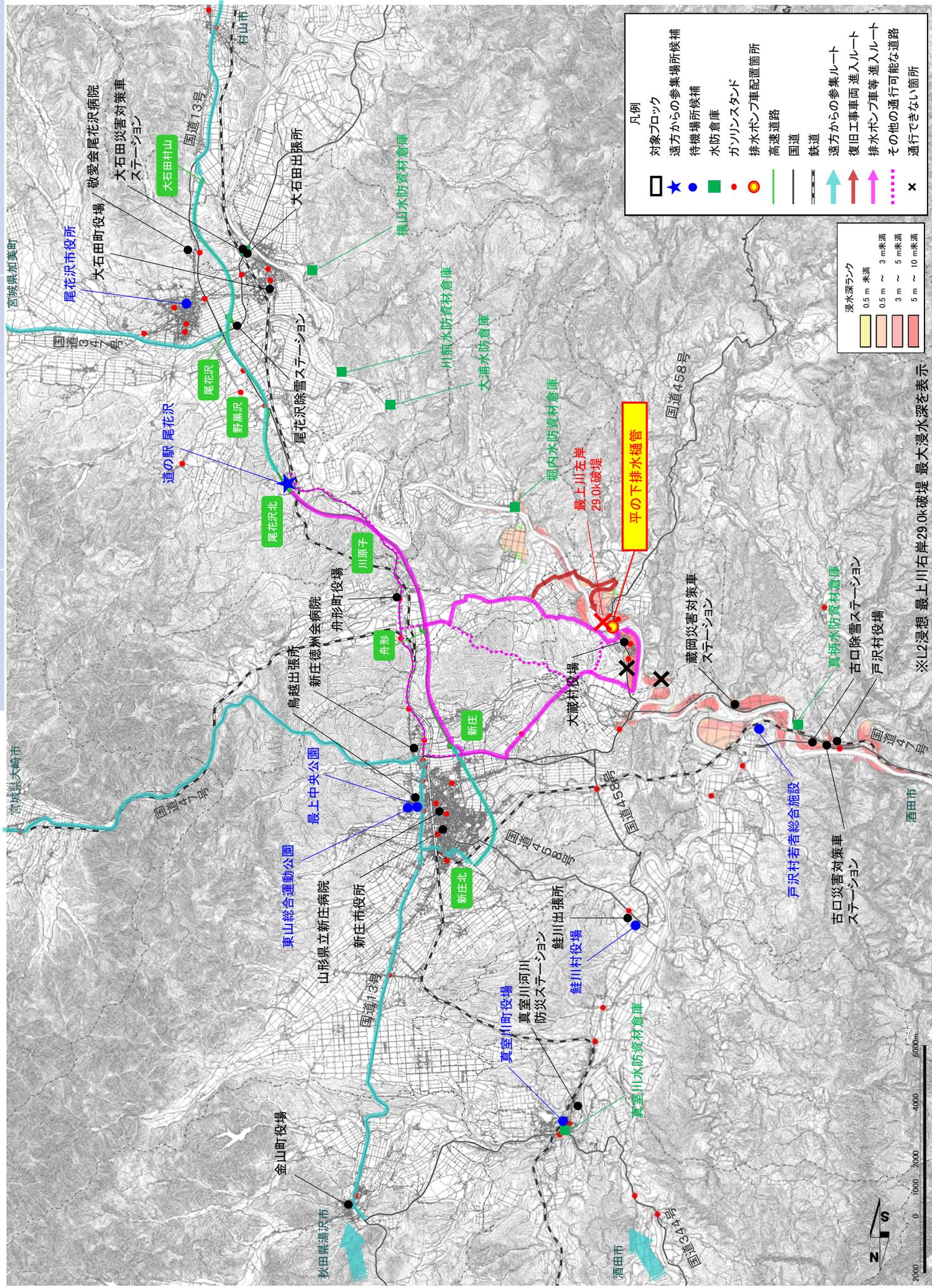
※L2浸想最大浸水深を表示

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 9台
(1パータイ3台 × 3パータイ = 9台)



ブロック⑥ 大蔵村 白須賀地区(MOL-13)

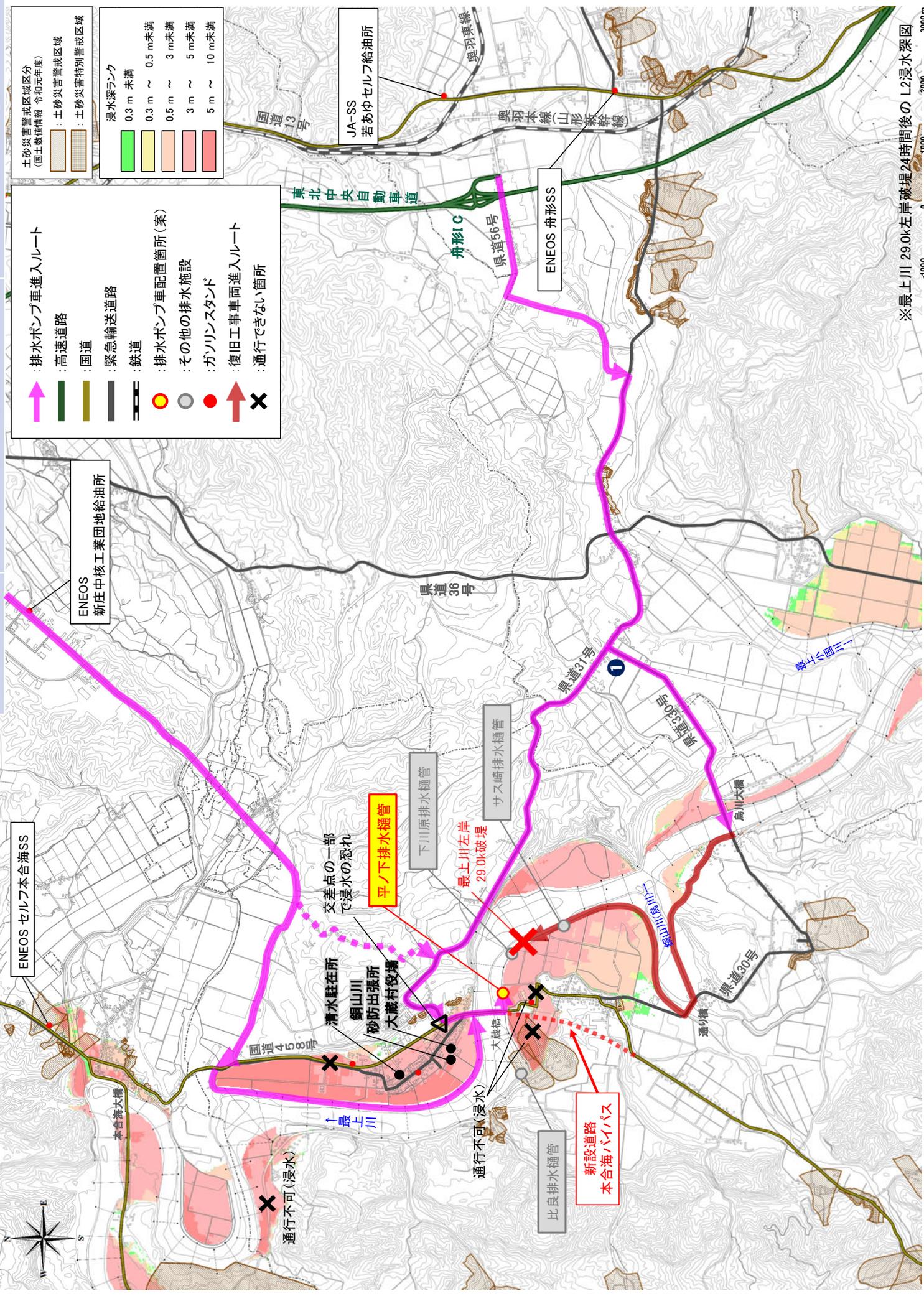
- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



最上川左岸29.0k

道の駅 尾花沢

平の下の排水樋管



排水ポンプ車進入ルート

- ↑ 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- ↑ 復旧工事車両進入ルート
- × 通行できない箇所

土砂災害警戒区域区分
(国土数値情報 令和元年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

- 0.3 m 未満
- 0.3 m ~ 0.5 m 未満
- 0.5 m ~ 3 m 未満
- 3 m ~ 5 m 未満
- 5 m ~ 10 m 未満

ENEOS
新庄中核工業団地給油所

ENEOS セルフ本舎海SS

平ノ下排水樋管

下川原排水樋管

最上川左岸
29.0k破堤

サス崎排水樋管

比良排水樋管

新設道路
本舎海バイパス

清水駐在所
銅山川
砂防出張所
大蔵村役場

通行不可(浸水)

通行不可(浸水)



※最上川 29.0k左岸破堤24時間後のL2浸水深図





① 県道31号を直進②へ進む
⑤に向かう場合は左折して県道30号へ【位置は1/2に掲載】



③ 県道31号から左折して国道488号へ一部浸水の恐れがあるため注意



⑤ 県道330号鳥川大橋を渡って五折 復旧工事車両進入ルートへ



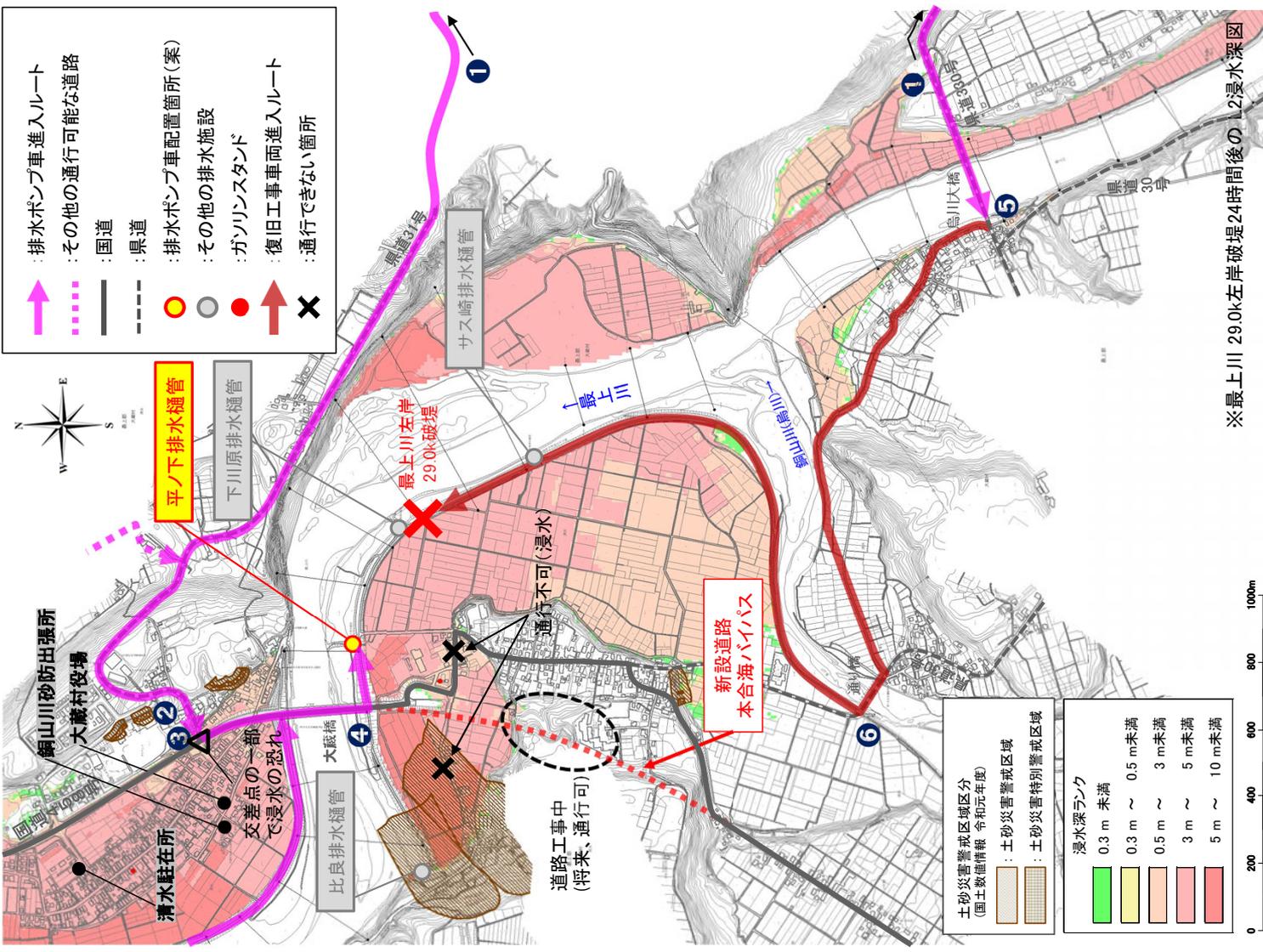
② 国道458号との交差点まで道なりに進む



④ 国道458号大蔵橋を渡って左折



⑥ 県道30号通り橋を渡り、右折して河川管理道路へ

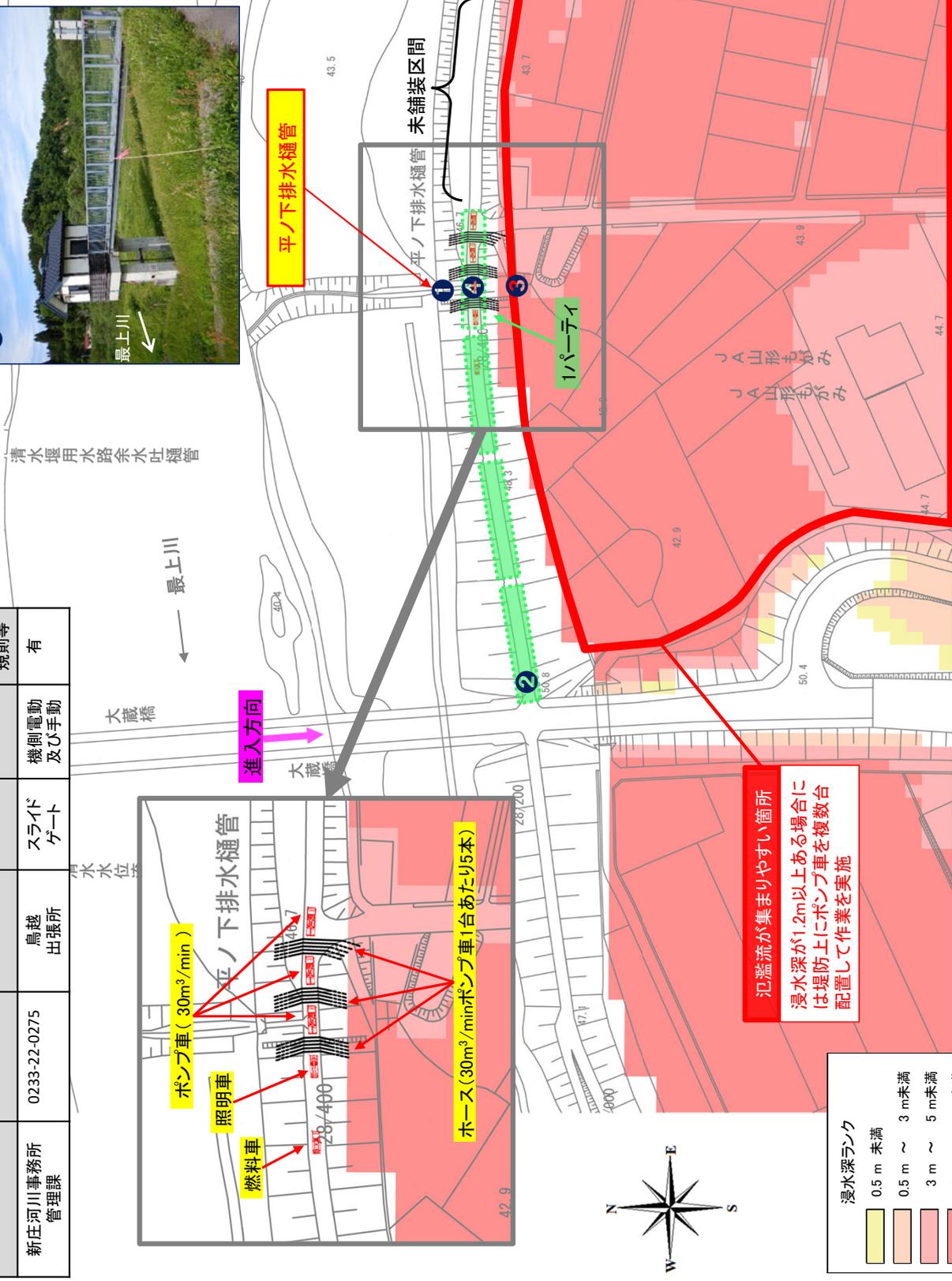
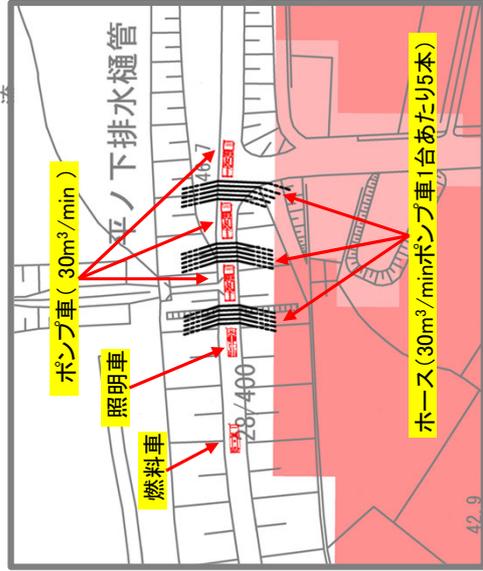


土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

※最上川 29.0k左岸破堤24時間後の②浸水深図

排水ポンプ車配置箇所	排水先	30m ³ /minポンプ車	60m ³ /minポンプ車
平ノ下排水樋管	平ノ下排水樋管 水路	○ 配置可能	× 配置不可
天端幅	約4.5m		
排水元	最上川左岸28.4k付近		

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	スライド ゲート	機関電動 及び手動	有



氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

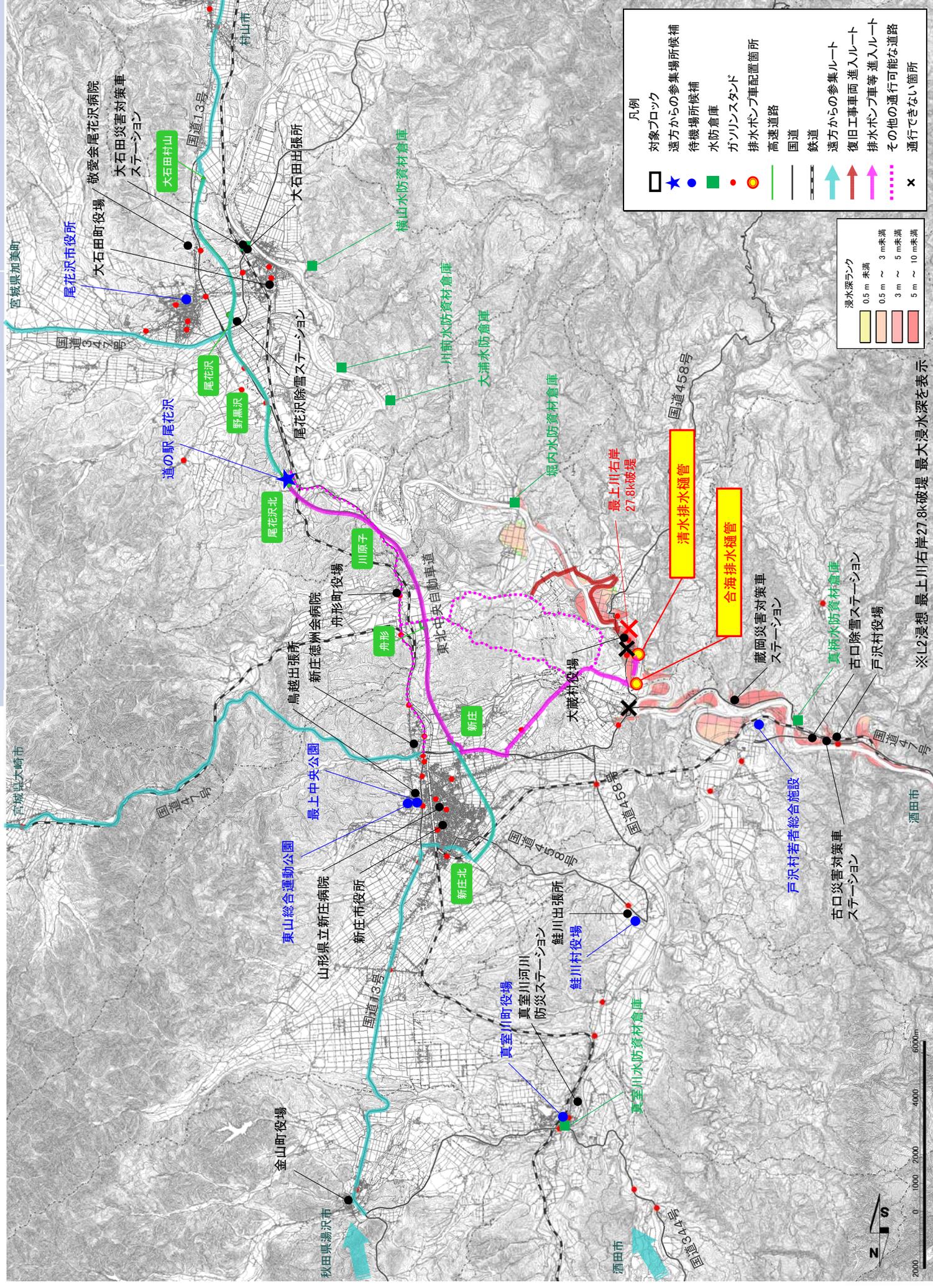
浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満

※L2浸想最大浸水深を表示

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 12台
(1パーティ3台 × 4パーティ = 12台)

ブロック⑦ 大蔵村 清水地区(MOR-13)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



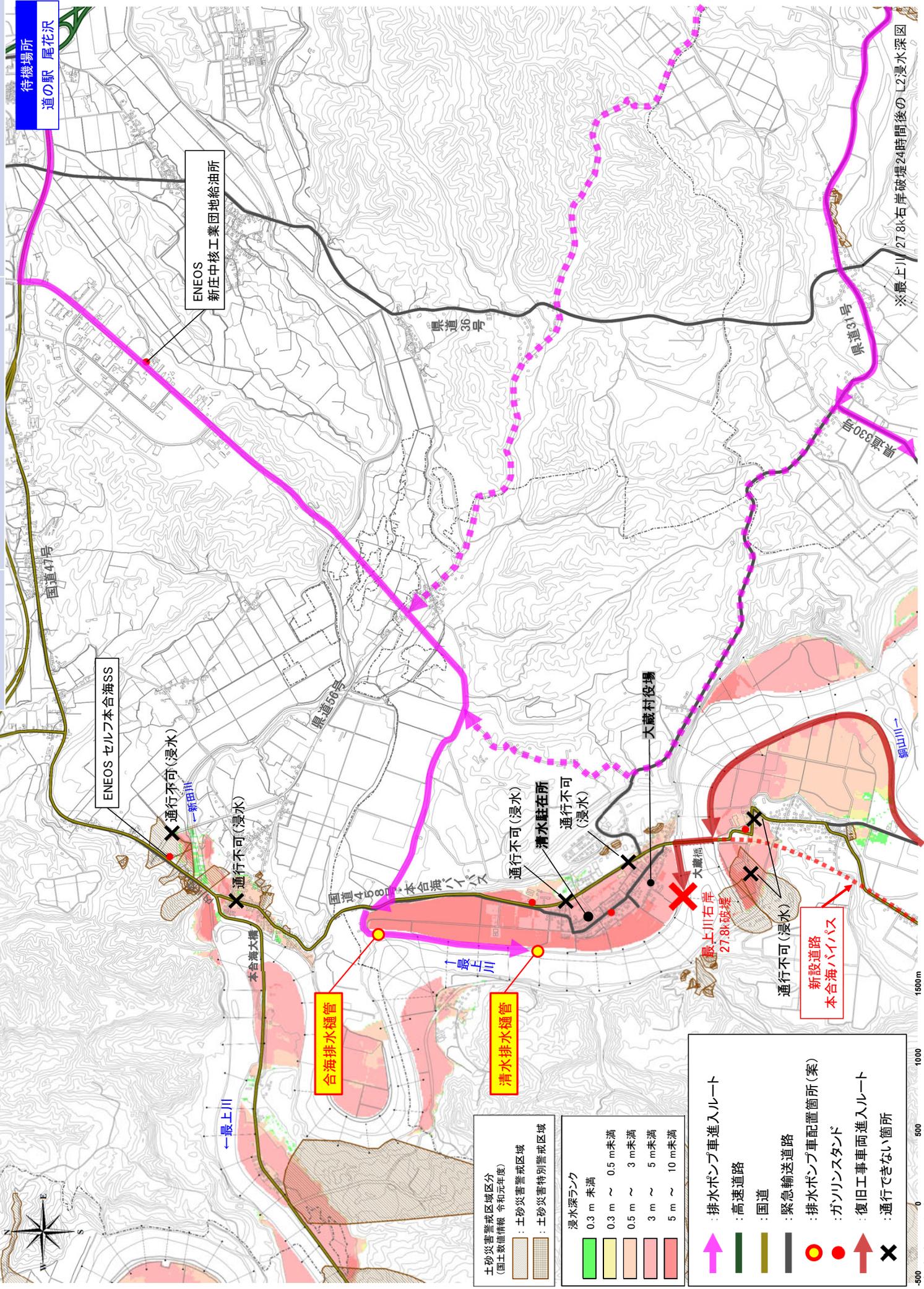
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所

浸水深ランク

- 0.5m 未満
- 0.5m ~ 3m未満
- 3m ~ 5m未満
- 5m ~ 10m未満

※L2浸想 最上川右岸27.8k破堤 最大浸水深を表示



土砂災害警戒区域区分
(国土数値情報 令和5年度)

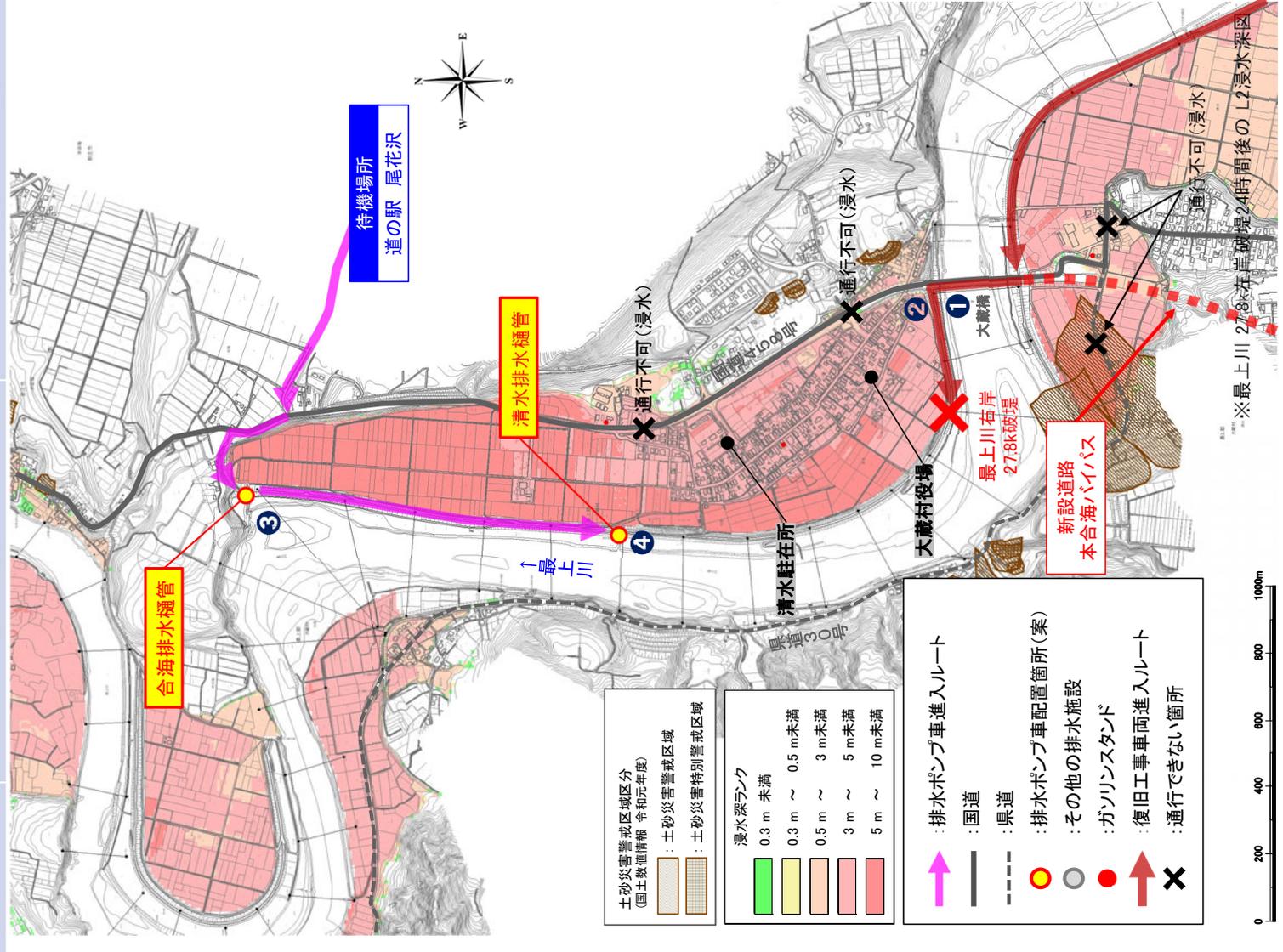
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク	色
0.3 m 未満	緑
0.3 m ~ 0.5 m 未満	黄緑
0.5 m ~ 3 m 未満	黄
3 m ~ 5 m 未満	オレンジ
5 m ~ 10 m 未満	赤

↑	排水ポンプ車進入ルート
—	高速道路
—	国道
—	緊急輸送道路
●	排水ポンプ車配置箇所(案)
●	ガソリンスタンド
↑	復旧工事車両進入ルート
×	通行できない箇所



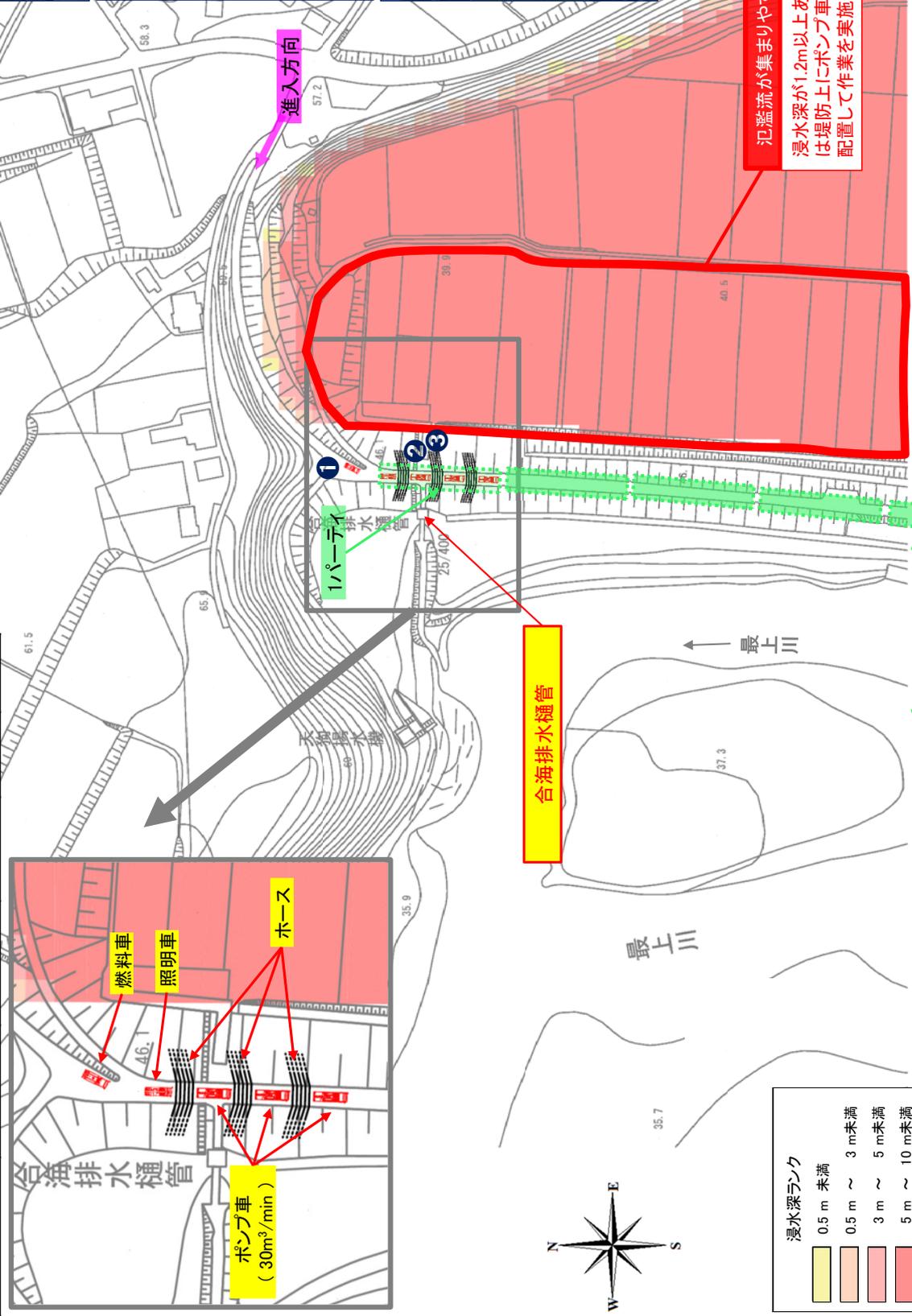
※最上川 27.8k右岸破堤24時間後のL2浸水深図



破堤地点
最上川右岸27.8k

道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所 台海排水樋管	天端幅 約4.8m	排水元 台海排水樋管 水路	排水先 最上川右岸25.4k付近	ポンプ車 60m ³ /minポンプ車 × 配置不可
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 鳥越 出張所	門扉形式 ローラー ゲート	動力 電動及 び手動
		操作 規則等 有		○ 配置可能 × 配置不可



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満
5 m ~	

：1パーティ目安

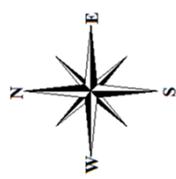
※L2浸想最大浸水深を表示



氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合には
堤防上にポンプ車を複数台
配置して作業を実施

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 15 台
(1パーティ3台 × 5パーティ = 15台)

〔坂路付近まで配置〕

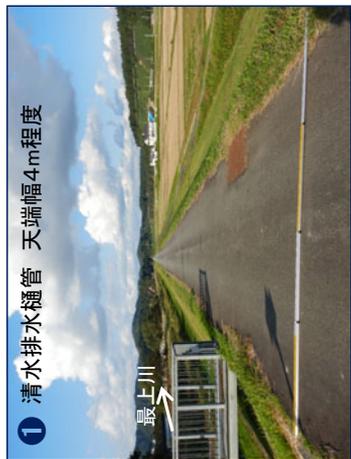
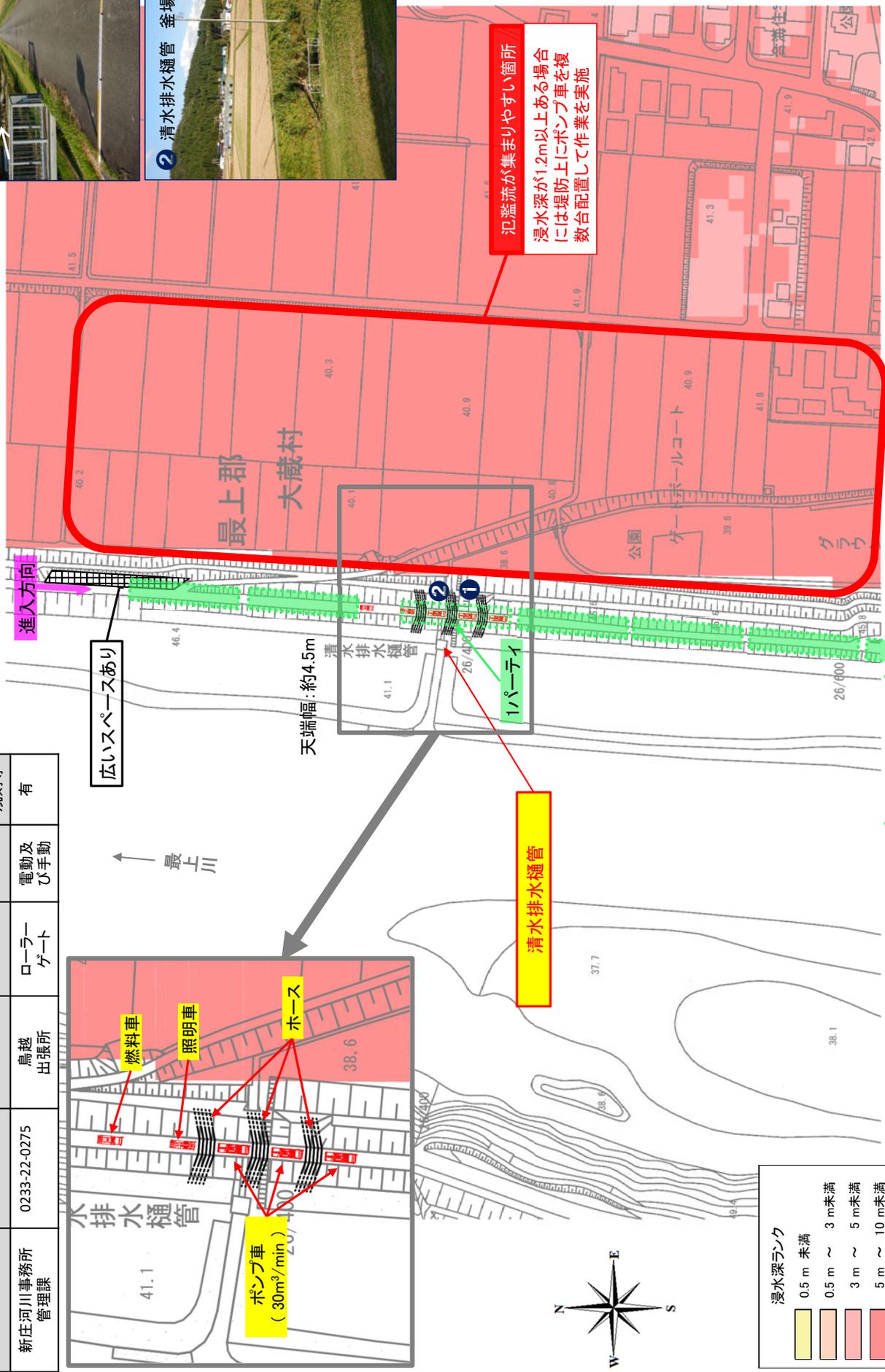
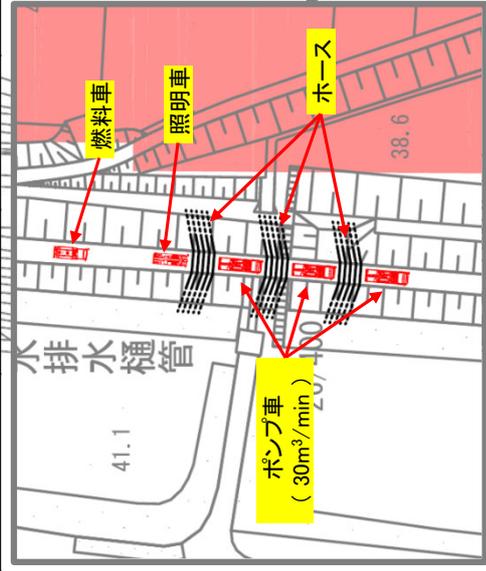


道の駅 尾花沢

合海排水樋管、漕水排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	排水元	排水先	30m ³ /minポンプ車	60m ³ /minポンプ車
清水排水樋管	清水排水樋管 水路	最上川右岸26.4k付近	○ 配置可能	× 配置不可
管理所管	TEL	担当出張所	操作規則等	
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	有	

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	ローラー ゲート	電動及 び手動	有



30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 21 台
(1パーティ3台 × 7パーティ = 21台)

〔坂路付近まで配置〕

浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

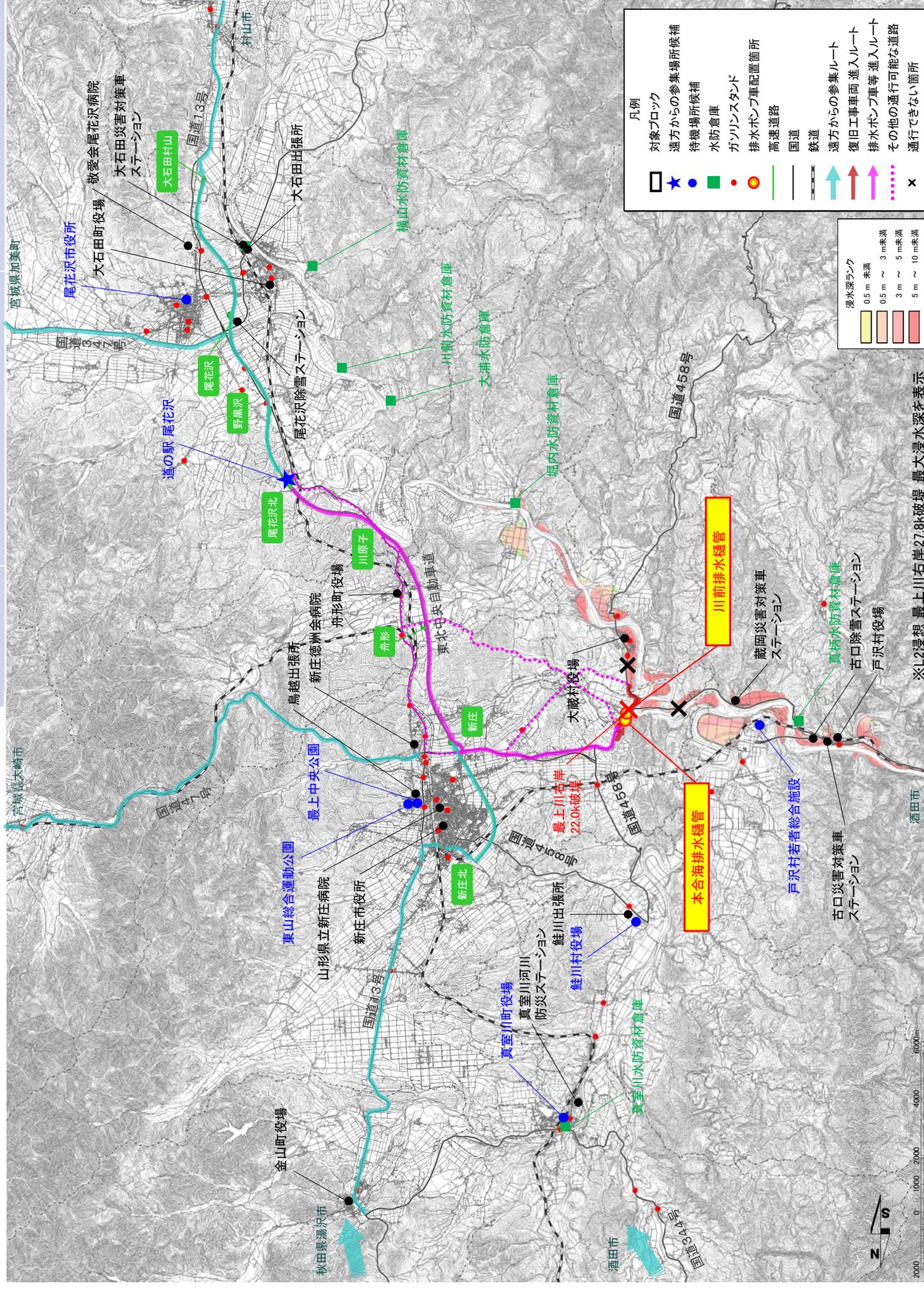
ブロック⑧ 新庄市 鶴の子地区(MOR-20)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

川前排水樋管、本合海排水樋管

道の駅 尾花沢

最上川右岸22.0k



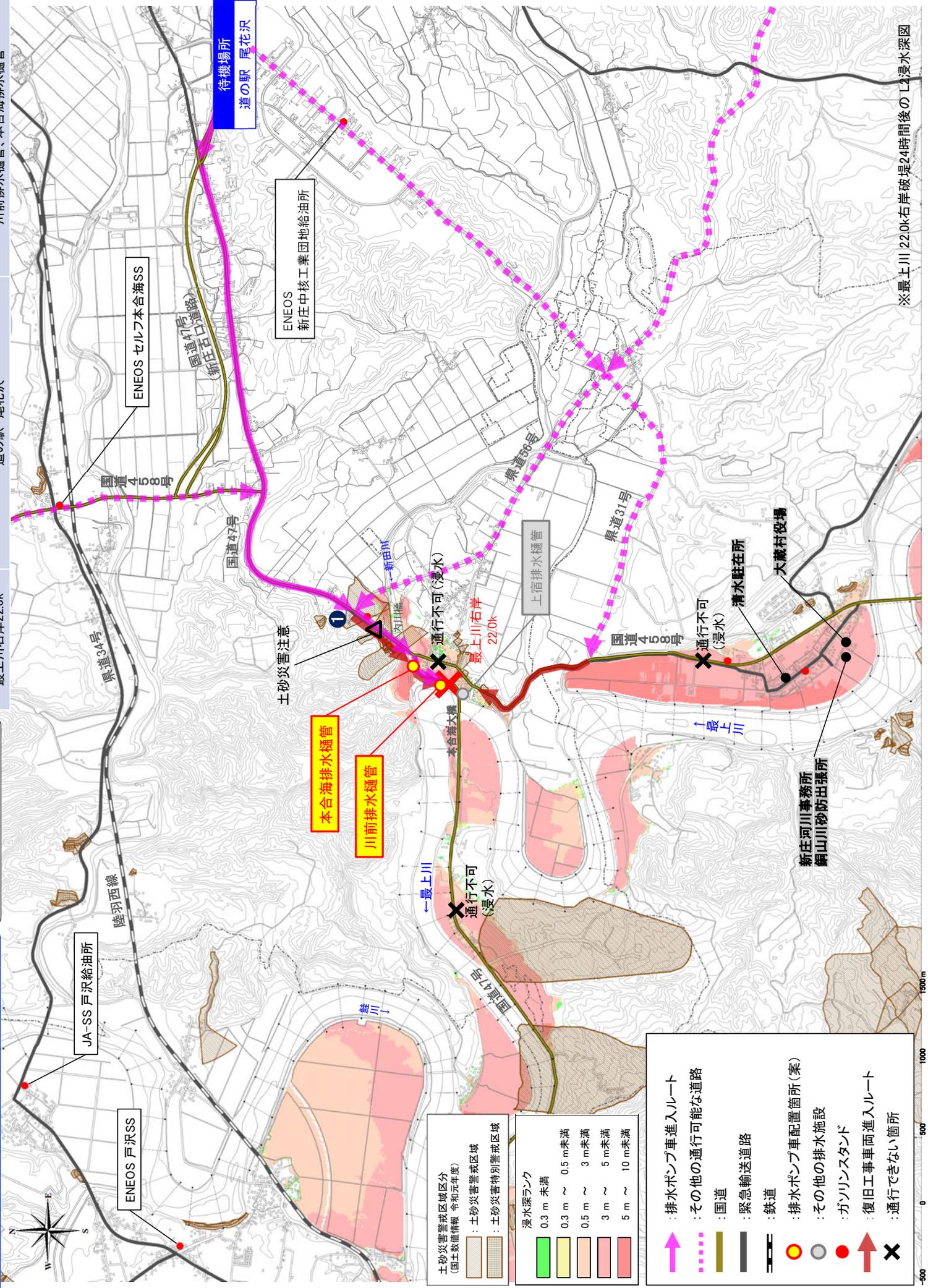
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所



※L2浸想 最上川右岸27.8k破堤 最大浸水深を表示



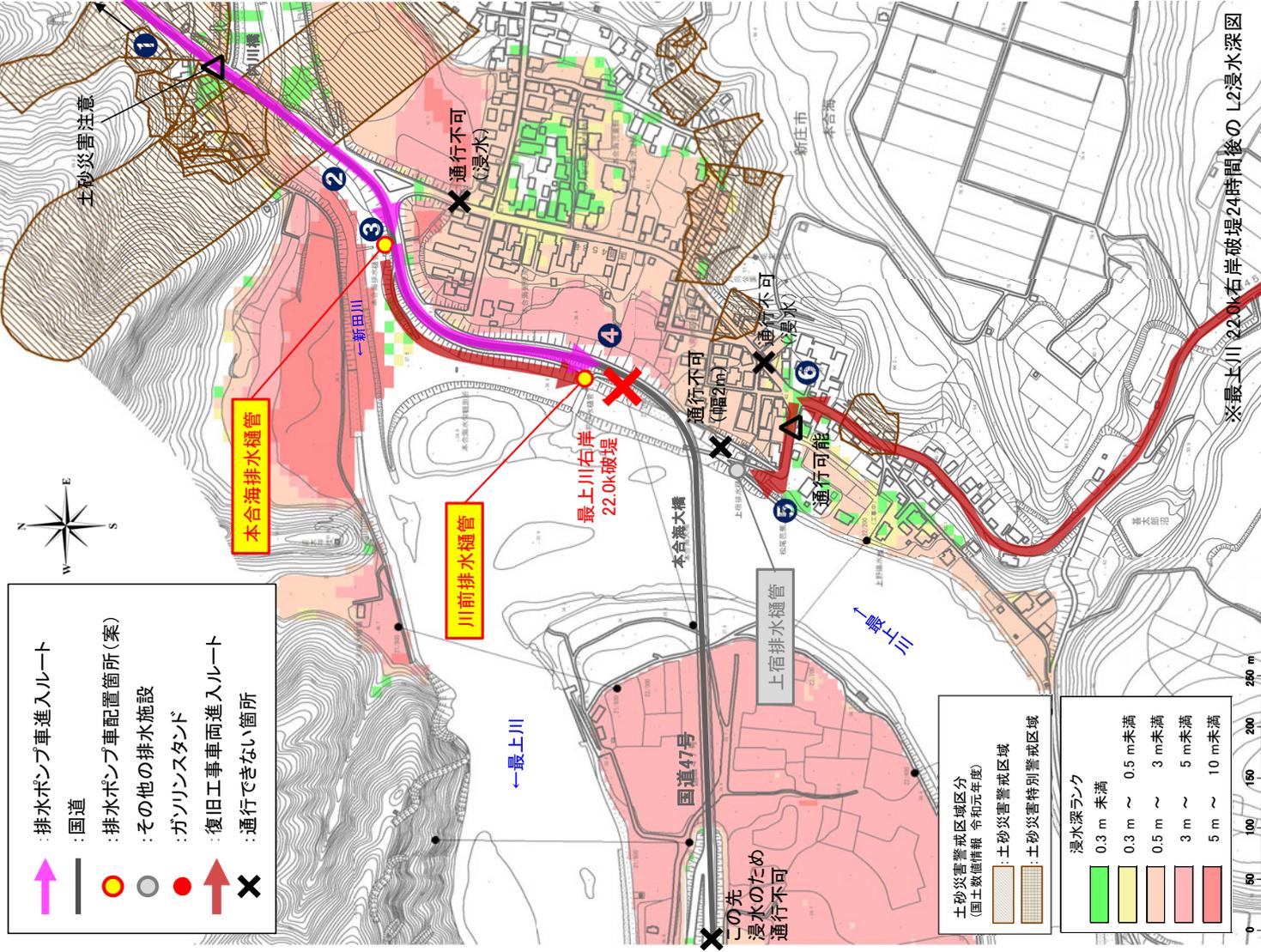
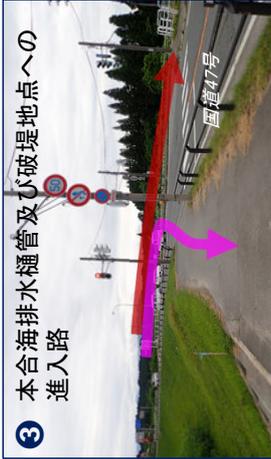


土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和5年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

※最上川 22.0k 右岸破堤24時間後の L2 浸水深図





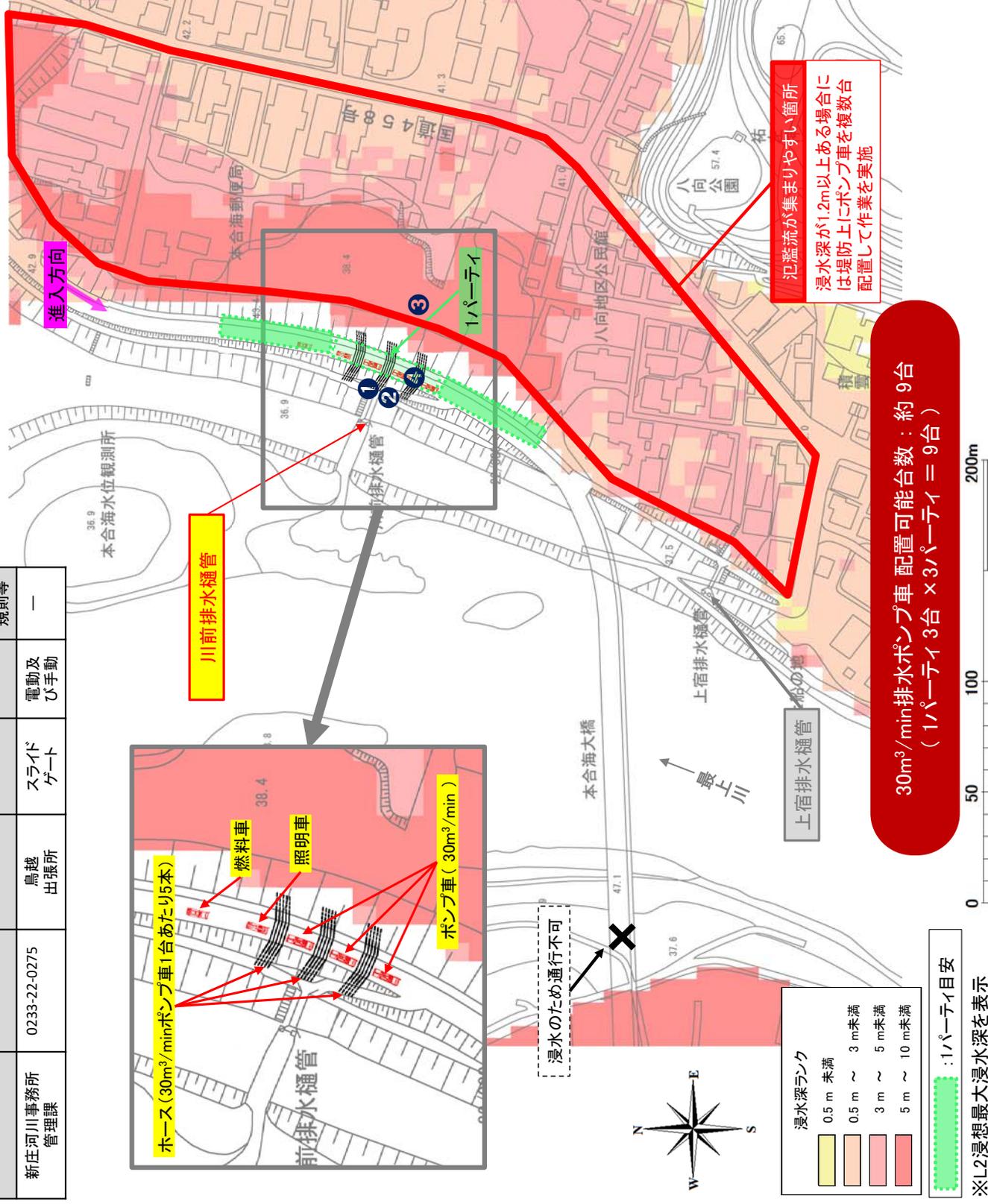
最上川右岸22.0k

道の駅 尾花沢

川前排水樋管、本合海排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m ³ /minポンプ車	60m ³ /minポンプ車
川前排水樋管	約7m	川前排水樋管 水路	最上川右岸21.94k付近	○ 配置可能	○ 配置可能

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	スライド ゲート	電動及 び手動	—



30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 9台
 (1パーティ3台 × 3パーティ = 9台)

氾濫流が集まりやすい箇所
 浸水深が1.2m以上ある場合には
 堤防上にポンプ車を複数台
 配置して作業を実施

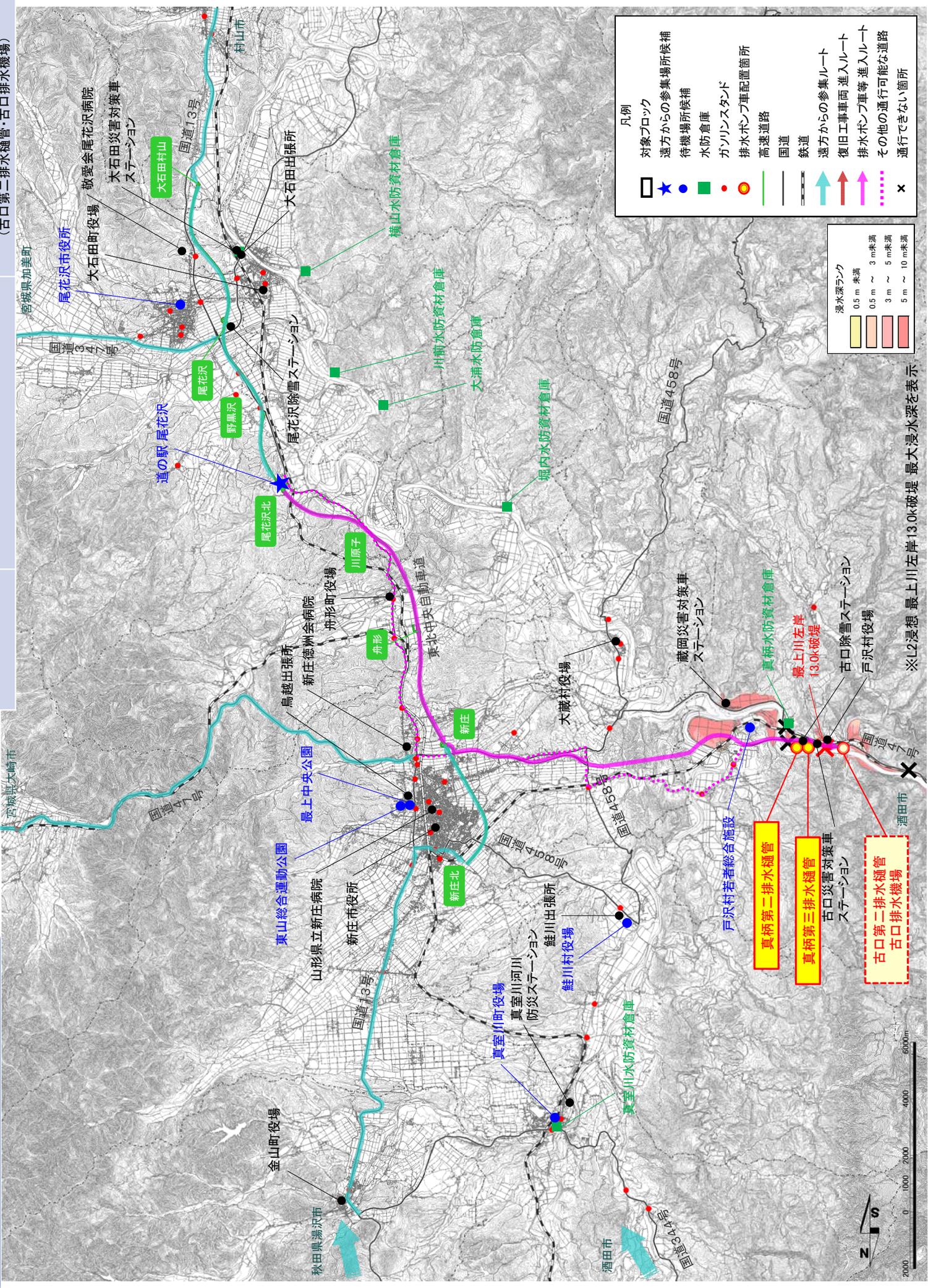
：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

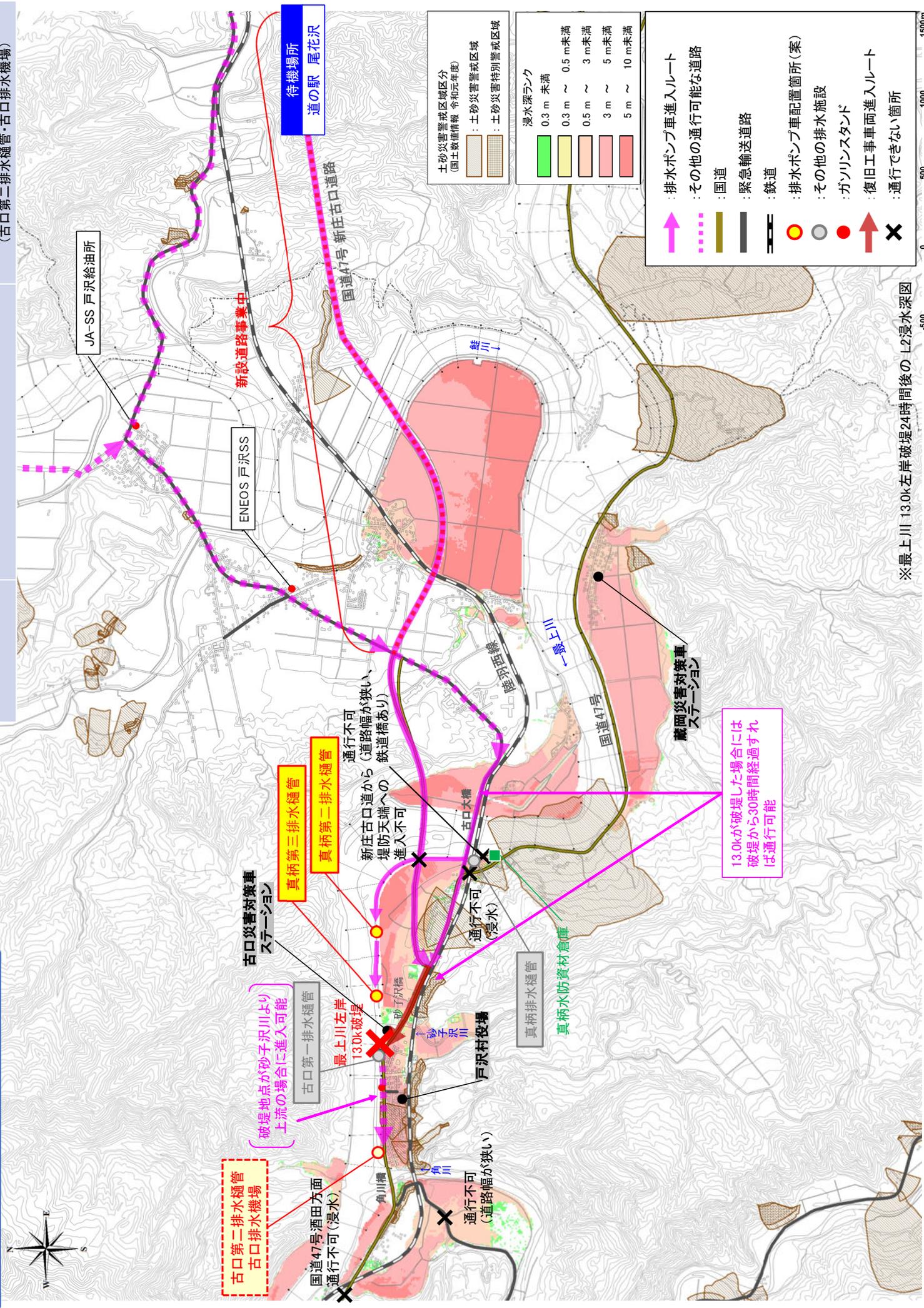


ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区(MOL-17)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



※L2浸想定 最上川左岸13.0k破堤 最大浸水深を表示



ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区 (MOL-17)

② 進入ルート図 (2/2)



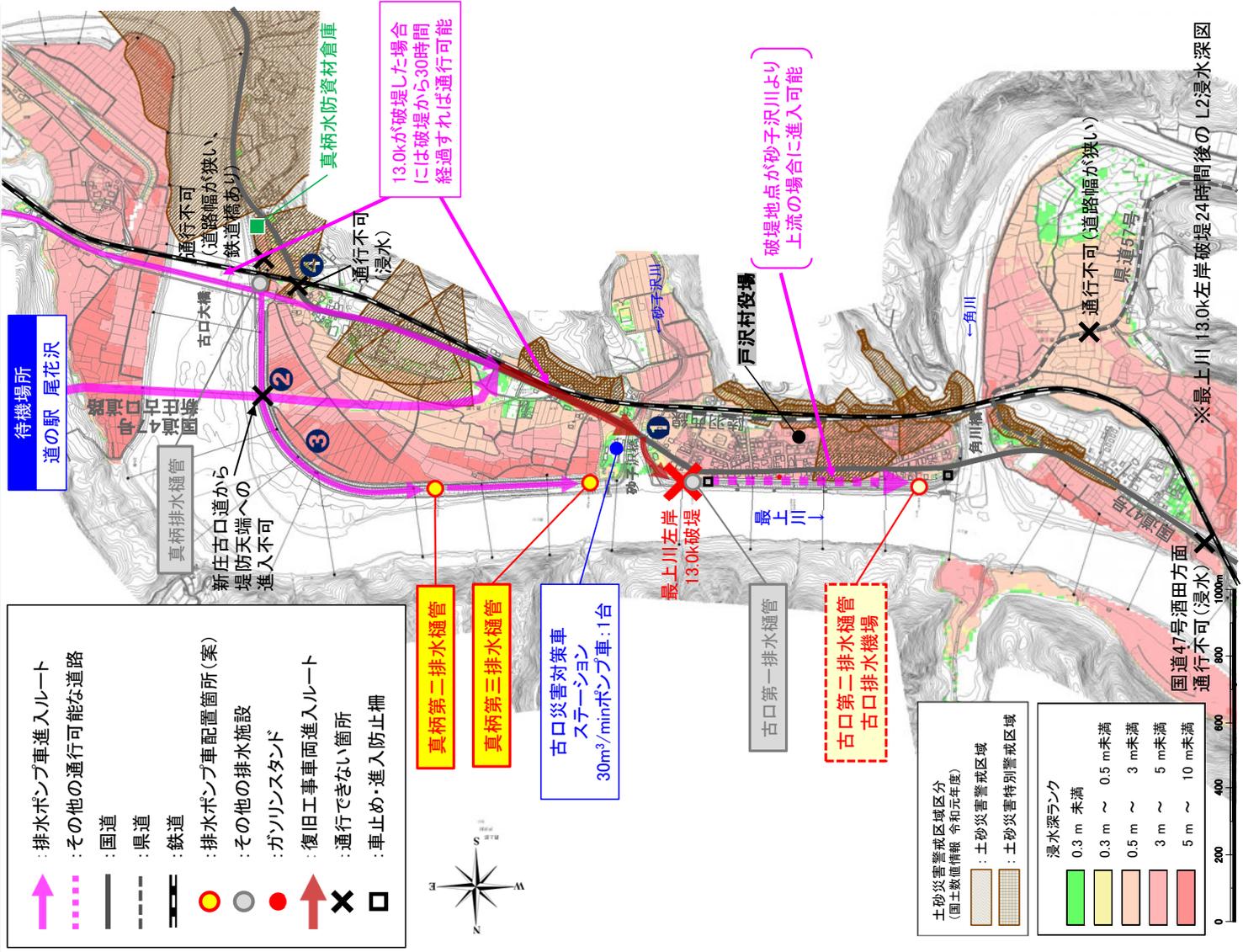
H29.11.01撮影 斜め写真



破堤地点 最上川左岸 13.0k

参考場所 道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所 真柄第二排水樋管、真柄第三排水樋管 (古口第二排水樋管・古口排水機場)



- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 県道
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所
- 車止め・進入防止柵

真柄第二排水樋管

真柄第三排水樋管

古口災害対策車ステーション 30m³/minポンプ車:1台

古口第一排水樋管

古口第二排水樋管 古口排水機場

13.0k破堤

最上川左岸

戸沢村役場

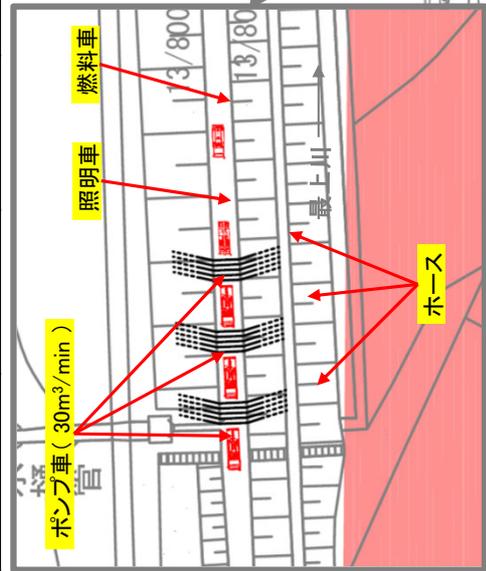
破堤地点が砂子沢川より上流の場合に進入可能

通行不可(道路幅が狭い)

国道47号酒田方面 通行不可(浸水)

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	ポンプ車
真柄第二排水樋管	約3.5m	真柄第二排水樋管 水路	最上川右岸13.8k付近	30m ³ /minポンプ車 × 配置可能
管理所管	TEL	門扉形式	動力	60m ³ /minポンプ車 × 配置不可
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	スライドゲート	動力及び 手動	
	担当出張所	鳥越 出張所	有	

TEL	0233-22-0275
担当出張所	鳥越 出張所
門扉形式	スライドゲート
動力	動力及び手動
操作規則等	有



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満
5 m ~	

氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 30 台
(1パーティ3台 × 10パーティ = 30台)

：1パーティ目安
※L2浸想最大浸水深を表示

③ 排水ポンプ車等の配置図(2/3)

ブロック⑨
戸沢村 真柄、古口地区(MOL-17)

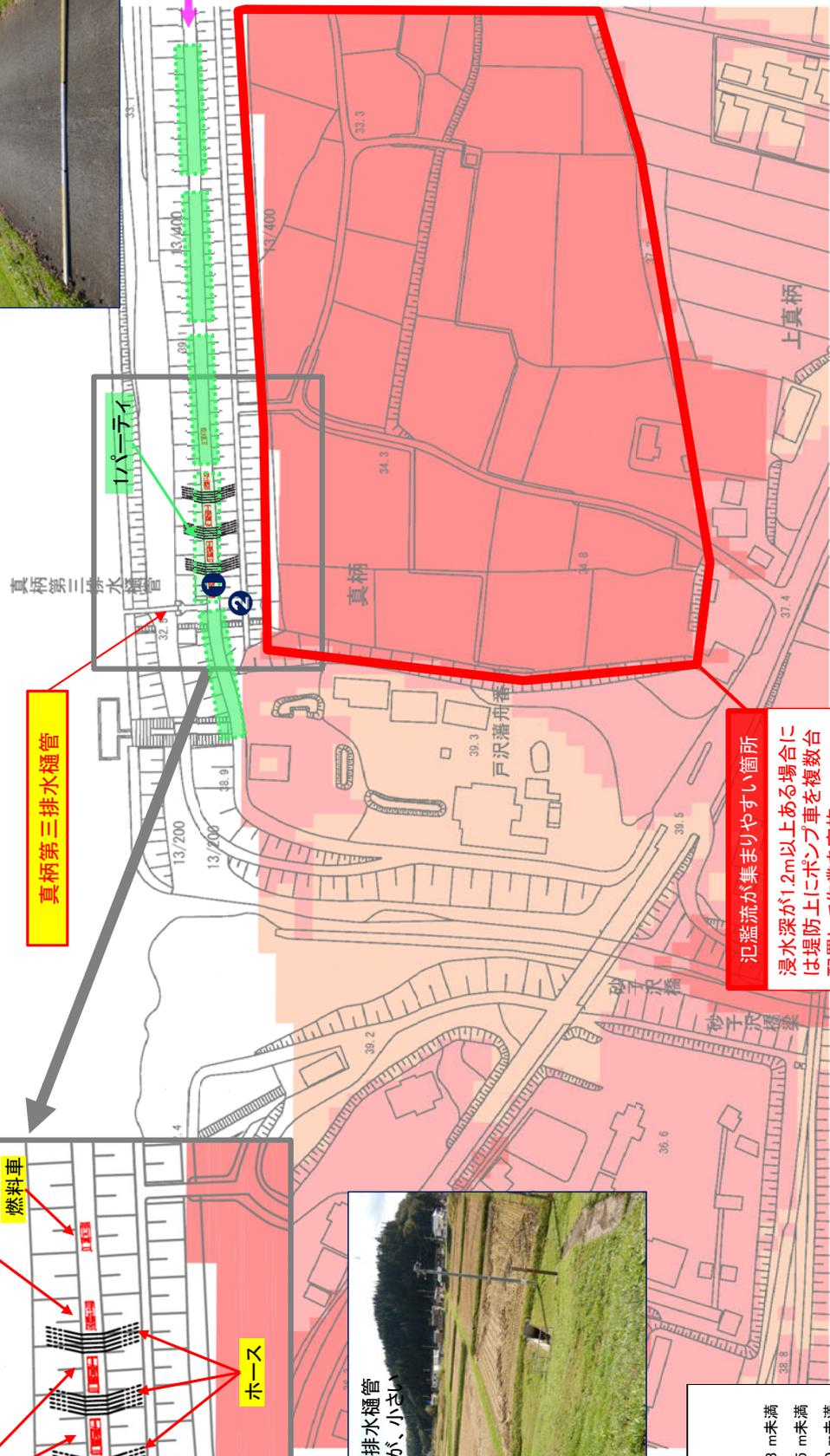
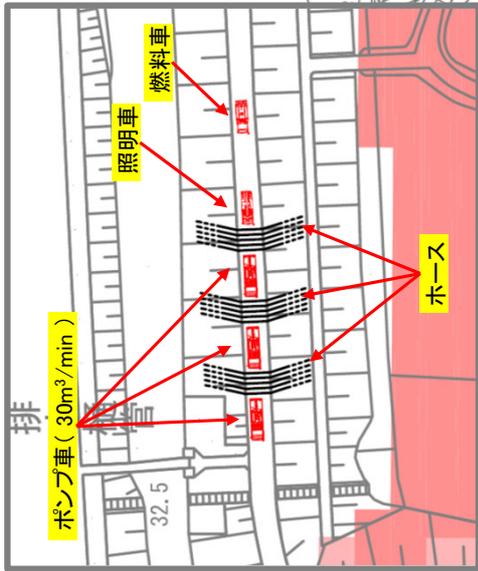
破堤地点
最上川左岸13.0k

参考場所
道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所
真柄第二排水樋管、真柄第三排水樋管
(古口第二排水樋管・古口排水機場)

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
真柄第三排水樋管	約3.5m	真柄第三排水樋管 水路	最上川左岸13.4k付近
30m ³ /minポンプ車			60m ³ /minポンプ車
○ 配置可能			× 配置不可

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	スライド ゲート	簡易動力 及び手動	有



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満	5 m 未満
3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
5 m ~ 10 m 未満	

氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合には
堤防上にポンプ車を複数台
配置して作業を実施

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 15 台
(1パーティ3台 × 5パーティ = 15台)

①:1パーティ目安
※L2浸想最大浸水深を表示

③ 排水ポンプ車等の配置図(3/3)

ブロック⑨
戸沢村 真柄、古口地区(MOL-17)

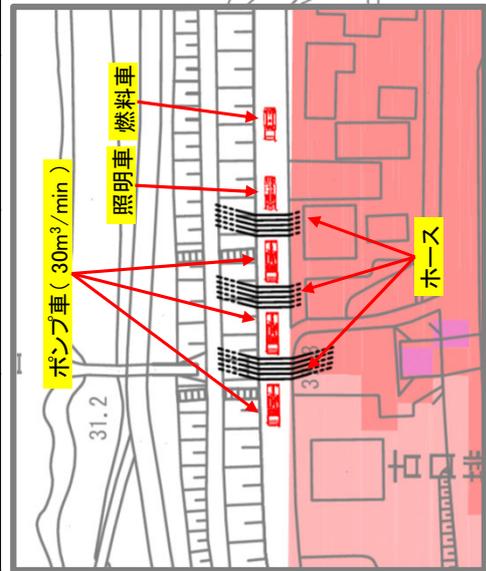
破堤地点
最上川左岸13.0k

排水ポンプ車配置箇所
真柄第二排水樋管・真柄第三排水樋管
(古口第二排水樋管・古口排水機場)

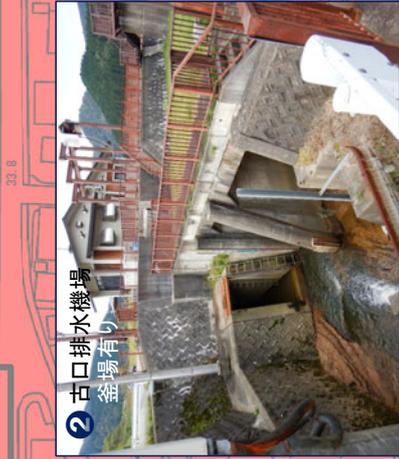
参考場所
道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	ポンプ車
古口第二排水樋管・古口排水機場	約4m	古口第二排水樋管・古口排水機場 水路	最上川左岸12.4k付近	30m ³ /minポンプ車 ○ 配置可能
管理所管	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	鳥越 出張所	ローラー ゲート	電動及 び手動	有
TEL	0233-22-0275			

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	ローラー ゲート	電動及 び手動	有



氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合
には堤防上にポンプ車を複
数配置して作業を実施

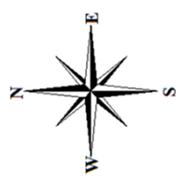


浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満

①:1パーティ目安

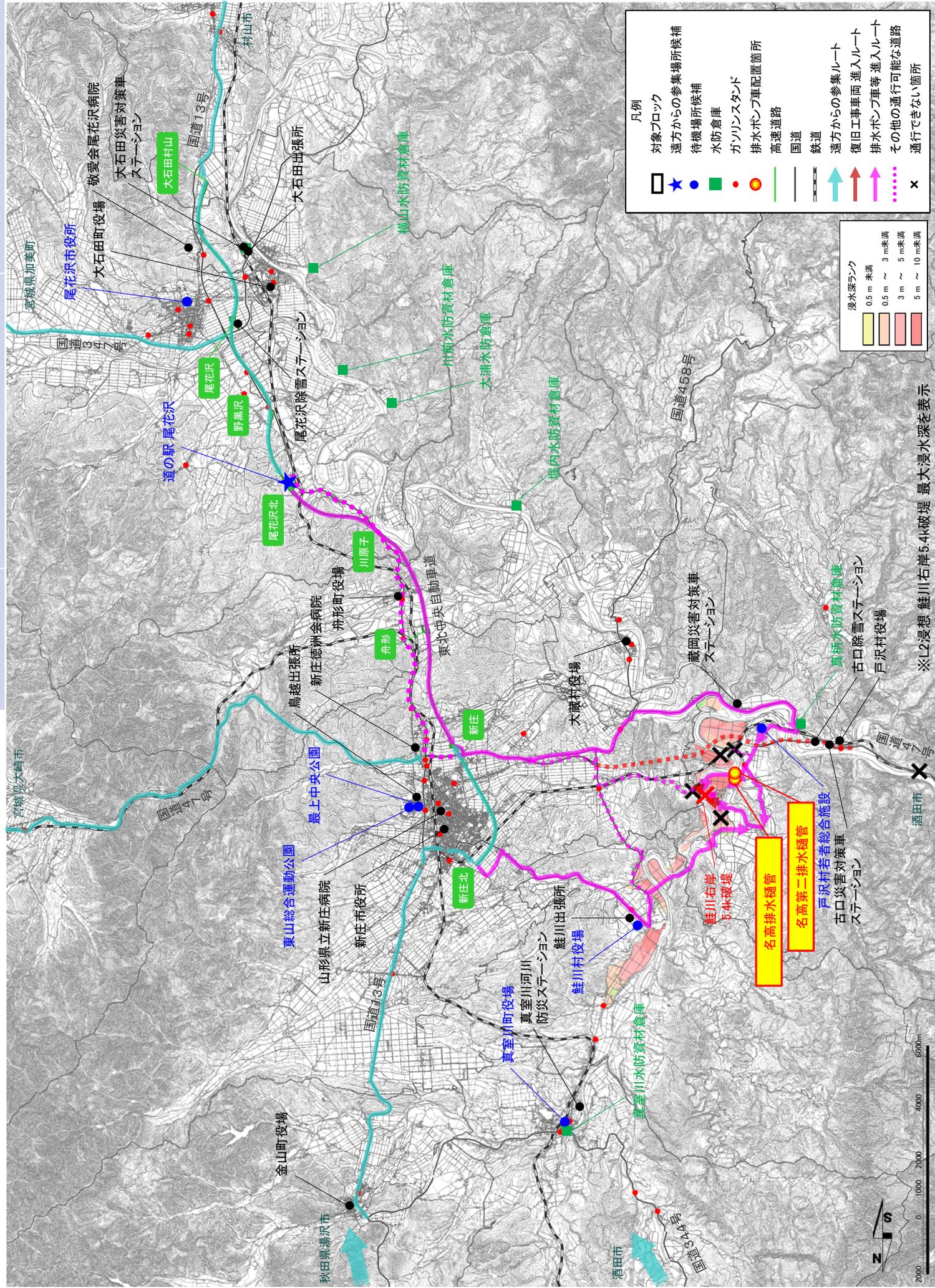
※L2浸想最大浸水深を表示

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約9台
(1パーティ3台 × 3パーティ = 9台)



ブロック⑩ 戸沢村 名高地区(SR-7)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



鯉川 5.4k右岸破堤

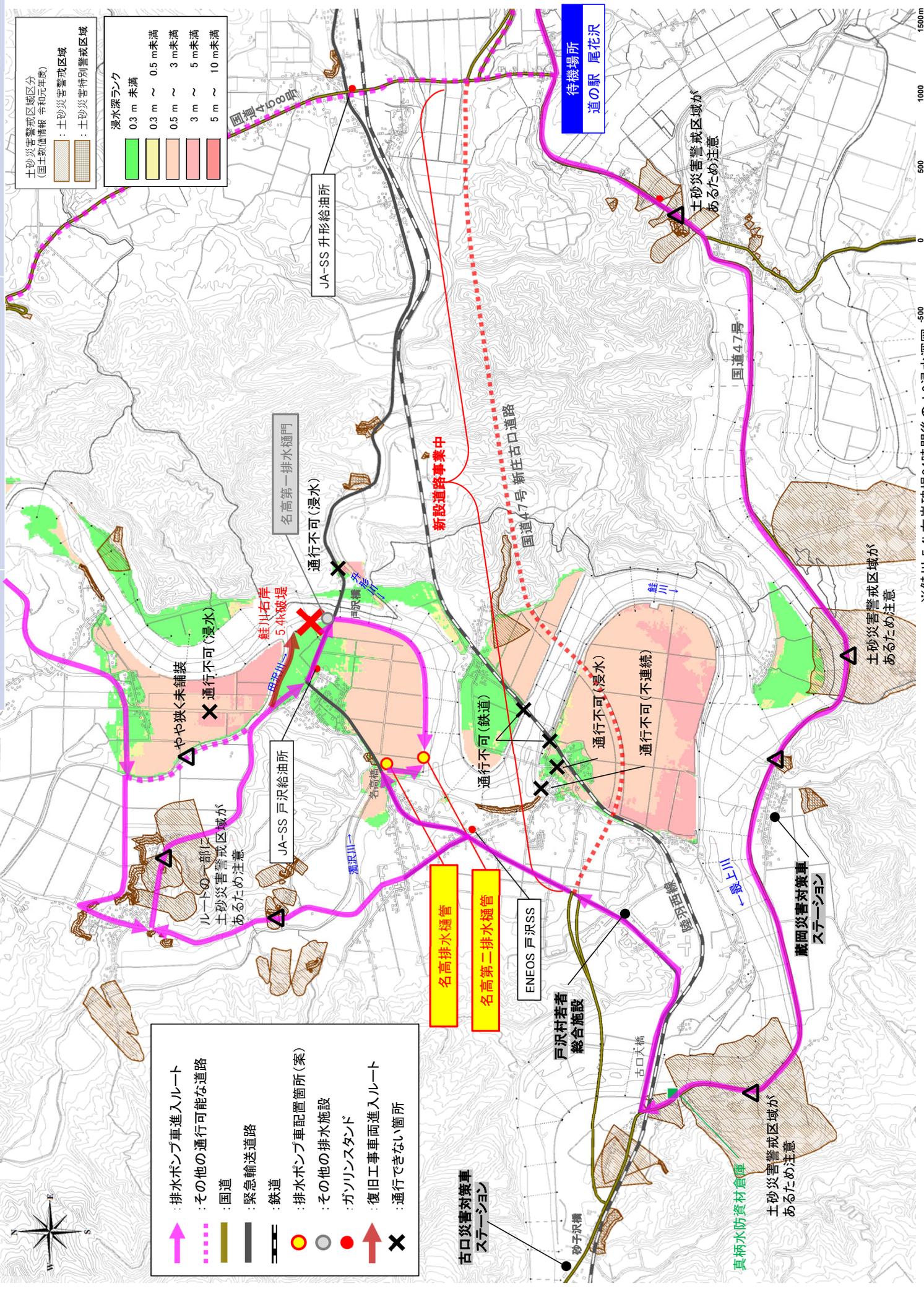
道の駅 尾花沢

名高第二排水樋管、名高排水樋管



- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

- 土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年版)
- : 土砂災害警戒区域
 - : 土砂災害特別警戒区域
- 浸水深ランク
- 0.3 m 未満
 - 0.3 m ~ 0.5 m 未満
 - 0.5 m ~ 3 m 未満
 - 3 m ~ 5 m 未満
 - 5 m ~ 10 m 未満

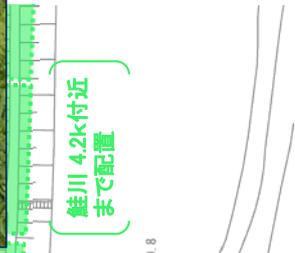
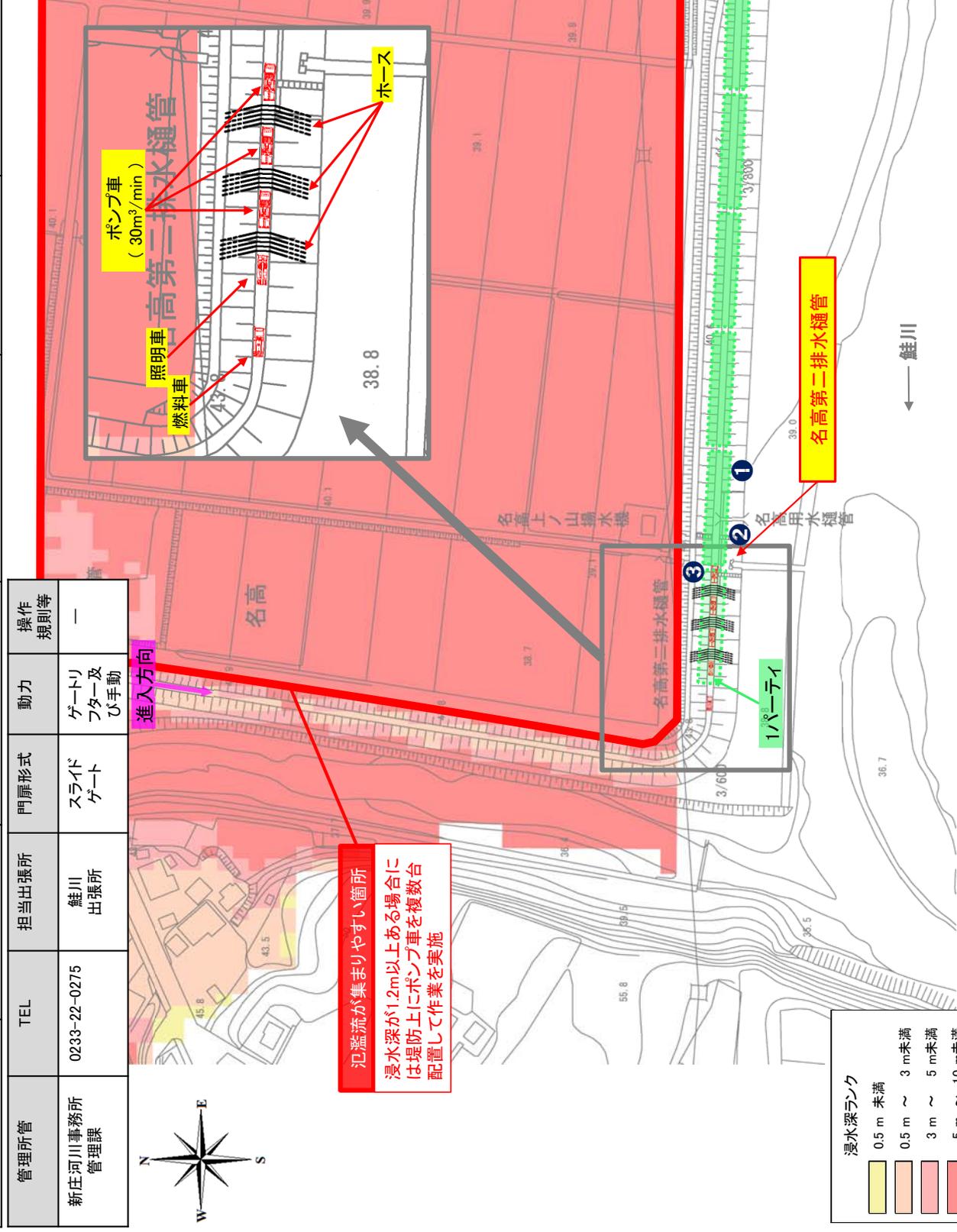


※鯉川 5.4k右岸破堤24時間後の L2浸水深図

土砂災害警戒区域があるため注意

土砂災害警戒区域があるため注意

排水ポンプ車配置箇所 名高第二排水樋管	天端幅 約3m (側帯付近 約7m)	排水元 名高第二排水樋管 水路	排水先 銚川右岸3.6k~4.2k付近	30m ³ /minポンプ車	60m ³ /minポンプ車
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 銚川 出張所	動力 ゲートリ フター及 び手動	○ 配置可能	○ 配置可能(側帯にて)
		門扉形式 スライド ゲート	操作 規則等 —		



浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 39 台
(1パーティ3台 × 13パーティ = 39台)

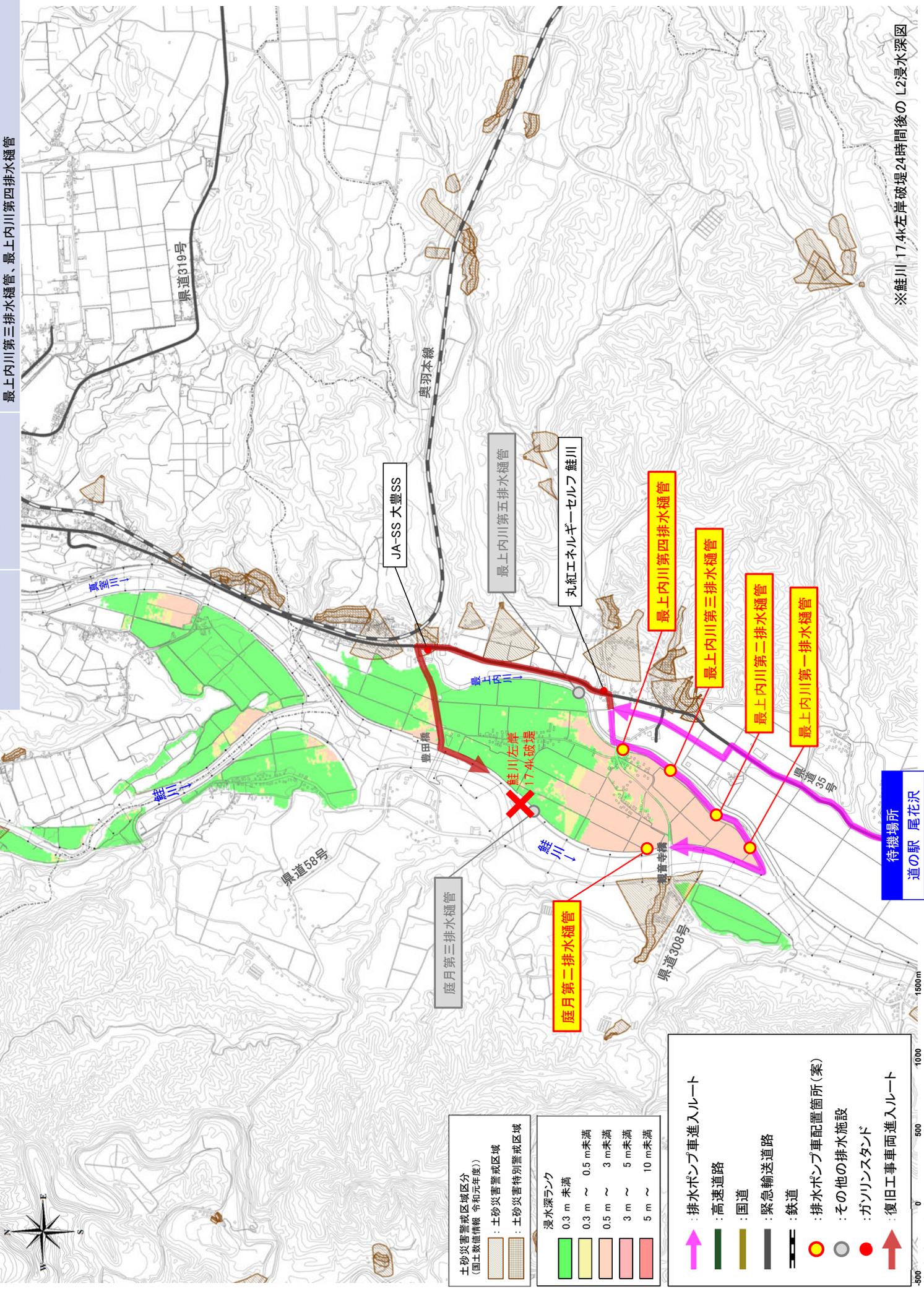
ブロック⑪ 鮭川村 庭月地区(SL-1)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

鮭川左岸 17.4k

道の駅 尾花沢

庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、
最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管



土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満
	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満
	5 m ~ 10 m 未満	

- 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート

※鮭川 17.4k左岸破堤24時間後のL2浸水深図

待機場所
道の駅 尾花沢



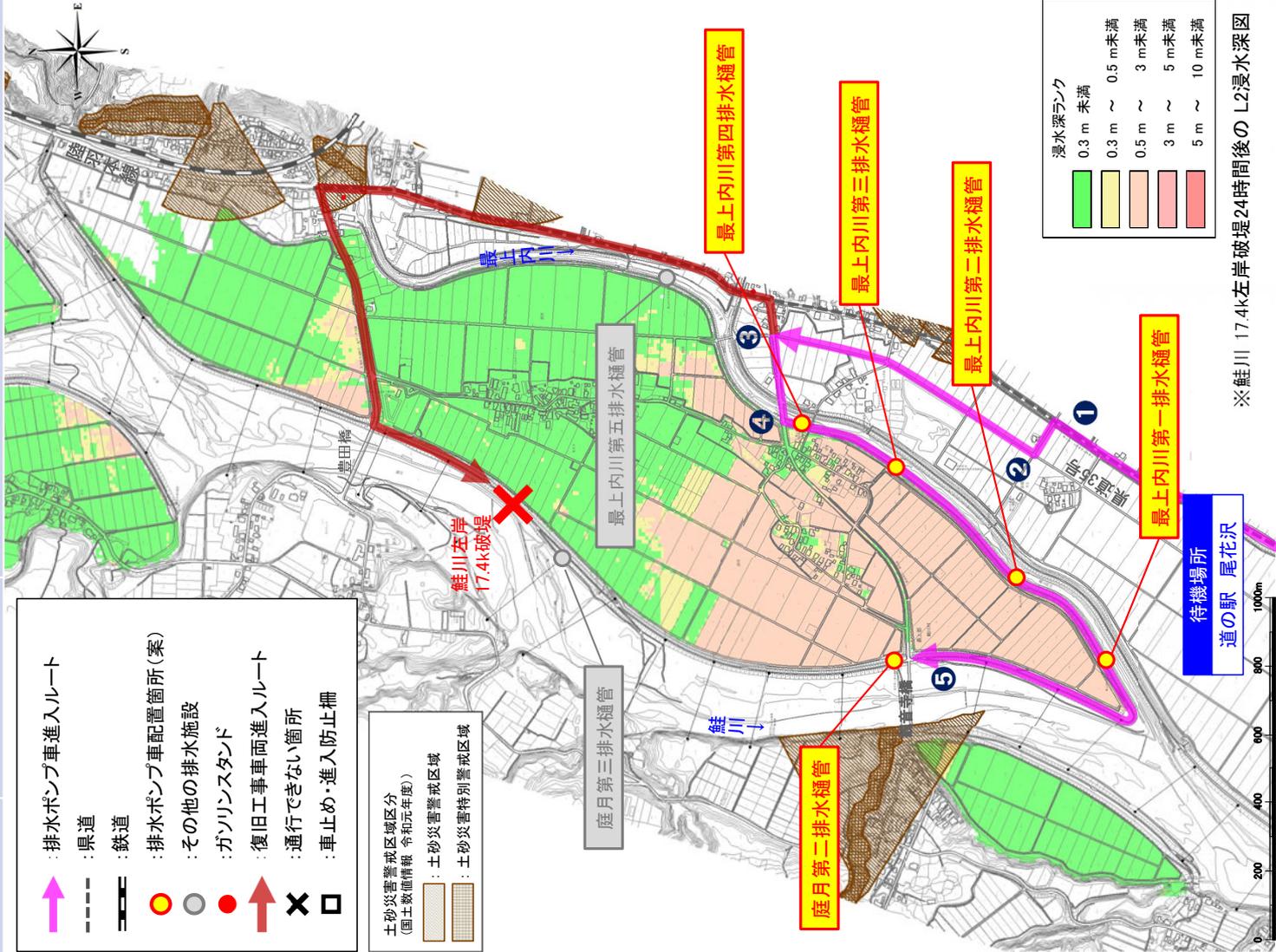
鮭川左岸 17.4k

道の駅 尾花沢

庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

- : 排水ポンプ車進入ルート
- : 県道
- : 鉄道
- : 排水ポンプ車配置箇所(案)
- : その他の排水施設
- : ガソリンスタンド
- : 復旧工事車両進入ルート
- : 通行できない箇所
- : 車止め・進入防止柵

- : 土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)
- : 土砂災害警戒区域
- : 土砂災害特別警戒区域

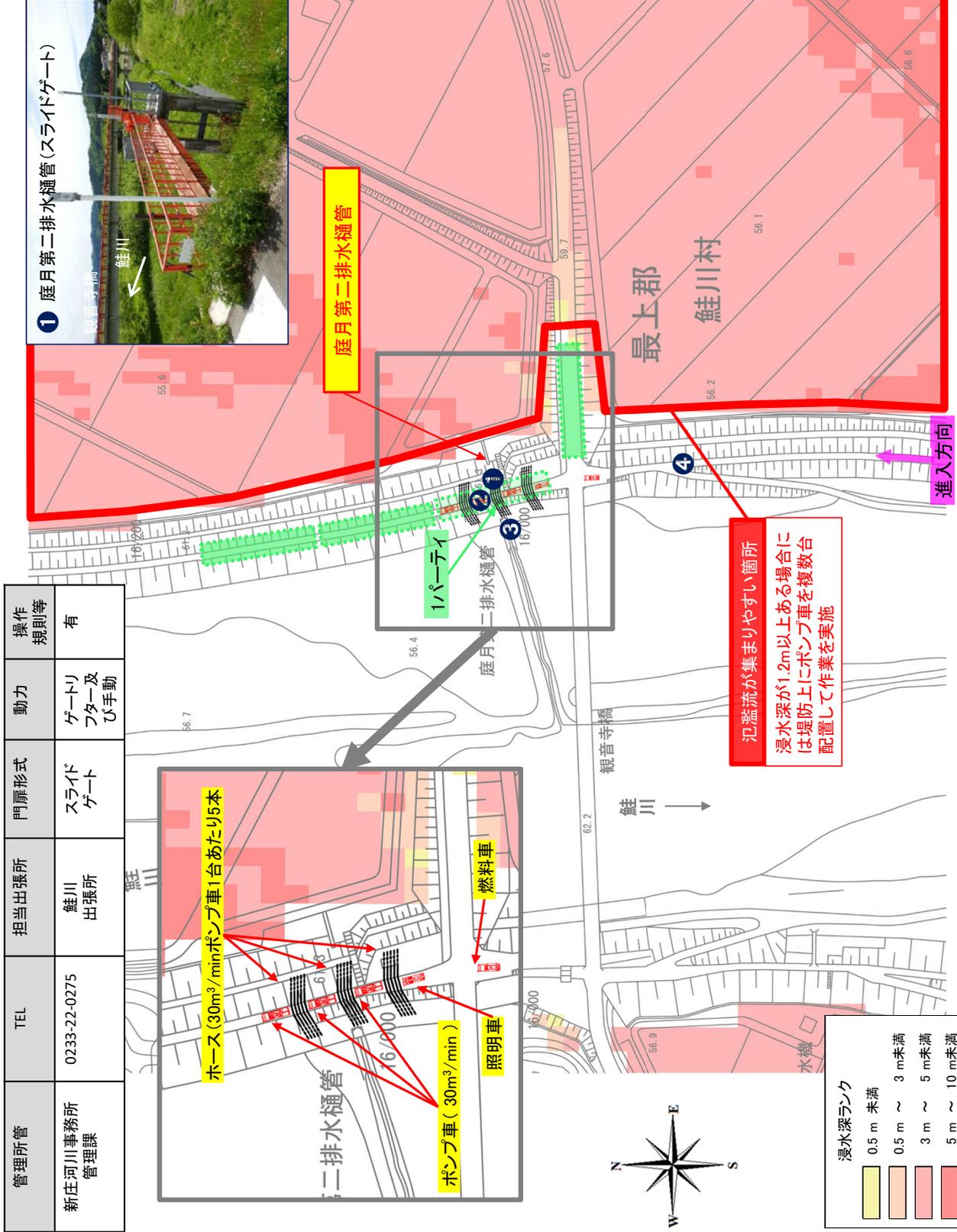


浸水深ランク	色
0.3 m 未満	緑
0.3 m ~ 0.5 m 未満	黄
0.5 m ~ 3 m 未満	橙
3 m ~ 5 m 未満	赤
5 m ~ 10 m 未満	暗赤

※鮭川 17.4k左岸破堤24時間後の L2:浸水深図

庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所 庭月第二排水樋管	天端幅 約3m	排水元 庭月第二排水樋管 水路	排水先 鮭川左岸16.0k付近	30m ³ /minポンプ車 60m ³ /minポンプ車
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 鮭川 出張所	門扉形式 スライド ゲート	× 配置不可
		動力 ゲートリ フター及 び手動	操作 規則等 有	



30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 12 台
(1パーティ 3台 × 4パーティ = 12台)

※L2浸想最大浸水深を表示

確認地点	参考場所
鯉川左岸17.4k	道の駅尾花沢
	庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	ポンプ車
最上内川第一排水樋管	約3m	最上内川第一排水樋管 水路	最上内川右岸0.2k付近	30m ³ /minポンプ車 60m ³ /minポンプ車

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
-	-	-	-	-	-



30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数 : 約 12 台
(1パーティ 3台 × 4パーティ = 12台)

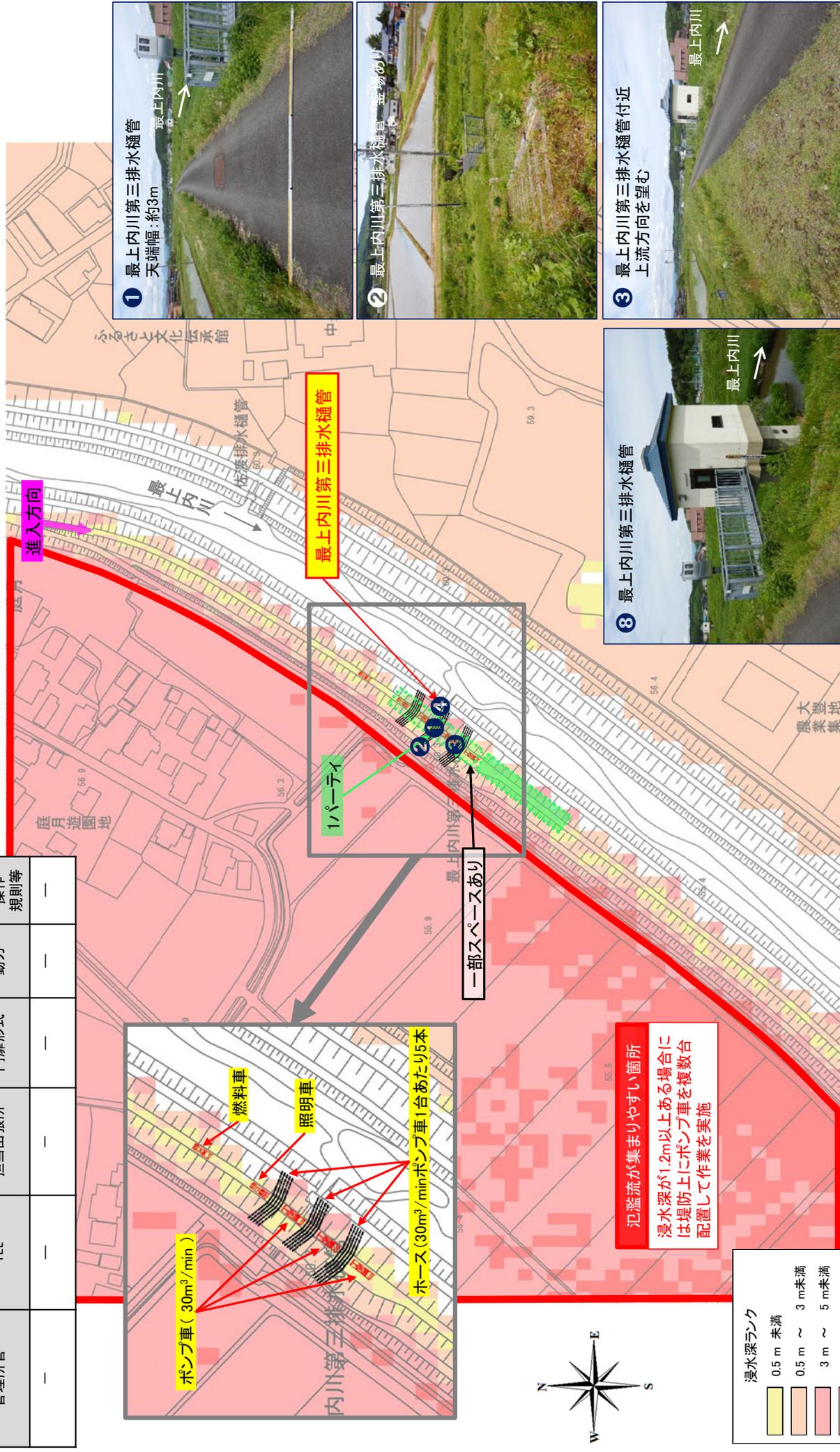
庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、
最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

道の駅尾花沢

鮭川左岸17.4k

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	ポンプ車
最上内川第三排水樋管	約3m	最上内川第三排水樋管 水路	最上内川右岸1.0k付近	30m ³ /minポンプ車
管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力
-	-	-	-	-
				操作規則等
				○ 配置可能 × 配置不可

TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
-	-	-	-	-



ポンプ車 (30m³/min)

燃料車

照明車

ホース (30m³/minポンプ車1台あたり15本)

氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

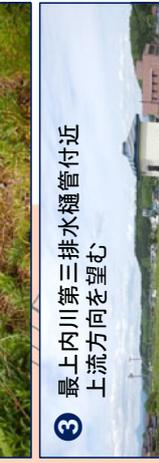
浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約6台
(1パーティ3台 × 2パーティ = 6台)



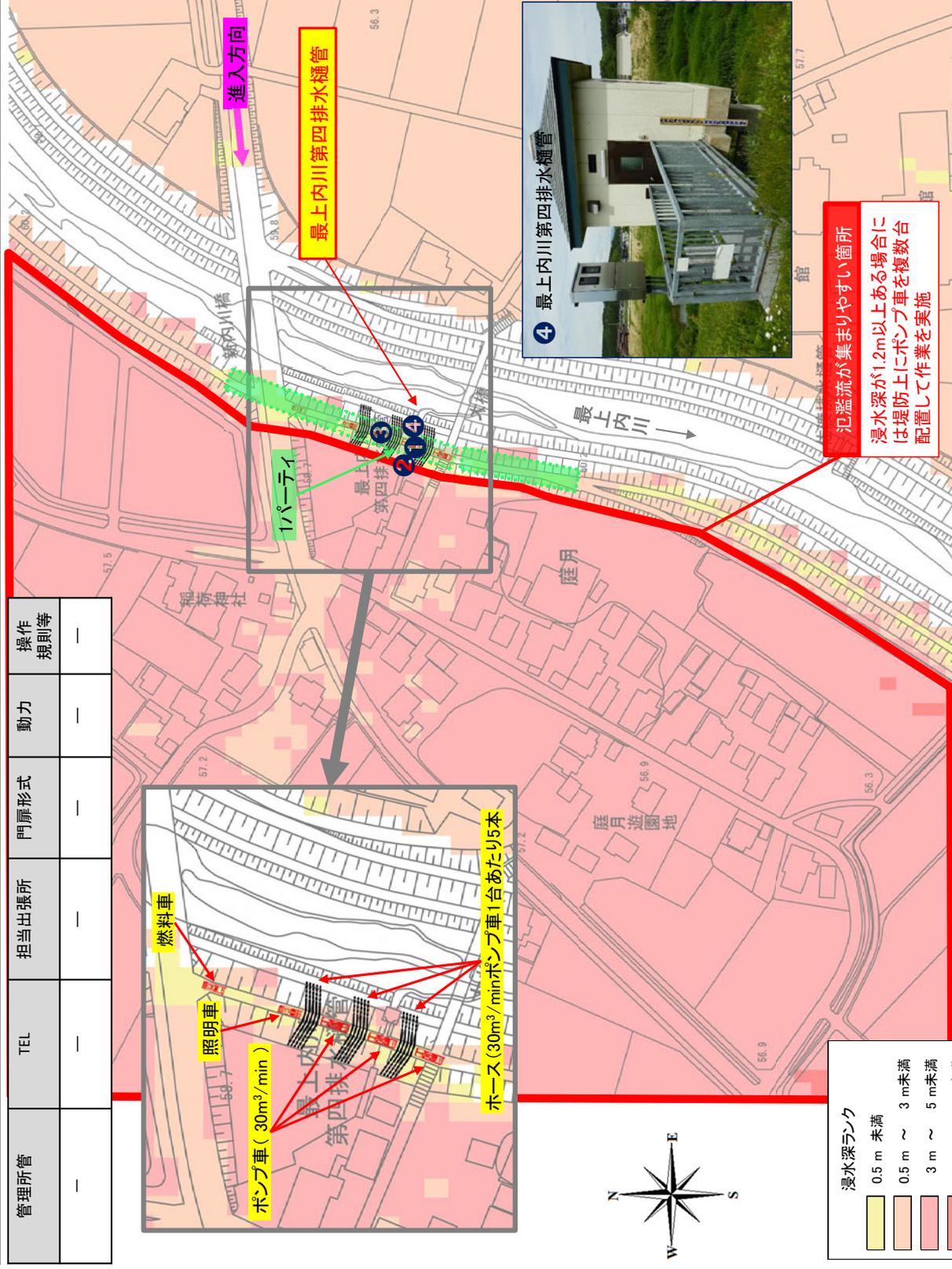
確認地点
鮭川左岸17.4k

参考場所
道の駅尾花沢

庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m ³ /minポンプ車	60m ³ /minポンプ車
最上内川第四排水樋管	約3m	最上内川第四排水樋管 水路	最上内川右岸1.3k付近	○ 配置可能	× 配置不可

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
-	-	-	-	-	-



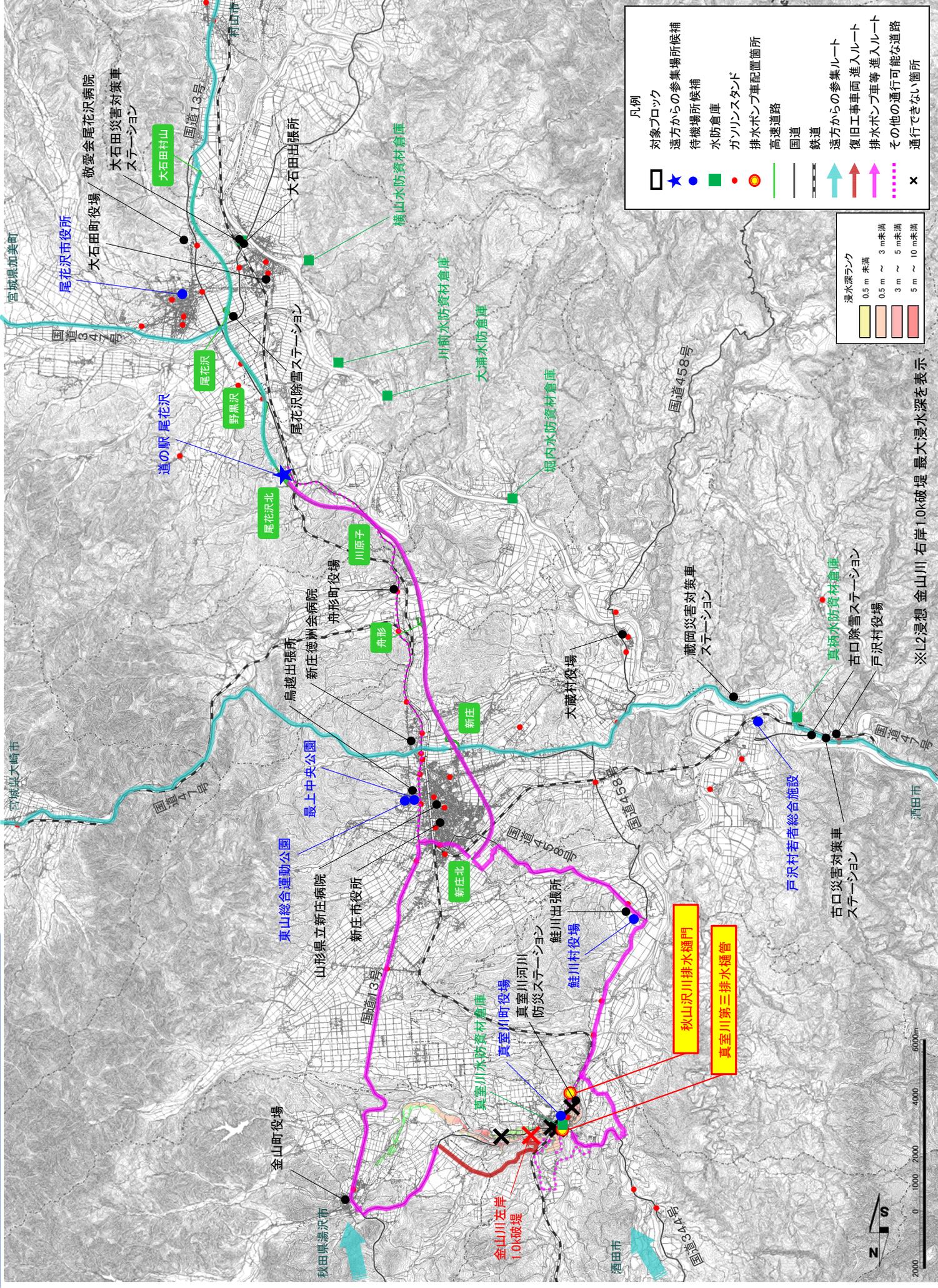
氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施



30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 9 台
(1パーティ3台 × 3パーティ = 9台)

ブロック⑫ 真室川町 庭月、真室川、新田平岡地区(KL-MAL-1)

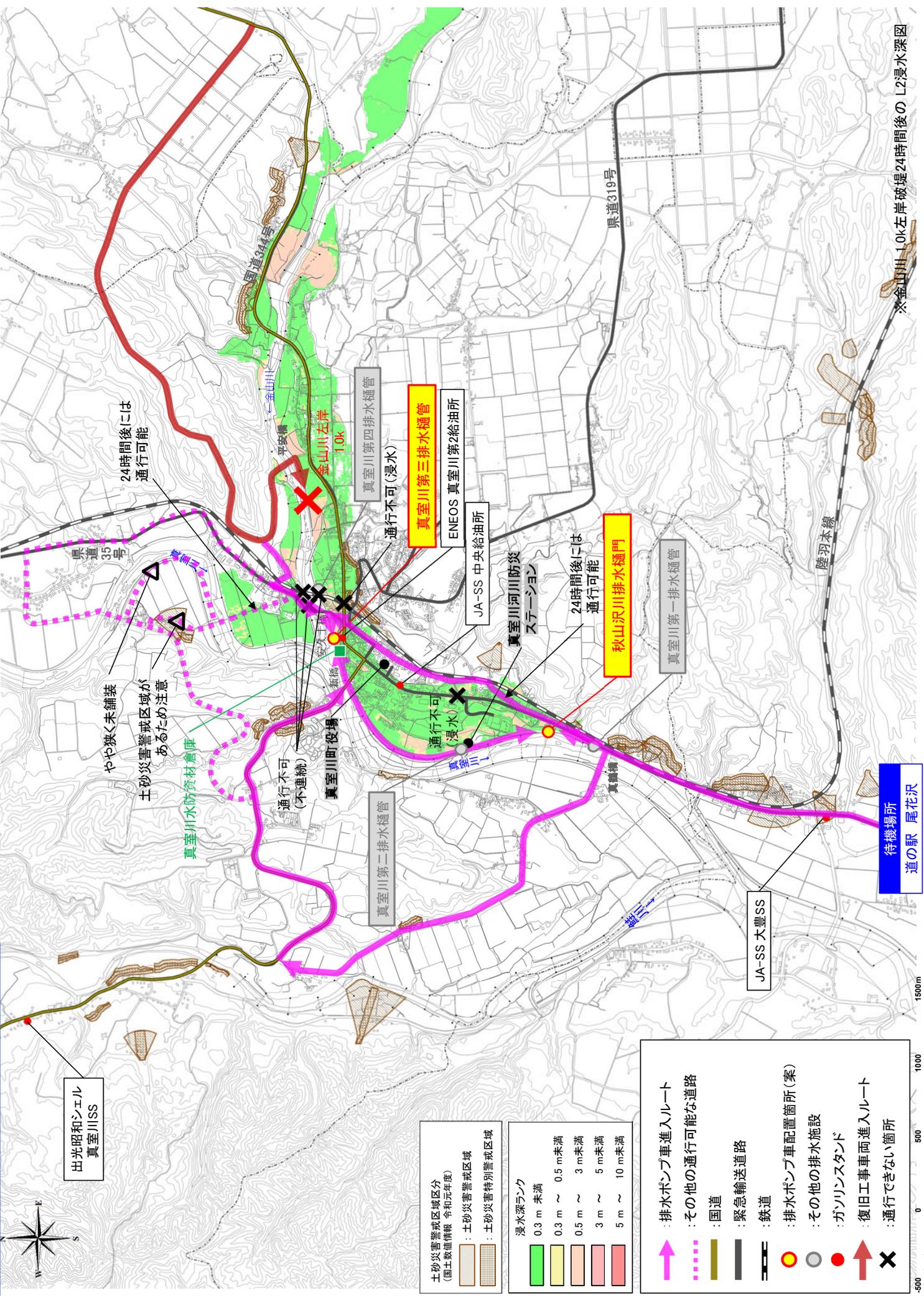
- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



- 凡例
- 対象ブロック
 - 遠方からの参集場所候補
 - 待機場所候補
 - 水防倉庫
 - ガソリンスタンド
 - 排水ポンプ車配置箇所
 - 高速道路
 - 国道
 - 鉄道
 - 遠方からの参集ルート
 - 復旧工事車両進入ルート
 - 排水ポンプ車等進入ルート
 - その他の通行可能な道路
 - 通行できない箇所



※L2浸想定 金山川 右岸1.0k破堤 最大浸水深を表示



出光昭和シェル
真室川SS

やや狭く未舗装
土砂災害警戒区域が
あるため注意
真室川水防資材倉庫

真室川第二排水樋管

真室川町役場
通行不可 (不連続)

真室川第四排水樋管

通行不可 (浸水)

ENEOS 真室川第2給油所

JA-SS 中央給油所

真室川河川防災
ステーション

24時間後には
通行可能

秋山沢川排水樋門

真室川第一排水樋管

JA-SS 大豊SS

待機場所
道の駅 尾花沢

※金山川1.0k左岸破堤24時間後のL2浸水深図

土砂災害警戒区域区分
(国土数値情報 令和5年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

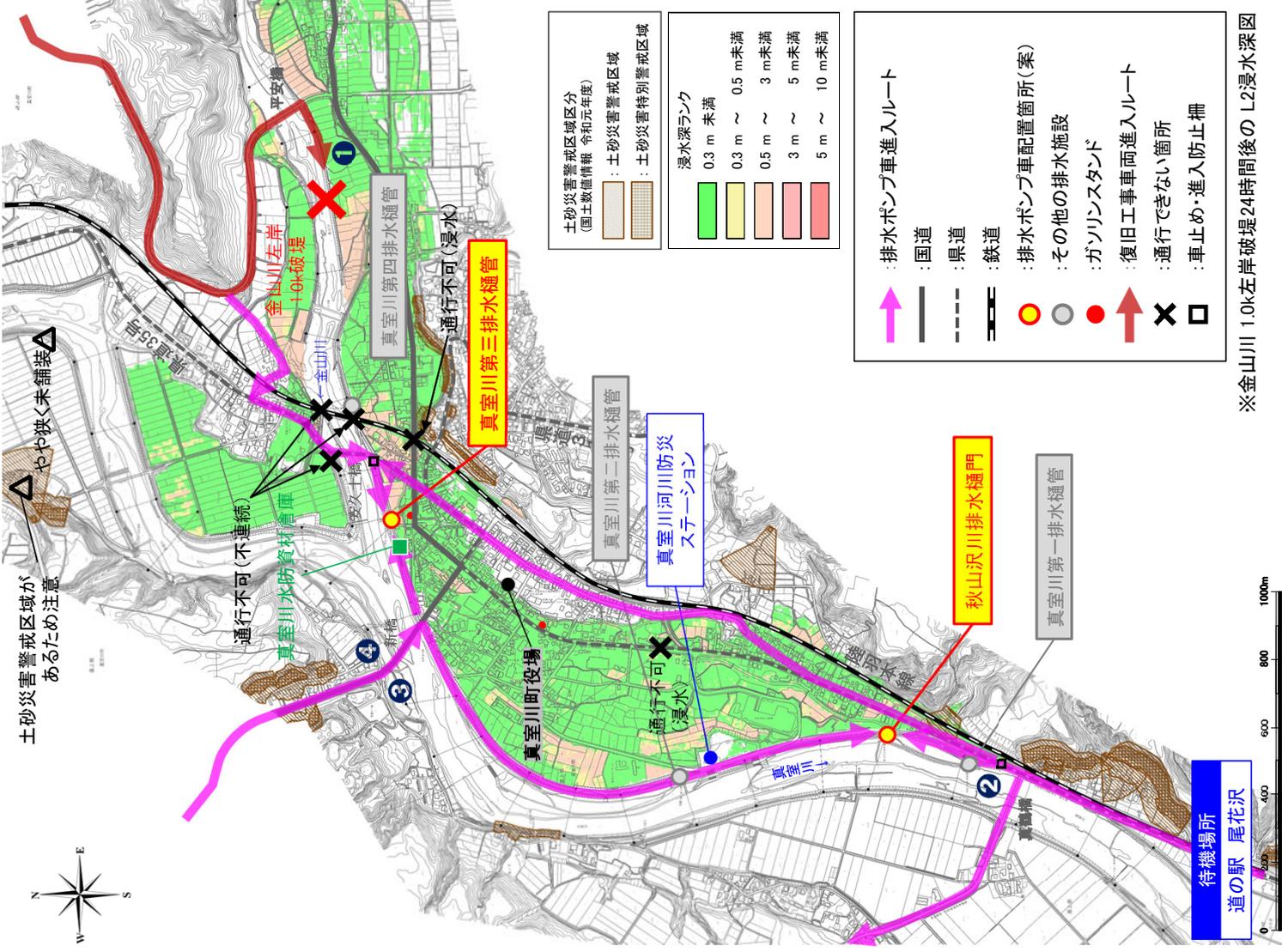
浸水深ランク

0.3 m 未満
0.3 m ~ 0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

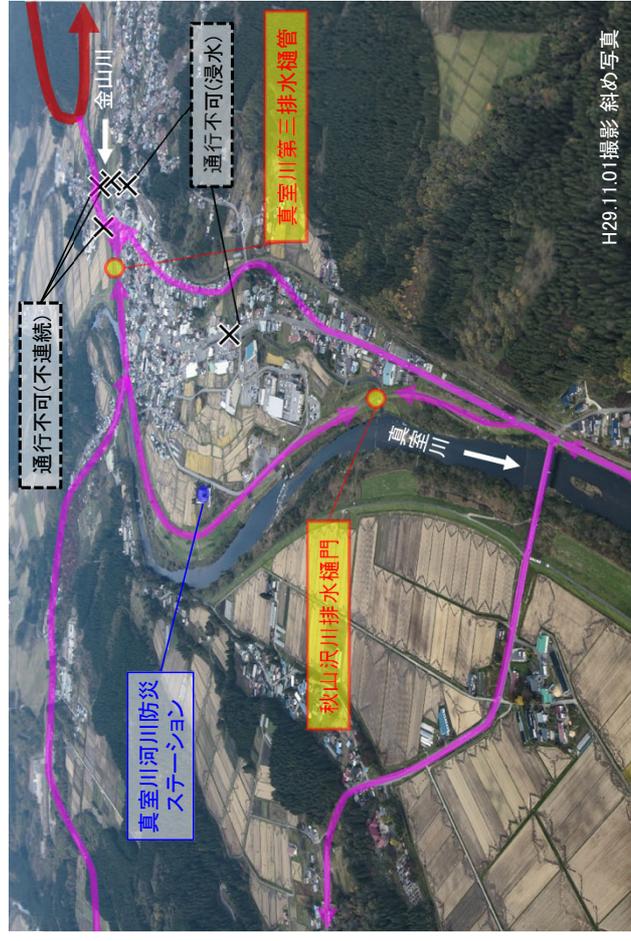
排水ポンプ車進入ルート

- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所 (案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所



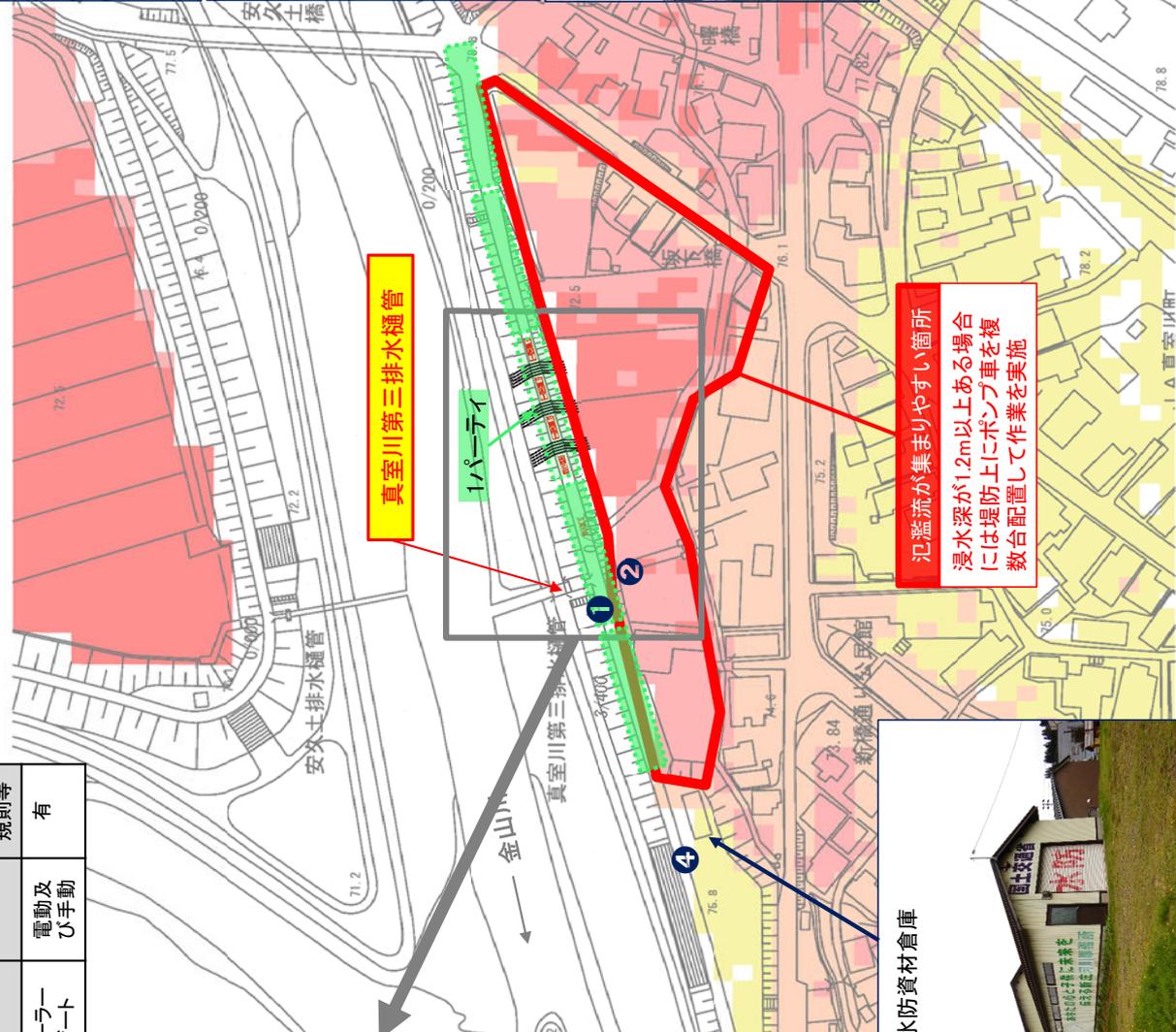
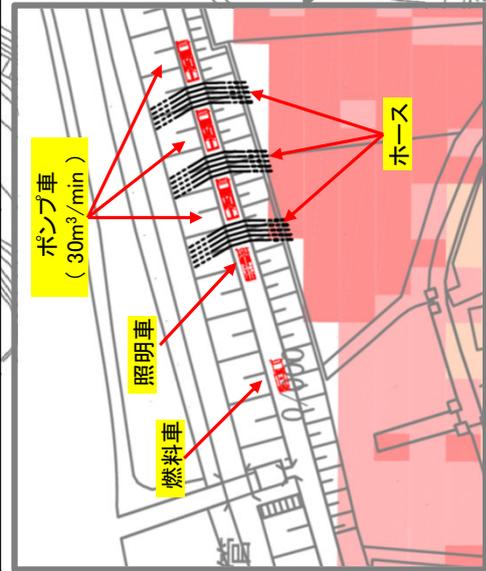


※金山川 1.0k左岸破堤24時間後の L2浸水深図

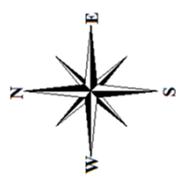


排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m ³ /minポンプ車	60m ³ /minポンプ車
真室川第三排水樋管	約3.5m	真室川第三排水樋管 水路	金山川左岸0.0k付近	○ 配置可能	x 配置不可

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鯉川 出張所	ローラー ゲート	電動及 び手動	有



氾濫流が集まりやすい箇所
浸水深が1.2m以上ある場合
には堤防上にポンプ車を複
数台配置して作業を実施



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	5 m ~ 10 m 未満

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 15 台
(1パーティ3台 × 5パーティ = 15台)



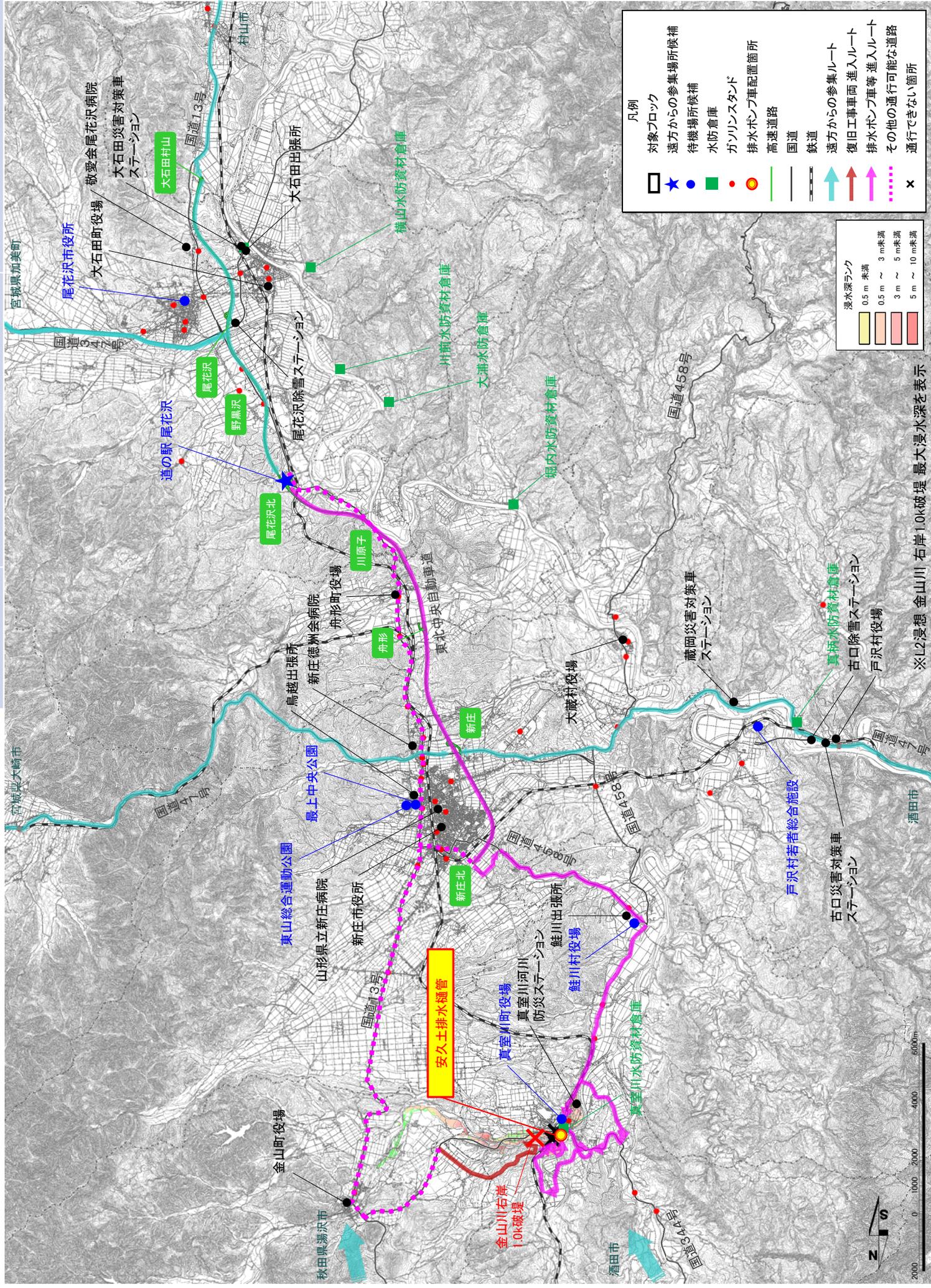
ブロック⑬ 真室川町 安久土地区(KR-3)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

金山川 右岸1.0k

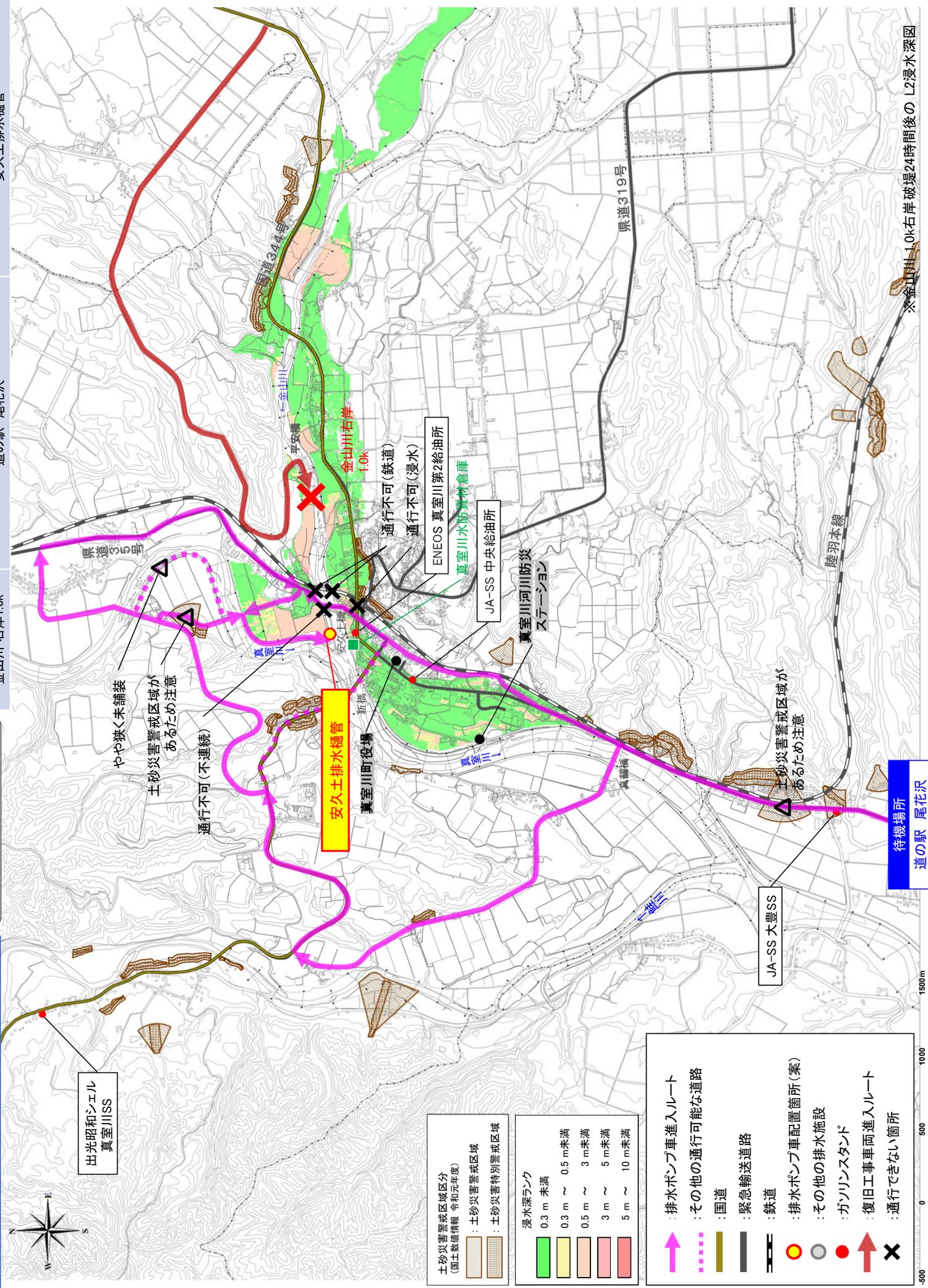
道の駅 尾花沢

安久土排水樋管



破堤地点
金山川 右岸1.0k

道の駅 尾花沢



土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和5年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満
	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満
	5 m ~ 10 m 未満	

- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

待機場所
道の駅 尾花沢

金山川1.0k右岸破堤24時間後のL2浸水深図





① 安久土橋(県道35号)幅員5m以上橋から右岸堤防へはアクセス不可



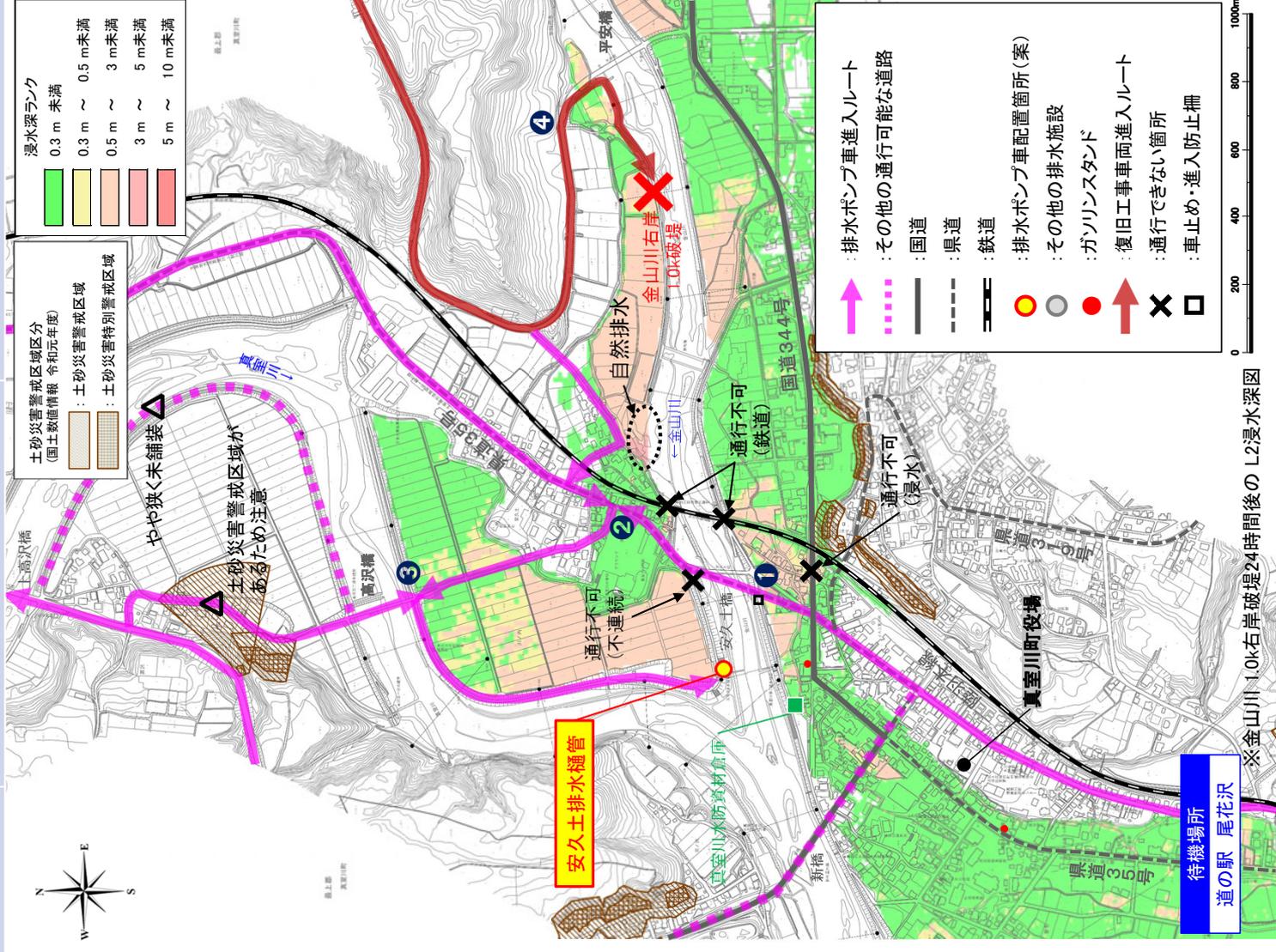
② 安久土排水樋管への進入路真室川小学校の丁字路を曲がる



③ 安久土排水樋管への進入路天端幅3m程度



④ 破堤箇所への進入路天端幅3m程度 堤防上は砂利道



待機場所
道の駅 尾花沢

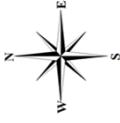
※金山川1.0k右岸破堤24時間後のL2浸水深図

- ↑ 排水ポンプ車進入ルート
- ⋯ 其他の通行可能な道路
- 国道
- - 県道
- ≡ 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- 其他の排水施設
- ガソリンスタンド
- ↑ 復旧工事車両進入ルート
- × 通行できない箇所
- 車止め・進入防止柵

- 浸水深ランク
- 0.3 m 未満
 - 0.3 m ~ 0.5 m未満
 - 0.5 m ~ 3 m未満
 - 3 m ~ 5 m未満
 - 5 m ~ 10 m未満

- 土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)
- 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域

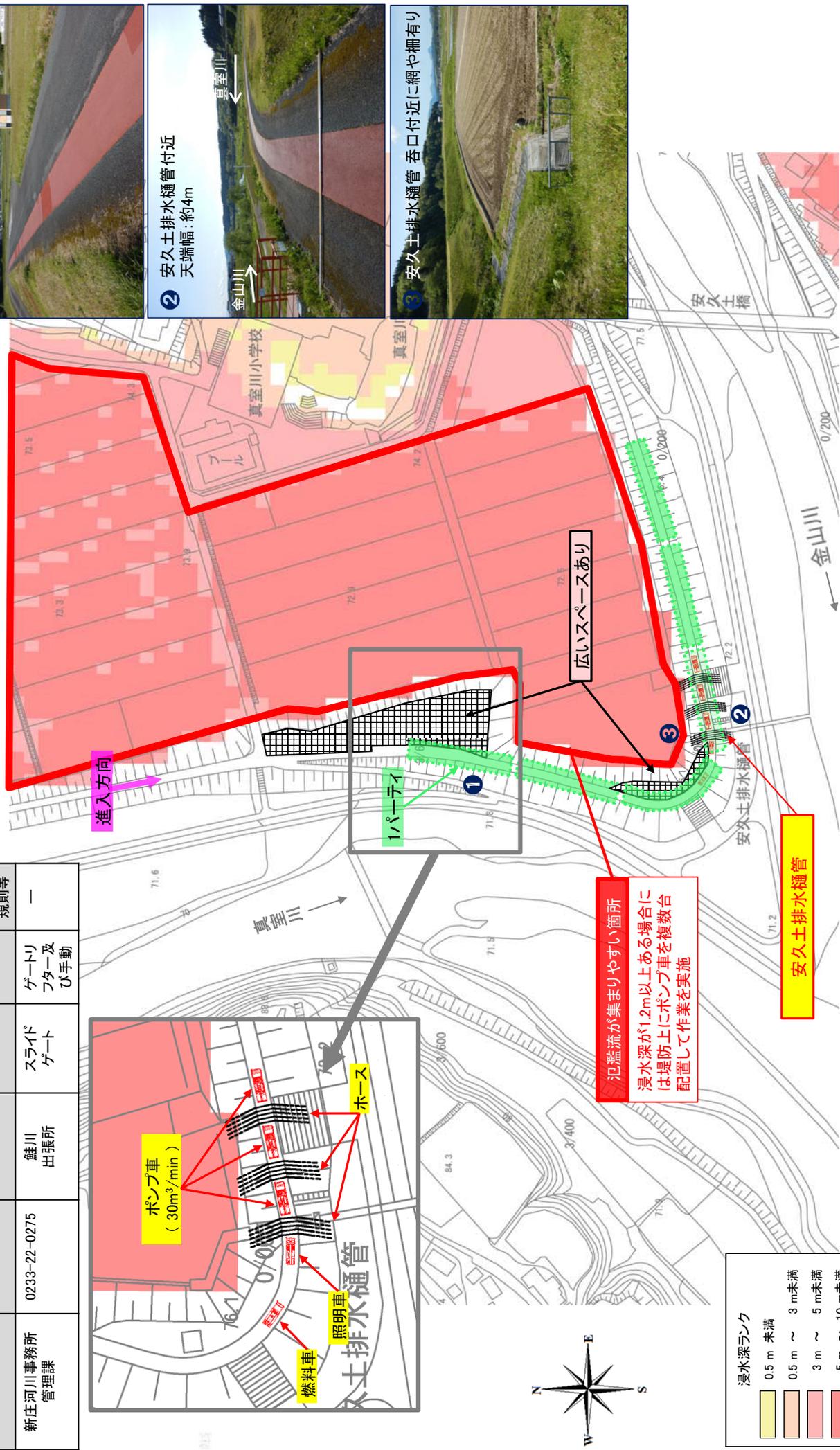
やや狭く未舗装
土砂災害警戒区域があるため注意



ブロック⑬ 真室川町 安久土地区 (KR-3) ③ 排水ポンプ車等の配置図 (1/1)

被災地点 金山川 右岸 1.0k
 参集場所 道の駅 尾花沢
 排水ポンプ車配置箇所 安久土排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	60m ³ /minポンプ車
安久土排水樋管	約4m	安久土排水樋管 水路	真室川左岸1.4k付近	30m ³ /minポンプ車
管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鯉川 出張所	スライド ゲート	ゲートリ フター及 び手動
			操作 規則等	—
			配置可能	○ 配置可能(側帯にて)



浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

■: 1パーティ目安
 ※L2浸想最大浸水深を表示

30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 18 台
 (1パーティ 3台 × 6パーティ = 18台)

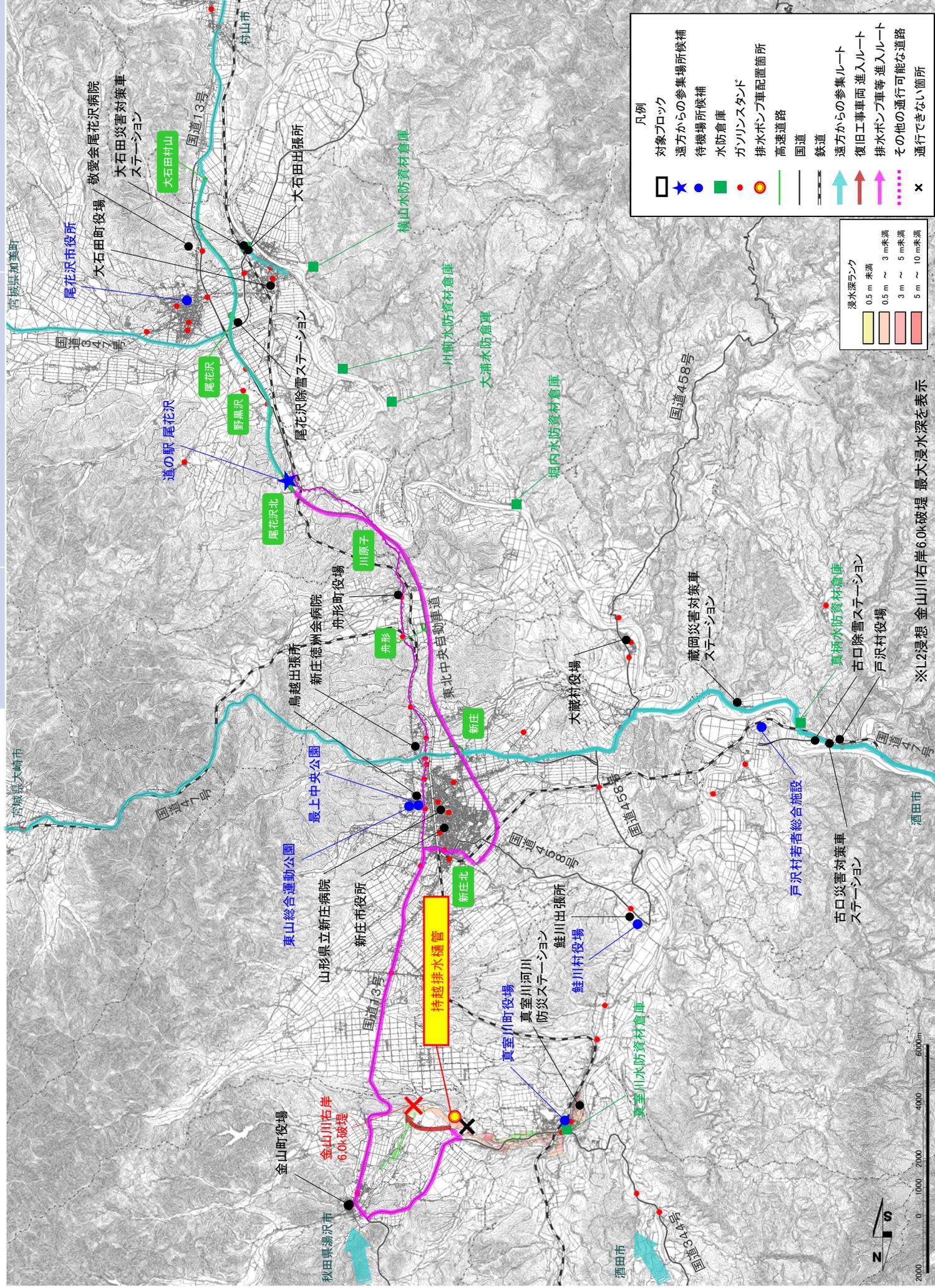
ブロック⑭ 金山町 凝山地区(KR-1)

- ① 全体図
(待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図
(排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

金山川右岸6.0k

道の駅 尾花沢

持越排水樋管



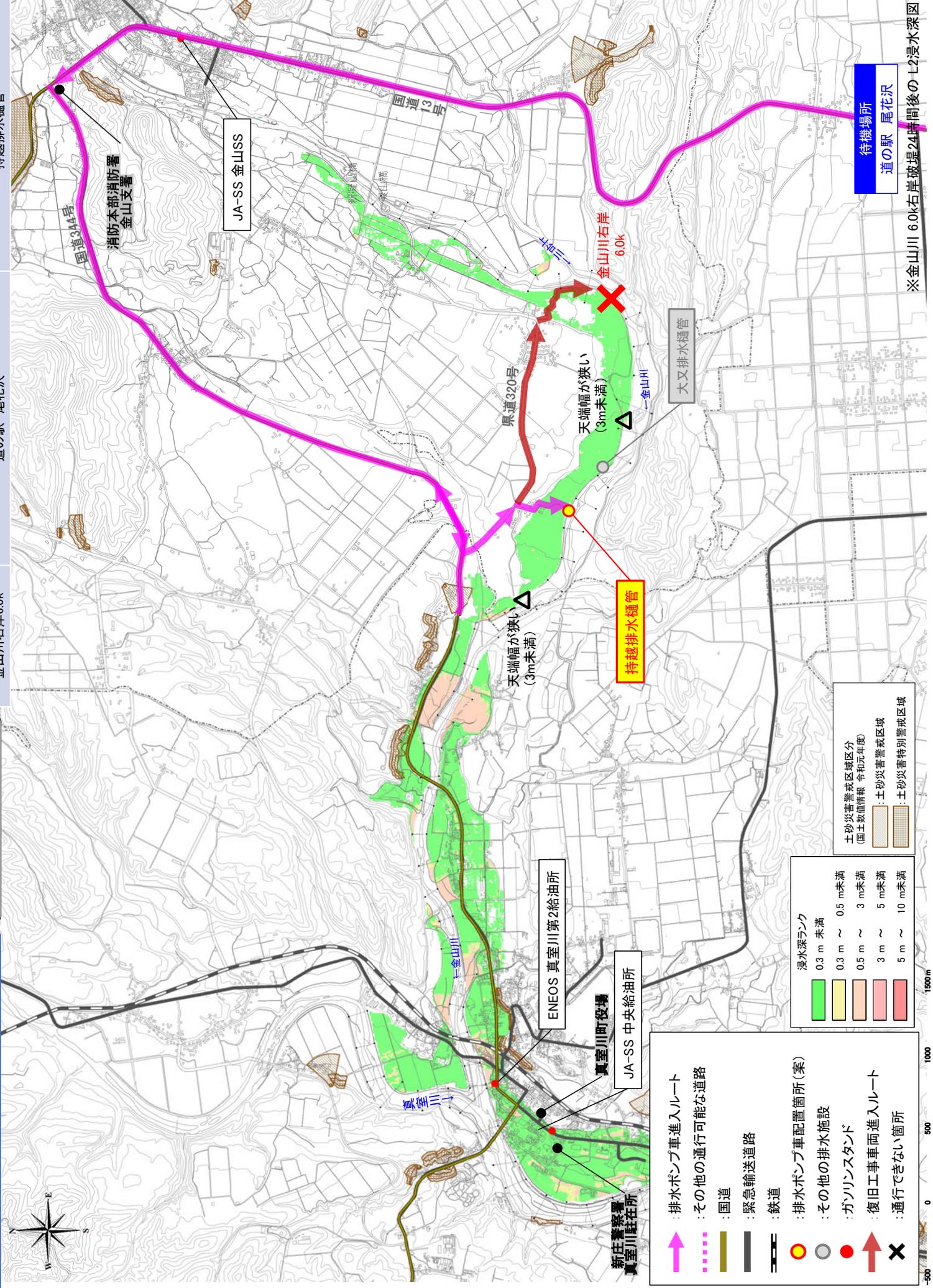
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所

浸水深ランク

- 0.5m 未満
- 0.5m ~ 3m未満
- 3m ~ 5m未満
- 5m ~ 10m未満

※L2浸想 金山川右岸6.0k破堤 最大浸水深を表示



	排水ポンプ車進入ルート
	その他の通行可能な道路
	国道
	緊急輸送道路
	鉄道
	排水ポンプ車配置箇所(案)
	その他の排水施設
	ガソリンスタンド
	復旧工事車両進入ルート
	通行できない箇所

浸水深ランク	浸水深
	0.3 m 未満
	0.3 m ~ 0.5 m 未満
	0.5 m ~ 3 m 未満
	3 m ~ 5 m 未満
	5 m ~ 10 m 未満

土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	色
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	

待機場所
道の駅 尾花沢

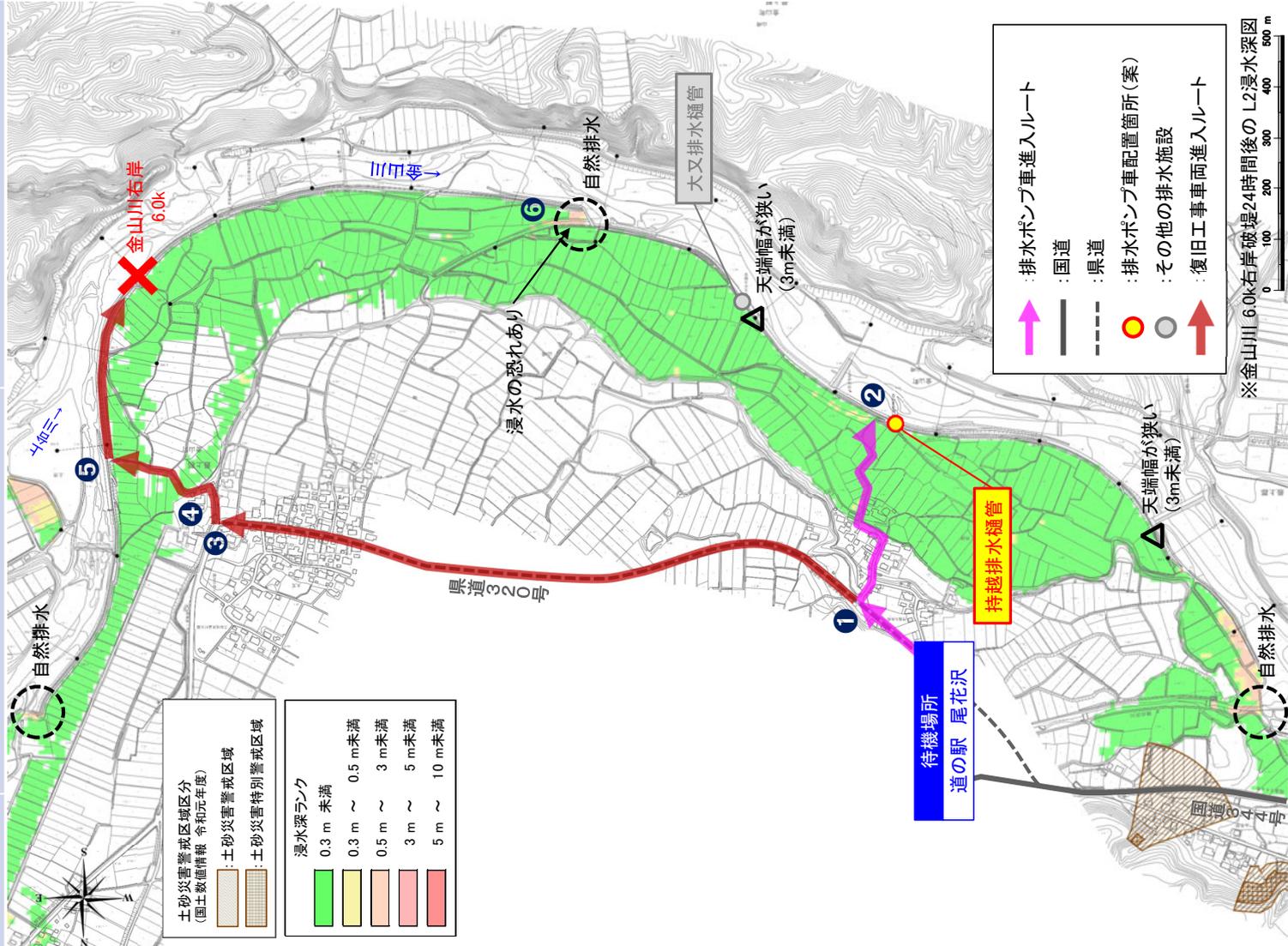
※金山川 6.0k右岸破堤24時間後のL2浸水深図



金山川右岸6.0k

道の駅 尾花沢

持越排水樋管



金山川右岸6.0k

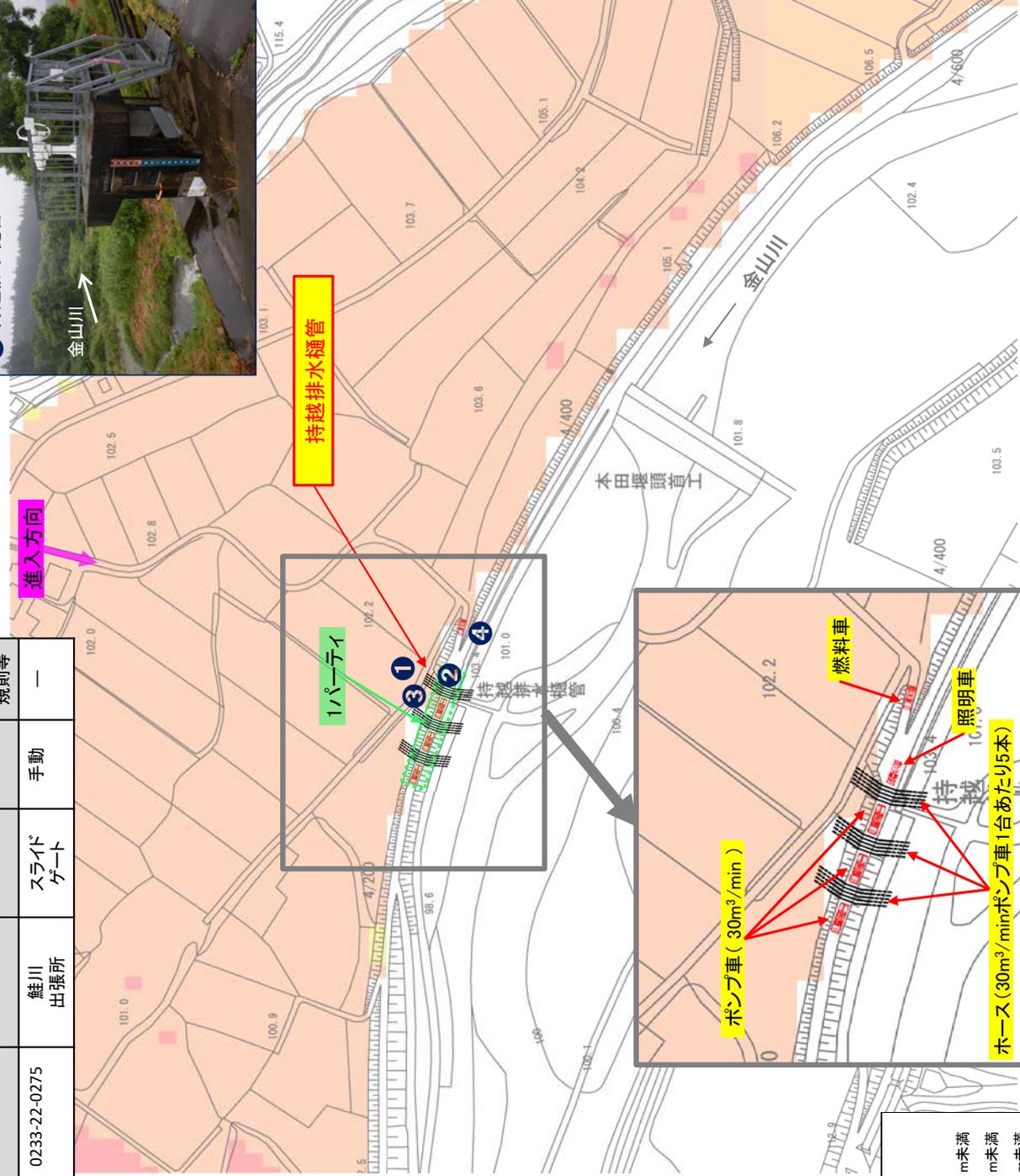
道の駅 尾花沢

持越排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
持越排水樋管	約3m	今宿第三排水樋管 水路	金山川右岸4.31k付近
管理所管	TEL	門扉形式	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	スライド ゲート	手動
		操作 規則等	—
		配置可能	× 配置不可



① 持越排水樋管



進入方向

持越排水樋管

1パーティ

ポンプ車 (30m³/min)

燃料車

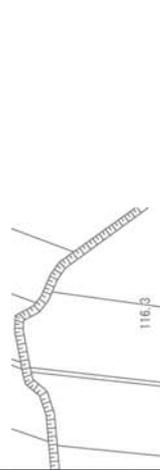
照明車

ホース(30m³/minポンプ車1台あたり5本)

浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

①:1パーティ目安



② 持越排水樋管 付近 舗装幅:約3m



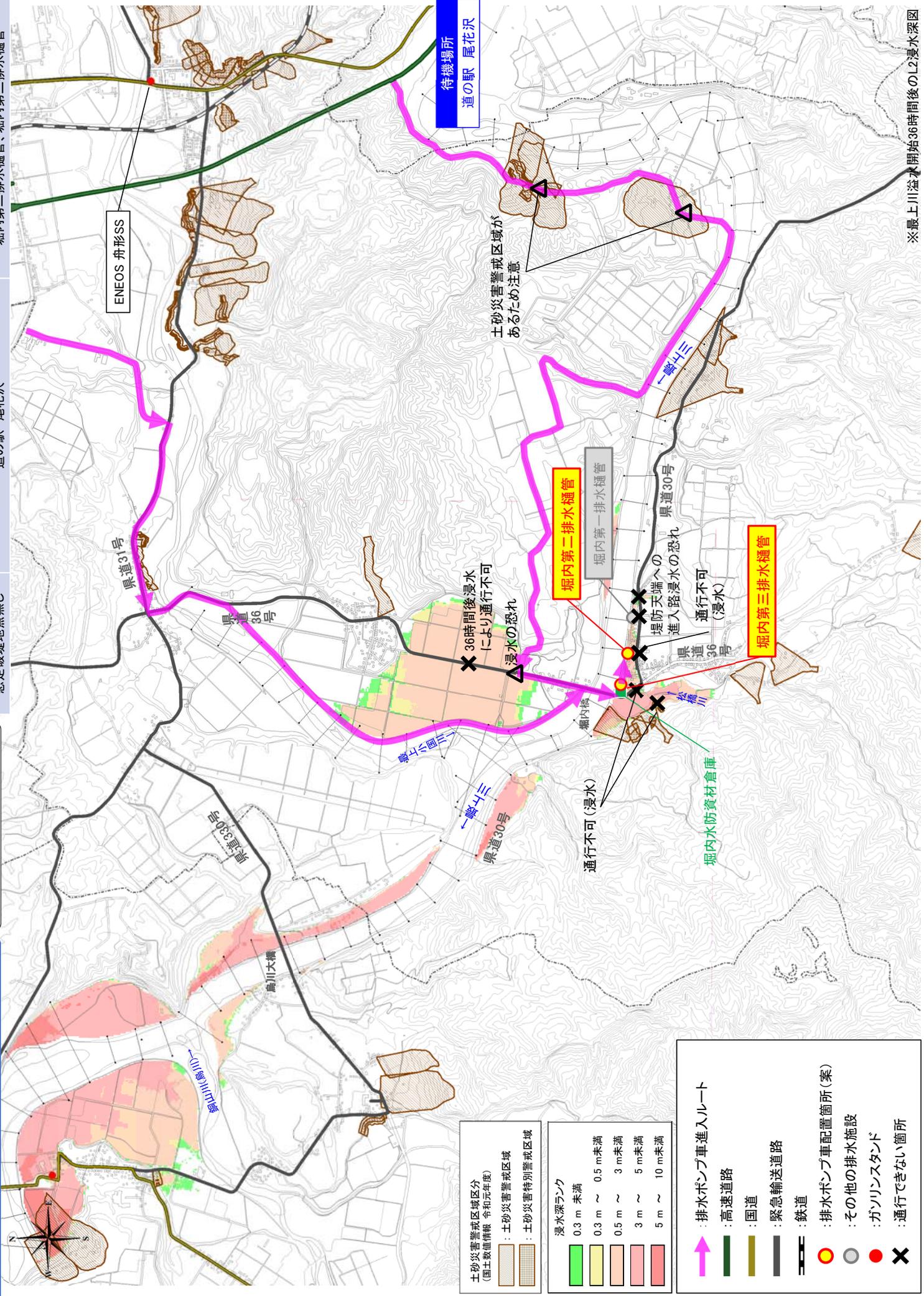
③ 持越排水樋管 呑口 釜場あり



④ 持越排水樋管への進入路



30m³/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 3台
(1パーティ3台 × 1パーティ = 3台)



土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和5年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

0.3 m 未満
0.3 m ~ 0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

排水ポンプ車進入ルート

- 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 通行できない箇所

土砂災害警戒区域があるため注意

36時間後浸水により通行不可
浸水の恐れ

堀内第一排水樋管
堀内第二排水樋管
堀内第三排水樋管

通行不可(浸水)

堀内水防資材倉庫

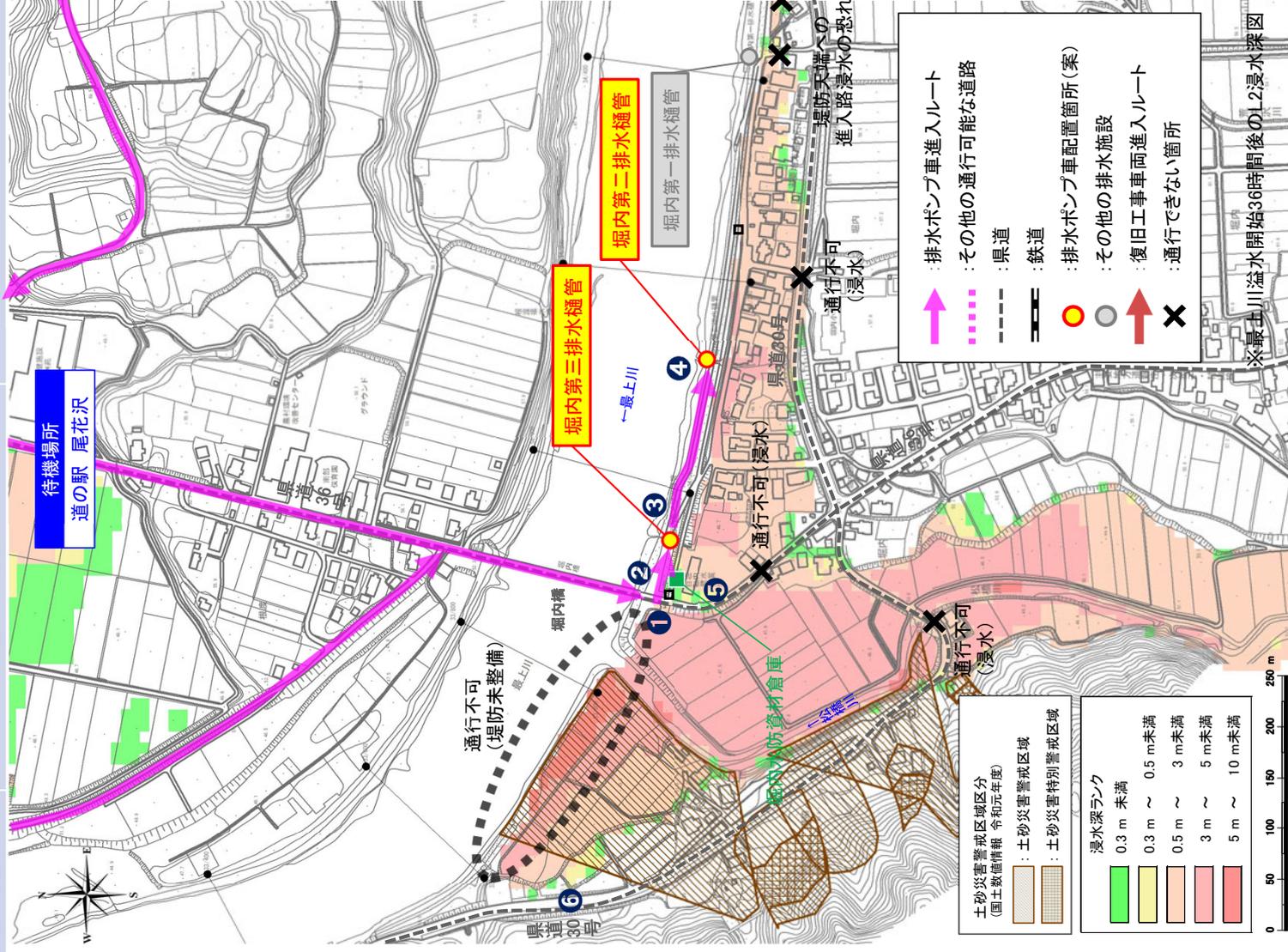
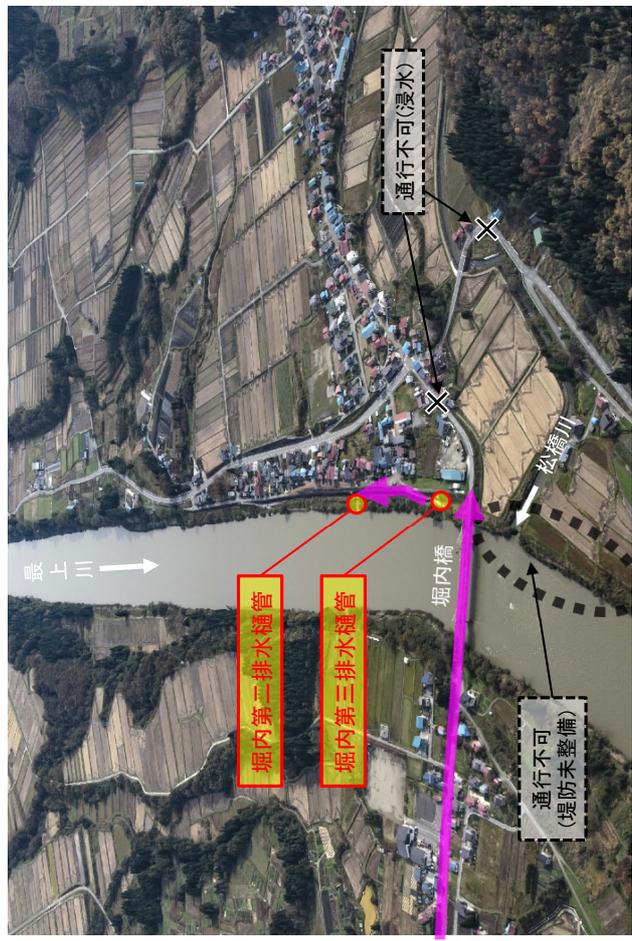
※最上川溢水開始36時間後のL2浸水深図



想定破堤地点無し

道の駅 尾花沢

堀内第二排水樋管、堀内第三排水樋管



※最上川溢水開始36時間後のL2浸水深区